



製品を使っているときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

撮影モードを変更するには

静止画撮影/動画撮影/ハイフレームレート（スーパースローモーション）撮影など、撮影したい画像や操作したい機能に合わせて撮影モードを設定します。

本機の電源をリモート操作で入/切するには

本機とスマートフォンをBluetooth通信で接続して、本機の電源をスマートフォンから入/切できます。



DSC-RX0 : サポート情報

カメラ本体の基本情報や対応アクセサリの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。（別ウィンドウで開きます。）

使いかた

ご使用の前に

[本体と付属品を確認する](#)

[各部の名称](#)

[モニターに表示されるアイコン一覧](#)

準備する

バッテリー（電池）を充電する

- [バッテリーを本機に入れる](#)
- [バッテリーを本機に入れて充電する](#)
- [パソコンに接続して充電する](#)
- [バッテリーの使用時間と撮影可能枚数](#)
- [外部電源で本機を使う](#)
- [バッテリーを本機から取り出す](#)

メモリーカード（別売）を入れる

- [メモリーカードを本機に入れる](#)
- [メモリーカードを本機から取り出す](#)
- [本機で利用できるメモリーカード](#)

[日付と時刻を設定する](#)

操作方法を確認する

[上下左右ボタン/決定ボタンの使いかた](#)

[MENUの使いかた](#)

[Fn（ファンクション）ボタンの使いかた](#)

撮る

[静止画撮影](#)

[動画撮影](#)

[撮影モードを変える](#)

[おまかせオート（静止画）](#)

[プレミアムおまかせオート（静止画）](#)

[シーン認識について](#)

[オート撮影の特徴](#)

[プログラムオート（静止画/動画）](#)

[マニュアル露出（静止画/動画）](#)

[登録呼び出し（撮影設定1/撮影設定2）](#)

[おまかせオート（動画）](#)

[スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）](#)

[水中で撮る](#)

撮影に便利な機能を使う

[画面表示を切り換える（撮影）](#)

静止画の画像サイズ/画質を選ぶ

— [画像サイズ（静止画）](#)

— [横縦比（静止画）](#)

— [画質（静止画）](#)

ピントを合わせる

— [フォーカスモード](#)

— [フォーカスエリア](#)

— [ロックオンAF](#)

— [フォーカスエリア自動消灯](#)

— [フォーカスロック](#)

— [プリセットフォーカス](#)

— [PF時のNEARモード](#)

— [マニュアルフォーカス](#)

— [MFアシスト](#)

— [ピント拡大時間](#)

— [ピーキングレベル](#)

— [ピーキング色](#)

— [AF/MFコントロール](#)

— [瞳AF](#)

ズームする

— [ズームする](#)

— [ズーム倍率について](#)

明るさを調整する

— [シャッタースピード](#)

[露出補正](#)

[測光モード](#)

[AEロック](#)

[シャッター半押しAEL（静止画）](#)

[ゼブラ](#)

ドライブ機能を使う（連写/セルフタイマー）

[ドライブモード](#)

[連続撮影](#)

[速度優先連続撮影](#)

[セルフタイマー](#)

[セルフタイマー（連続）](#)

[連続ブラケット](#)

[1枚ブラケット](#)

[ホワイトバランスブラケット](#)

[DROブラケット](#)

[ブラケット撮影時の設定](#)

[ブラケット撮影時のインジケーター](#)

ISO感度を選ぶ

[ISO感度](#)

[ISO AUTO低速限界](#)

[マルチショットNR](#)

明るさ、コントラストを自動補正する

[Dレンジオブティマイザー（DRO）](#)

[オートHDR](#)

色合いを調整する

[ホワイトバランス](#)

[「カスタムセット」で基準の白を取り込む](#)

画像の仕上がりを設定する

[ピクチャーエフェクト](#)

[クリエイティブスタイル](#)

動画の設定をする

[動画の記録フォーマットについて](#)

[記録方式（動画）](#)

[記録設定（動画）](#)

[同時ビデオ記録](#)

[マーカー表示（動画）](#)

[マーカー設定（動画）](#)

[記録中モニター消灯（動画）](#)

[録画ランプ](#)

[音声記録](#)

[録音レベル](#)

[音声レベル表示](#)

[風音低減](#)

[オートスローシャッター（動画）](#)

[MOVIE\(動画\)ボタン](#)

[ピクチャープロフィール](#)

[スーパースローモーション撮影の設定をする（ハイフレームレート設定）](#)

[スーパースローモーション撮影の露出モードを選ぶ（露出モード）](#)

撮影機能を使いやすいようにカスタマイズする

[登録（撮影設定1/撮影設定2）](#)

[ファンクションメニュー設定](#)

[カスタムキー\(撮影\)](#)

[決定ボタンの機能](#)

[左ボタンの機能](#)

その他の撮影機能を使う

[顔検出](#)

[個人顔登録（新規登録）](#)

[個人顔登録（優先順序変更）](#)

[個人顔登録（削除）](#)

[高感度NR（静止画）](#)

[電子音](#)

[日付書き込み（静止画）](#)

[色空間（静止画）](#)

[グリッドライン](#)

[オートレビュー](#)

[ライブビュー表示](#)

[メモリーカードなしリリース](#)

見る

静止画を見る

[静止画再生](#)

[再生ズーム](#)

[一覧表示](#)

[画面表示を切り換える（再生）](#)

動画を見る

[動画再生](#)

削除

プリント指定

再生に便利な機能を使う

[ビューモード](#)

[スライドショー](#)

[回転](#)

[拡大の初期位置](#)

[プロテクト](#)

[4K静止画再生](#)

テレビで見る

[ハイビジョン画質（HD）のテレビで見る](#)

[ブラビアリンク対応のテレビで見る](#)

設定を変更する

モニター明るさ

ガンマ表示アシスト

[音量設定](#)

[タイルメニュー](#)

[パワーセーブ開始時間](#)

[自動電源OFF温度](#)

[上下反転](#)

[デモモード](#)

[TC/UB設定](#)

[HDMI設定：HDMI解像度](#)

[HDMI設定：24p/60p出力切換（動画）](#)

[HDMI設定：HDMI情報表示](#)

[HDMI設定：TC出力（動画）](#)

[HDMI設定：レックコントロール（動画）](#)

[HDMI設定：HDMI機器制御](#)

[HDMI 4K映像出力（動画）](#)

[USB接続](#)

[USB LUN設定](#)

[USB給電](#)

[PCリモート設定：静止画の保存先](#)

[PCリモート設定：RAW+J時のPC保存画像](#)

[日時設定](#)

[エリア設定](#)

[著作権情報](#)

[フォーマット](#)

[ファイル番号](#)

[ファイル名設定](#)

[記録フォルダー選択](#)

[フォルダー新規作成](#)

[フォルダー形式](#)

[管理ファイル修復](#)

[メディア残量表示](#)

[バージョン表示](#)

[認証マーク表示](#)

[設定リセット](#)

Wi-Fi/Bluetooth機能を使う

[PlayMemories Mobileについて](#)

スマートフォンで本機を操作する

- └ [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（Android）](#)
- └ [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（iPhone/iPad）](#)
- └ [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- └ [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

スマートフォンから本機の電源を入/切する

- └ [Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)

スマートフォンに画像を転送する

- └ [スマートフォン転送](#)

パソコンに画像を転送する

- └ [パソコン保存](#)

テレビに画像を転送する

- └ [テレビ鑑賞](#)

Wi-Fi/Bluetooth機能の設定を変更する

- └ [スマートフォン操作設定](#)
- └ [飛行機モード](#)
- └ [Wi-Fi設定：アクセスポイント簡単登録](#)
- └ [Wi-Fi設定：アクセスポイント手動登録](#)
- └ [Wi-Fi設定：MACアドレス表示](#)
- └ [Wi-Fi設定：SSID・PWリセット](#)
- └ [Bluetooth設定](#)
- └ [リモート電源設定](#)
- └ [機器名称変更](#)
- └ [ネットワーク設定リセット](#)

パソコンでできること

[パソコンの推奨環境](#)

ソフトウェアを使う

- [PlayMemories Homeについて](#)
- [PlayMemories Homeをインストールする](#)
- [Mac用ソフトウェアについて](#)
- [Imaging Edgeについて](#)

本機とパソコンを接続する

- [本機とパソコンを接続する](#)
- [画像をパソコンに取り込んで見る](#)
- [パソコンとの接続を切断する](#)

動画のディスクを作成する

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)
- [ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する](#)
- [標準画質でDVDを作成する](#)

[カメラコントロールボックスについて](#)

使用上のご注意/本機について

[使用上のご注意](#)

[内蔵の充電式バックアップ電池について](#)

[バッテリーについてのご注意](#)

[充電についてのご注意](#)

[メモリーカードについてのご注意](#)

[お手入れについて](#)

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

- [静止画の記録可能枚数](#)
- [動画の記録可能時間](#)

海外で使うときは

- [海外でACアダプター/バッテリーチャージャーを使う](#)
- [カラーテレビ出力方式](#)

その他情報

[ZEISSレンズについて](#)

[AVCHD規格について](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

よくある質問

故障かな？と思ったら

[困ったときにすること](#)

メッセージ表示一覧

[自己診断表示](#)

[警告表示](#)

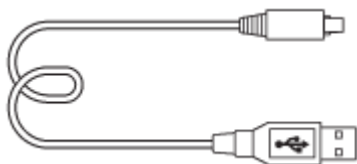
デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

本体と付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

() 内の数字は個数です。

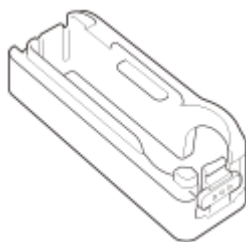
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパックNP-BJ1 (1)
- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター (1)
- リストストラップ (1)



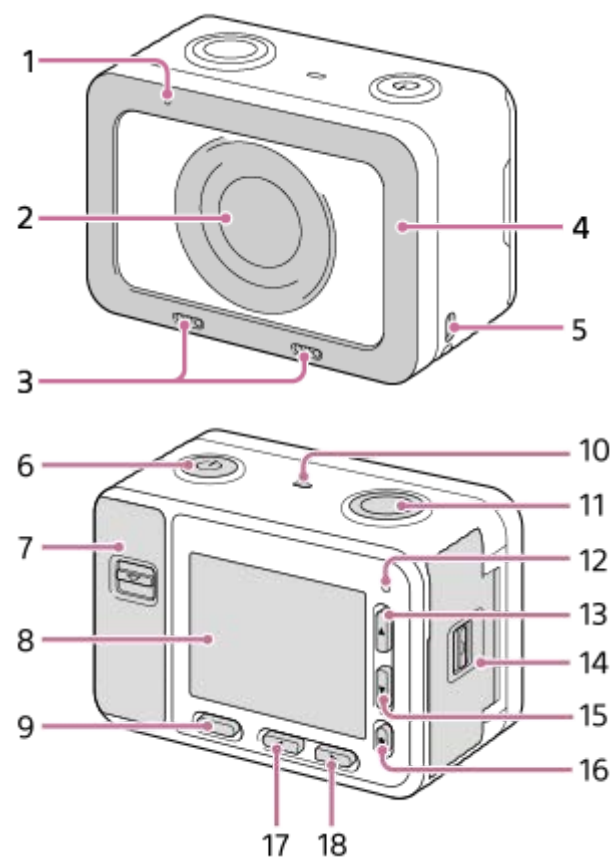
- メモリーカードプロテクター (1)



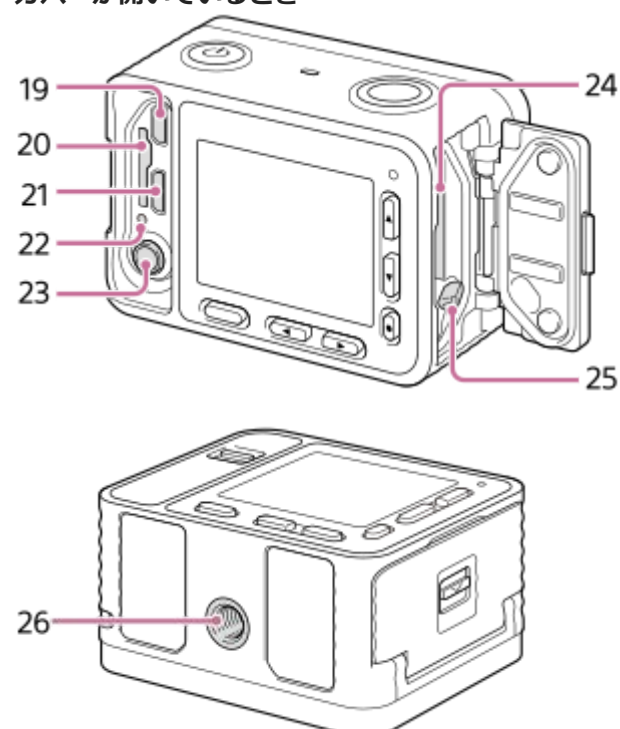
- 取扱説明書 (1)
- 保証書 (1)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

各部の名称



カバーが開いているとき



1. 録画ランプ
2. レンズ
3. 内蔵マイク

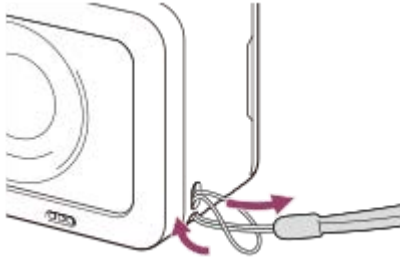
- 動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。

4. レンズプロテクター

- 別売りのアクセサリに交換することができます。

5. ストラップ取り付け部

- 本機を手で持って撮影するときは、落下防止のため、リストストラップを取り付けて手を通してご使用ください。



6.  (電源) ボタン
7. メモリーカード/端子カバー
8. モニター
9. MENUボタン
10. スピーカー
11. SHUTTER/MOVIEボタン
12. 録画ランプ
13. 上ボタン/DISP (画面表示切換) ボタン
14. バッテリーカバー
15. 下ボタン/ (再生) ボタン
16.  (決定) ボタン/カスタムキー
17. 左ボタン/カスタムキー
18. 右ボタン/Fn (ファンクション) ボタン
19. HDMIマイクロ端子
20. メモリーカード挿入口
21. マルチ/マイクロUSB端子

- マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<https://www.sony.jp/support/cyber-shot/>

22. アクセスランプ/充電ランプ

23. マイク端子

- 外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

24. バッテリー挿入口

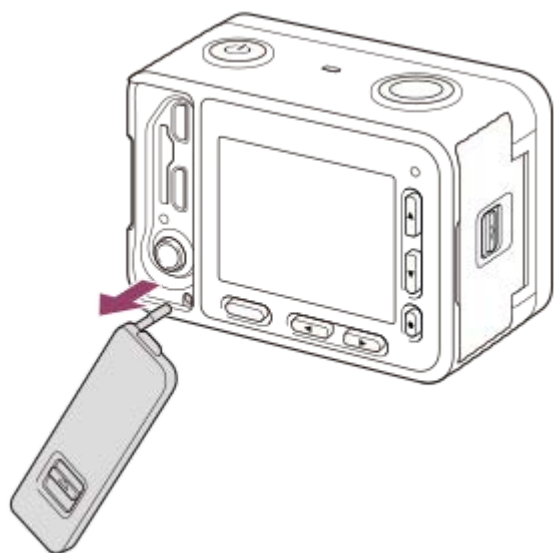
25. バッテリーロックレバー

26. 三脚用ネジ穴

- 対応する三脚のネジの長さは5.5mm以下になります。

メモリーカード/端子カバーを取りはずして使う

メモリーカード/端子カバーは取りはずすことができます。本機にケーブルを差したまま使用する場合は、メモリーカード/端子カバーを取りはずしてください。



メモリーカード/端子カバーを再度取り付けるときは、本体にはめこんでください。

メモリーカードプロテクターについて

HDMIケーブルやマイクロUSBケーブル、または外部マイクを接続したまま本機を使用する場合は、メモリーカードプロテクターを取り付けてください。振動や衝撃などでメモリーカードが抜けることによるアクセスエラーを防止します。



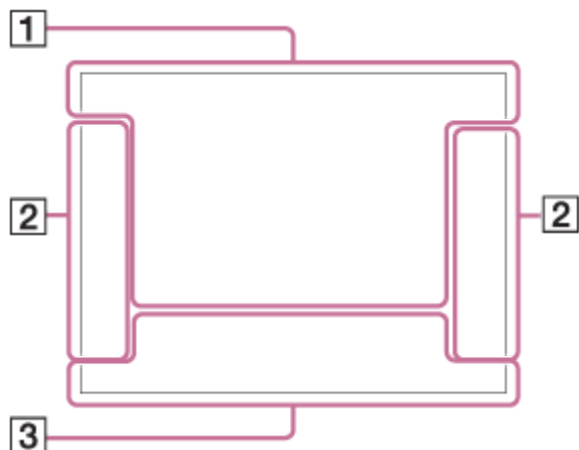
メモリーカードプロテクターを取りはずすには、メモリーカードプロテクター上部と下部のつまみを押しながら引き抜いてください。

モニターに表示されるアイコン一覧

表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

- 本機はモニターが小さいため、一部見えづらい文字やアイコンがあります。

撮影時



再生時



1. P M P M P M

撮影モード

登録呼び出し

NO CARD

メモリーカード

シーン認識マーク

1時間30分

撮影可能時間

100

撮影可能枚数

静止画の画像横縦比

15M / 14M / 13M / 10M / 7.7M / 6.9M / 6.5M / 5.2M / 3.8M / 3.4M / 3.2M / 2.6M / VGA

静止画の画像サイズ

RAW RAW+J X.FINE FINE STD

静止画の画質

120p 60p 60i 30p 24p

動画のフレームレート

50 FX FH PS 1080 720

動画の記録設定



バッテリー容量



バッテリー残量警告



USB給電中



Bluetooth接続



スマートフォン操作（シングル/マルチ(グループオーナー)/マルチ(クライアント)）接続中/未接続



飛行機モード



重ね合わせ実行表示



動画音声記録オフ



風音低減



設定効果反映Off



管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告



温度上昇警告



スマートズーム/ 全画素超解像ズーム/デジタルズーム



スポット測光サークル

C:32:00

自己診断表示



音声レベル表示



ビューモード

100-0003

フォルダー番号-ファイル番号

XAVC S HD AVCHD MP4

動画の記録方式



プロテクト

DPOF

DPOF（プリント）指定



PCリモート



著作権情報書き込みオン

240fps 480fps 960fps

HFR撮影時のフレームレート



録画タイミング

Assist 7
L5-Log2

ガンマ表示アシスト

■■■■■■■3

データ書き込み中/書き込み残り枚数

2.

ドライブモード

測光モード

AF-S **PF** **MF**

フォーカスモード

AWB **7500K A5 G5**

ホワイトバランス

フォーカスエリア

D-R **DRO** **HDR**
OFF AUTO AUTO

DRO/オートHDR

Std. **Vivid** **Ntrl** **Clear** **Deep** **Light** **Port.** **Land.** **Sunset** **Night** **Autm** **B/W** **Sepia** **+3 +3 +3**

クリエイティブスタイル /コントラスト、彩度、シャープネス

ピクチャーエフェクト

PP1 — **PP7**

PP
OFF

ピクチャープロファイル

OFF

ゼブラ

3. ● **ロックオンAF**

● **ロックオンAF解除**

ロックオンAF用ガイド表示

● **フォーカス位置選択 入/切**

フォーカスエリア設定用ガイド表示

● **NEARモードに設定**

● **NEARモードを解除**

プリセットフォーカス用ガイド表示

● **フォーカス設定**

マニュアルフォーカス用ガイド表示

● **撮影スタンバイ**

● **撮影設定**

HFR撮影用ガイド表示

NEAR

NEARモード

-3 +2 +1 +0 +1 +2 +3 +
ブラケットインジケーター

STBY

動画の録画スタンバイ

REC

0:12

動画の記録時間（分：秒）

1/250

シャッタースピード

F4.0

絞り値（本機の絞り値はF4.0固定です）

M.M **±0.0**

メータードマニュアル

 ±0.0

露出補正值

ISO400

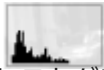
ISO感度



AEロック

0.5 0.7 3 ∞
 m

フォーカス指標



ヒストグラム



ピクチャーエフェクトエラー



オートHDR画像警告

2017-1-1

10:37AM

撮影日時

3/7

画像番号/ビューモード内画像枚数



著作権情報あり

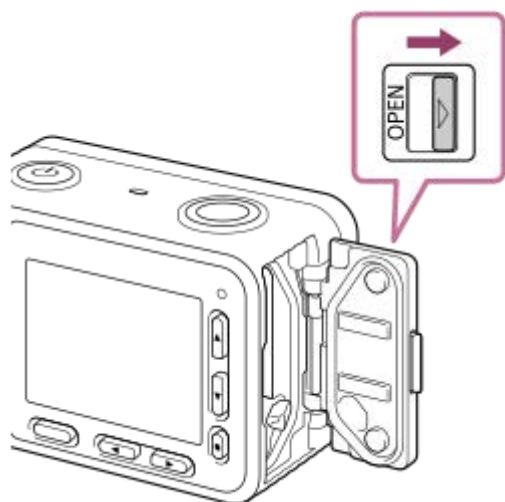


ロックコントロール

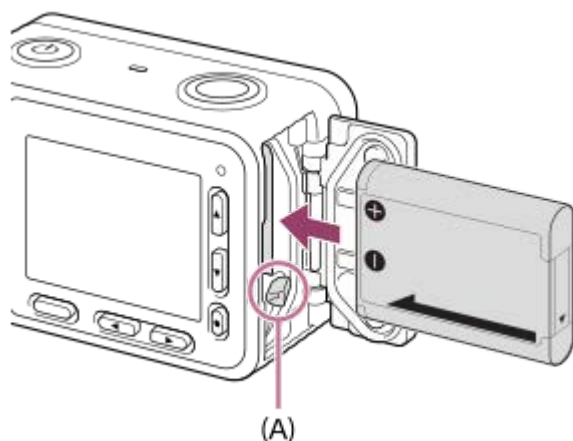
バッテリーを本機に入れる

バッテリーを本機に入れる手順を説明します。

1 バッテリーカバーを開ける。



2 バッテリーの端でバッテリーロックレバー (A) を押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。



3 カバーを閉じる。

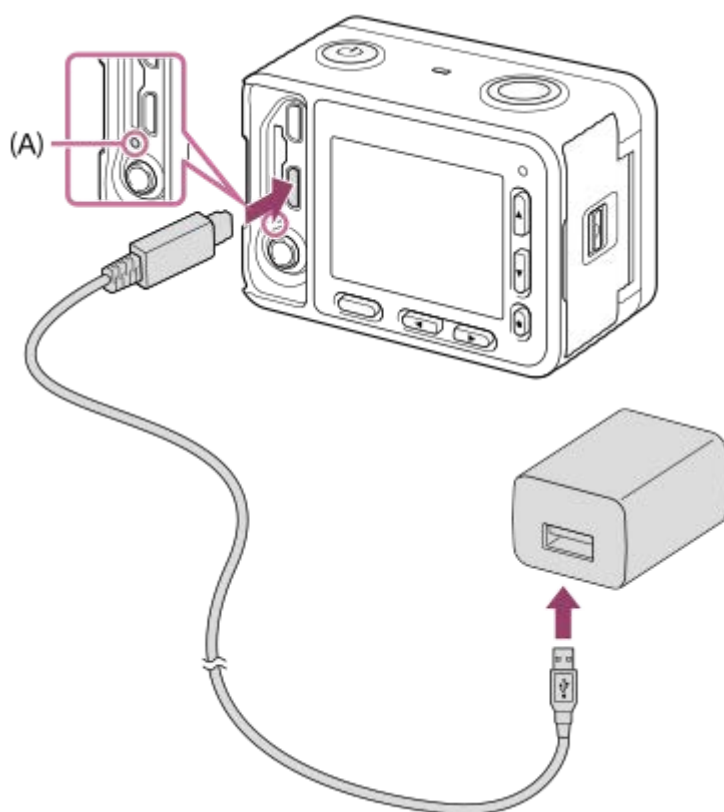
ご注意

- バッテリーカバーを閉じるときは、カバーのつまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてください。また、カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき浸水の原因になります。

バッテリーを本機に入れて充電する

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

- 1 本機の電源を切る。
- 2 バッテリーを入れた本機とACアダプター（付属）をマイクロUSBケーブル（付属）でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。



A：充電ランプ

点灯（オレンジ色）：充電中

消灯：充電終了

点滅（オレンジ色）：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

充電時間の目安（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約135分です。

- バッテリーの残量や、充電環境によって、充電時間は異なります。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

ご注意

- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度装着してください。
- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で行ってください。
- ACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプが速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度充電してください。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

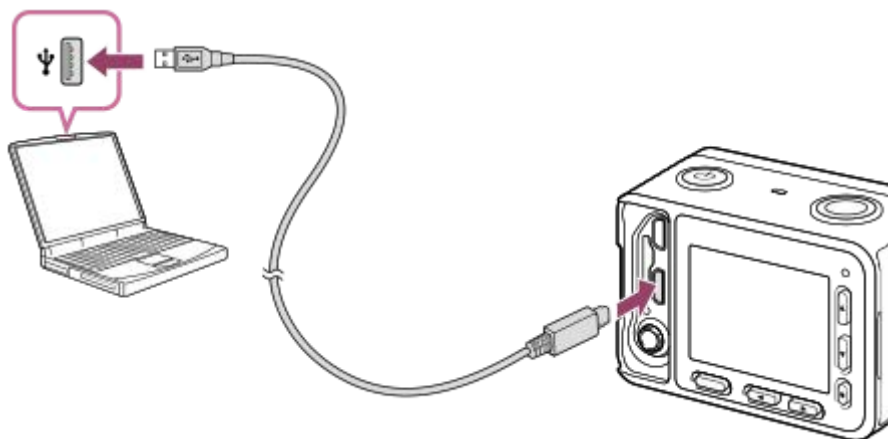
関連項目

- [バッテリーについてのご注意](#)
- [充電についてのご注意](#)
- [海外でACアダプター/バッテリーチャージャーを使う](#)

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。

- 1 本機の電源を切った状態で、パソコンのUSB端子と本機をつなぐ。



ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
 - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
 - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
 - すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。
 - 自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。
 - 同時に使うUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

関連項目

- [バッテリーについてのご注意](#)
- [充電についてのご注意](#)

バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	—	約240枚
実動画撮影	約35分	—
連続動画撮影	約60分	—

ご注意

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は、以下の条件にて撮影した場合です。
 - 温度が25℃
 - 当社製のmicroSDXCメモリーカード（別売）を使用
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 動画画質：XAVC S HD 60p 50M
 - [自動電源OFF温度]：[高]
 - 実動画撮影：撮影、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP（画面表示切換）を押して表示してください。

外部電源で本機を使う

付属のACアダプターを使うと、外部電源で撮影/再生ができます。

1 マイクロUSBケーブル（付属）とACアダプター（付属）で、本機とコンセントをつなぐ。

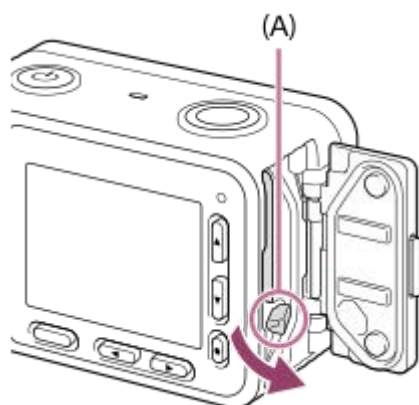
ご注意

- 外部電源で本機を使用して撮影/再生をする場合は、充電したバッテリーを本機に入れてください。
- 外部電源で本機を使用する場合は、USB給電中を表すアイコン（ / ）がモニターに表示されていることをご確認のうえ、本機をご使用ください。
- アクセスランプが点灯しているときはバッテリーやマイクロUSBケーブルを取りはずさないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- 電源を入れて使用している間は、ACアダプターと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。また、ご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。

バッテリーを本機から取り出す

バッテリーを本機から取り出す手順を説明します。

- 1 アクセスランプが点灯していないことを確認し、電源を切る。
- 2 バッテリーカバーを開ける。
- 3 バッテリーロックレバー (A) をずらして、バッテリーを引き出す。



- バッテリーが落下しないよう注意してください。

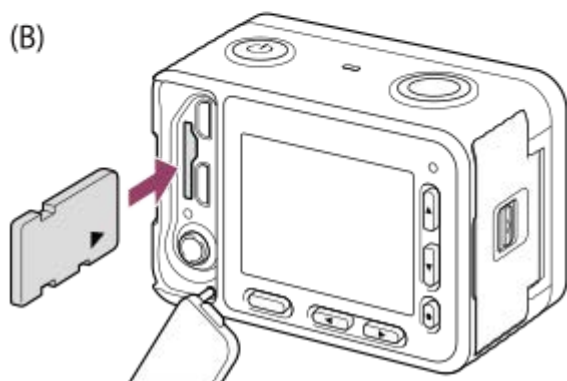
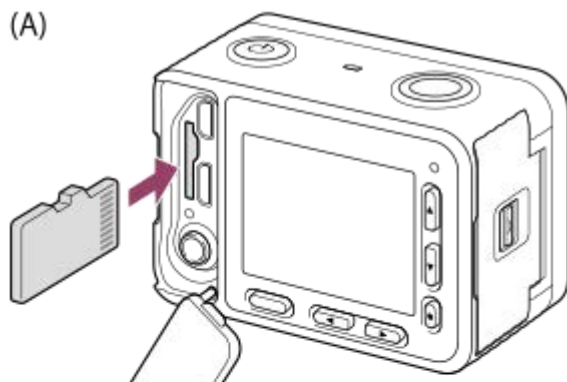
メモリーカードを本機に入れる

メモリーカードを本機に入れる手順を説明します。

1 メモリーカード/端子カバーを開ける。



2 メモリーカードを入れる。



- microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード：イラストの **(A)** の向きに、端子面を手前に向けて入れてください。
- メモリースティックマイクロ：イラストの **(B)** の向きに入れてください。

3 カバーを閉じる。

ヒント

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。

ご注意

- メモリーカード/端子カバーを閉じるときは、カバーのつまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてください。また、カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき浸水の原因になります。

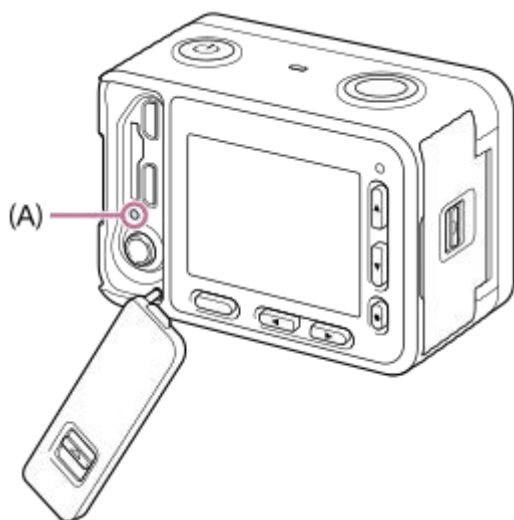
関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [フォーマット](#)

メモリーカードを本機から取り出す

メモリーカードを本機から取り出す手順を説明します。

- 1 メモリーカード/端子カバーを開ける。
- 2 アクセスランプ (A) が点灯していないことを確認する。



- 3 メモリーカードを1度押して取り出す。



関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)

本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるものは下記のとおりです。静止画撮影、または動画撮影で使用するメモリーカードを✓で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画		
		MP4	AVCHD	XAVC S
メモリースティック マイクロ (M2)	✓	✓ (Mark2のみ)	✓ (Mark2のみ)	—
microSDメモリーカード	✓	✓*1	✓*1	—
microSDHCメモリーカード	✓	✓*1	✓*1	✓*2
microSDXCメモリーカード	✓	✓*1	✓*1	✓*2

*1 SDスピードクラス4 (CLASS4) 以上、またはUHSスピードクラス1 (U1) 以上

*2 SDスピードクラス10 (CLASS10)、またはUHSスピードクラス1 (U1) 以上

ご注意

- microSDHCメモリーカードにXAVC SまたはMP4で長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- microSDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット（初期化）を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。（exFATは、microSDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。）

関連項目

- [メモリーカードについてのご注意](#)

日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときや初期化を行ったあとは、日時設定の画面が表示されます。

- 1 本機の電源を入れる。
日時設定を要求する画面になる。
- 2 「[エリア/日付/時刻を設定してください]」と表示されるので、[実行]を選んで ●（決定）ボタンを押す。
- 3 「[東京/ソウル]」が選ばれていることを確認し、●（決定）ボタンを押す。
- 4 上/下ボタンを押して[日時]を選び、●（決定）ボタンを押す。
[サマータイム]：
日本では、サマータイムは[切]にする。
[表示形式]：
日付表示順を選ぶ。
- 5 上/下/左/右ボタンで希望の設定を選び、●（決定）ボタンを押す。
 - [日時]を設定する場合、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。
 - [日時]を設定するときは、上/下ボタンを押して数値を変更してください。
- 6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで ●（決定）ボタンを押す。

ご注意

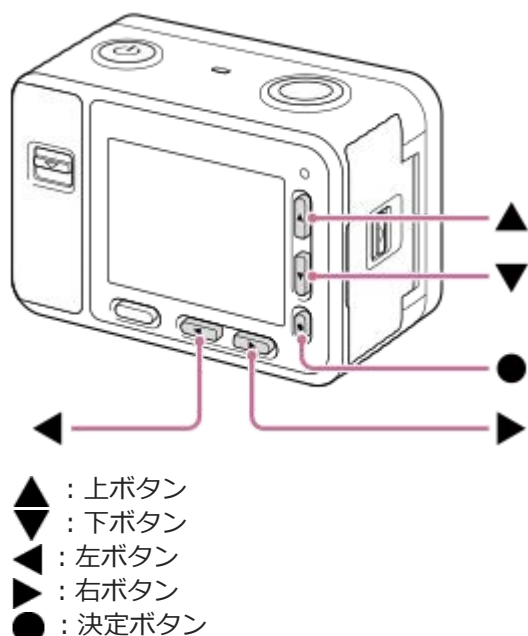
- 日時設定をキャンセルした場合は電源を入れると毎回日時設定画面が表示されます。

関連項目

- [日時設定](#)
- [エリア設定](#)

上下左右ボタン/決定ボタンの使いかた

上下左右ボタンを押すと、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は●（決定）ボタンを押すと決定されます。



- 上ボタンにはDISP（画面表示切替）が割り当てられています。DISPボタンを押すたびに表示内容が切り換わります。
- 撮影時の下ボタンには▶（再生）が割り当てられています。▶（再生）ボタンを押すと、撮影モードから再生モードに切り替わります。
- 撮影時の右ボタンにはFn（ファンクション）が割り当てられています。
- 撮影時の左ボタンと●（決定）ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます。
- 再生時に左/右ボタンを押すことで、前/次の画像を表示することができます。

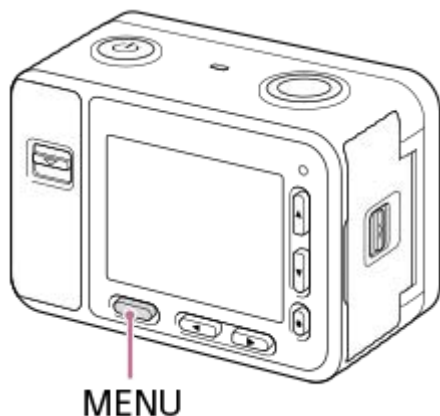
関連項目

- [決定ボタンの機能](#)
- [左ボタンの機能](#)

MENUの使いかた

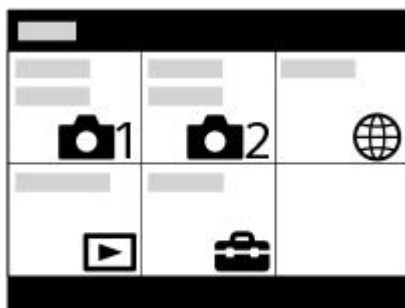
撮影、再生、操作方法など、カメラ全体に関する設定を変更したり、カメラの機能を実行します。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



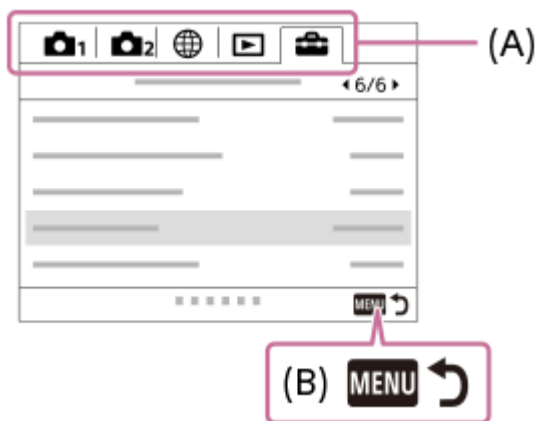
2 上/下/左/右ボタンを押してMENUを選び、●（決定）ボタンを押す。

- [タイルメニュー] の設定によっては、この画面は表示されず、手順3の画面が表示されます。



3 上/下/左/右ボタンで設定したい項目を選び、●（決定）ボタンを押す。

- 画面上部のアイコン（A）を選んで左/右ボタンを押すと、他のMENUへ移動できます。
- MENUボタンを押すと一つ前の画面へ戻ります（B）。



- 4 設定値を選択して、●（決定）ボタンを押して決定する。

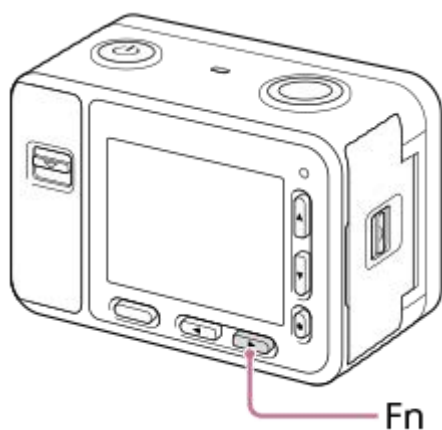
関連項目

- [タイルメニュー](#)

Fn（ファンクション）ボタンの使いかた

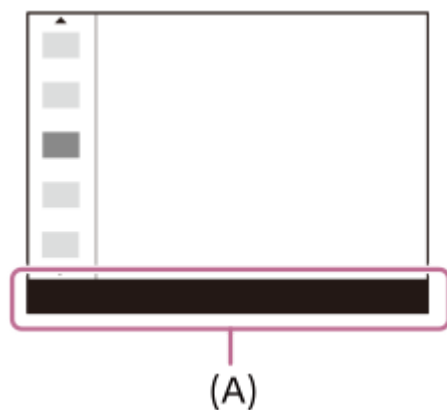
撮影時にFn（ファンクション）ボタンを押して、あらかじめ登録したよく使う機能呼び出すことができます。呼び出す機能は12個まで登録できます。

- 1 撮影画面でFn（ファンクション）ボタンを押す。



- 2 上/下/左/右ボタンで希望の設定を選び、●（決定）ボタンを押す。

- 3 操作ガイド（A）に従って設定値を選択し、●（決定）ボタンを押す。



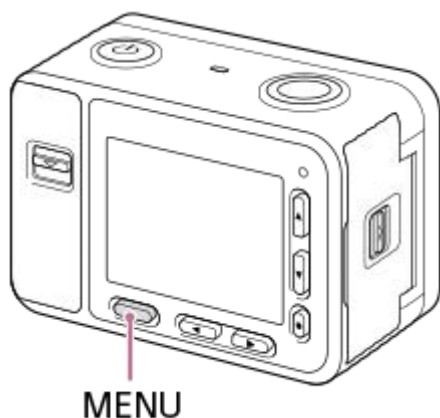
関連項目

- [ファンクションメニュー設定](#)

静止画撮影

静止画を撮影します。

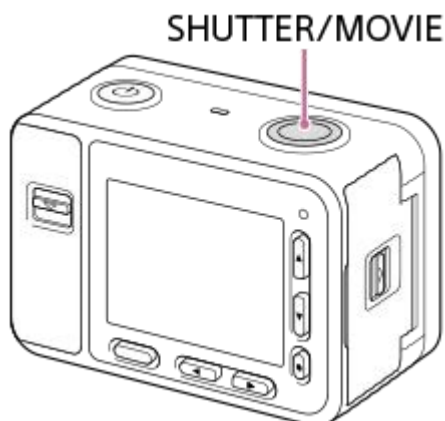
- ① MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→〔おまかせオート〕を選ぶ。



- ② 被写体にカメラを向ける。

- ③ SHUTTER/MOVIEボタンを半押しして、ピントを合わせる。

- ピントが合うと「ピピッ」という音がして、フォーカス表示（●）が点灯します。



- ピントが合う最短距離はレンズ先端から約50cmです。

- ④ SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込む。

フォーカス表示

- 点灯：
ピントが合って固定されている。

- 点滅：
ピントが合っていない。

ヒント

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅し、「ピピッ」と電子音が鳴りません。構図を変えたり、フォーカス設定を変えるなどしてください。
- 以下のとき、ピントが合いにくい場合があります。
 - 被写体が遠くて暗い
 - 被写体のコントラストが弱い
 - ガラス越しの被写体
 - 高速で移動する被写体
 - 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
 - 点滅する被写体
 - 逆光になっている被写体
 - フォーカスエリアの中に距離の異なるものが混じっているとき

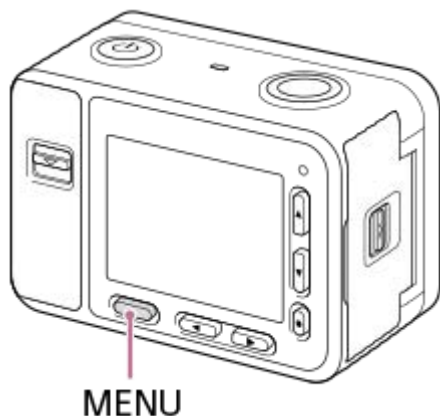
関連項目

- [オート撮影の特徴](#)
- [シーン認識について](#)
- [静止画再生](#)

動画撮影

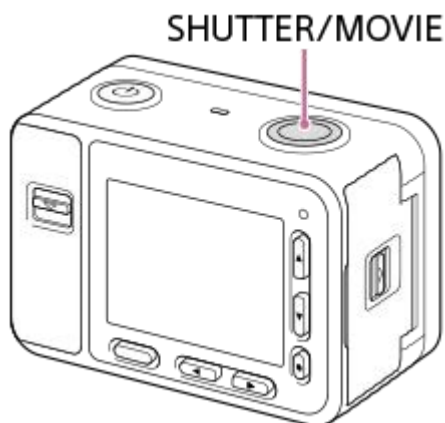
動画を撮影します。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→（おまかせオート）を選ぶ。



- 2 SHUTTER/MOVIEボタンを押して、撮影を開始する。

- 動画撮影時のピント合わせの方法は、〔プリセットフォーカス〕または〔マニュアルフォーカス〕から選択できます。



- 3 もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押して、終了する。

ヒント

- 動画撮影開始/停止機能をお好みのキーに割り当てることができます。MENU→2（撮影設定2）→〔カスタムキー(撮影)〕→希望のボタンに〔MOVIE(動画)〕を設定してください。
- シャッタースピードを希望の値に設定したいときは、MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕を〔 マニュアル露出〕にしてください。

ご注意

- 記録中は、何も操作せずに約1分経過するとモニターが消灯します（お買い上げ時の設定）。MENUボタン、上/下/左/右ボタン、（決定）ボタンのいずれかを押すと再度モニターを点灯できます。また、MENU→2（撮影設定2）→〔 記録中〕

モニター消灯] を [切] に設定すると、記録中もモニターは消灯しなくなります。

- 動画記録中には、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、SHUTTER/MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります。
- MENU→2（撮影設定2）→ [音声記録] → [切] にすると、音声を記録しないようにできます。

関連項目

- [おまかせオート（動画）](#)
- [プリセットフォーカス](#)
- [マニュアルフォーカス](#)
- [記録方式（動画）](#)
- [MOVIE\(動画\)ボタン](#)
- [動画の記録可能時間](#)
- [カスタムキー\(撮影\)](#)

撮影モードを変える

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、撮影モードを設定します。

1 MENU→1（撮影設定1）→[撮影モード]→希望の設定を選ぶ。

- お買い上げ時の設定では、左ボタンを押しても撮影モードを変更できません。

メニュー項目の詳細

（おまかせオート）：

カメラまかせでシーン認識をして撮影する。

+（プレミアムおまかせオート）：

カメラまかせでシーン認識をして撮影する。特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影できる。

P（プログラムオート）：

露出（シャッタースピード）は自動設定される。Fn（ファンクション）やMENUで多彩な機能を設定できる。

M（マニュアル露出）：

シャッタースピードを手動で設定して撮影する。

MR（登録呼び出し）：

あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

（ おまかせオート）：

カメラまかせで動画をオート撮影する。

P（ プログラムオート）：

本機が自動設定した露出（シャッタースピード）で動画を撮影する。Fn（ファンクション）やMENUで多彩な機能を設定できる。

M（ マニュアル露出）：

シャッタースピードを手動で設定して動画を撮影する。

HFR（ハイフレームレート）：

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することで、なめらかなスーパースロー映像を記録できる。

関連項目

- [おまかせオート（静止画）](#)
- [プレミアムおまかせオート（静止画）](#)
- [プログラムオート（静止画/動画）](#)
- [マニュアル露出（静止画/動画）](#)
- [登録呼び出し（撮影設定1/撮影設定2）](#)
- [おまかせオート（動画）](#)
- [スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

おまかせオート（静止画）

カメラまかせでシーン認識をして、静止画を撮影します。

① MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→〔おまかせオート〕を選ぶ。

② 被写体にカメラを向ける。

シーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。



③ SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを合わせてから、SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込んで撮影する。

関連項目

- [オート撮影の特徴](#)
- [シーン認識について](#)

プレミアムおまかせオート（静止画）

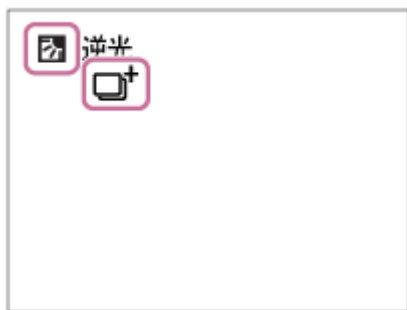
カメラまかせでシーン認識をして静止画を撮影します。特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影します。

暗いシーンや逆光のシーンでは、必要に応じて複数枚撮影し重ね合わせ処理をすることにより、おまかせオートよりも高画質に仕上げます。

① MENU→1（撮影設定1）→【撮影モード】→【プレミアムおまかせオート】を選ぶ。

② 被写体にカメラを向ける。

シーンを認識すると、シーン認識マークが表示される。必要に応じて（重ね合わせ）が表示される。



③ SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを合わせてから、SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込んで撮影する。

ご注意

- 重ね合わせ撮影をするときは、通常よりも記録処理に時間がかかります。
- （重ね合わせアイコン）が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- 状況によっては、シーンはうまく認識されない場合があります。
- [画質] が [RAW] または [RAW+JPEG] のときは重ね合わせ撮影は行われません。

関連項目

- [オート撮影の特徴](#)
- [シーン認識について](#)

シーン認識について

「おまかせオート」や、「プレミアムおまかせオート」では、シーン認識が働きます。

これは本機が自動的に撮影状況を認識して、撮影する機能です。

シーン認識

シーンを認識すると上段に下記のマークとガイドが表示されます。

-  (人物)
-  (赤ちゃん)
-  (夜景&人物)
-  (夜景)
-  (逆光&人物)
-  (逆光)
-  (風景)
-  (スポットライト)
-  (低照度)

ご注意

- 「顔検出」機能が「切」のとき、「人物」、「逆光&人物」、「夜景&人物」、「赤ちゃん」は認識されません。

関連項目

- [おまかせオート（静止画）](#)
- [プレミアムおまかせオート（静止画）](#)

オート撮影の特徴

本機には「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」および「プログラムオート」の3つのオート撮影機能が搭載されています。

（おまかせオート）：

カメラまかせでシーン認識をして撮影したいときに使います。

（プレミアムおまかせオート）：

カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき、特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影したいときに使います。

P（プログラムオート）：

ホワイトバランスやISOなど多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいときに使います。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。

ご注意

- 「プレミアムおまかせオート」では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。このとき、（重ね合わせアイコン）が表示され、シャッター音が複数回聞こえることがありますが、記録される画像は1枚です。
- 「プレミアムおまかせオート」で （重ね合わせアイコン）が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- 「おまかせオート」、「プレミアムおまかせオート」の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません。

関連項目

- [おまかせオート（静止画）](#)
- [プレミアムおまかせオート（静止画）](#)
- [プログラムオート（静止画/動画）](#)

プログラムオート（静止画/動画）

露出（シャッタースピード）は本機が自動設定します。

〔ISO感度〕などの撮影機能を好みの設定に変更できます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→〔プログラムオート〕または〔 プログラムオート〕を選ぶ。
- 2 撮影機能を希望の設定にする。
- 3 SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。
 - 動画の撮影を終了するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押します。

関連項目

- [オート撮影の特徴](#)

マニュアル露出（静止画/動画）

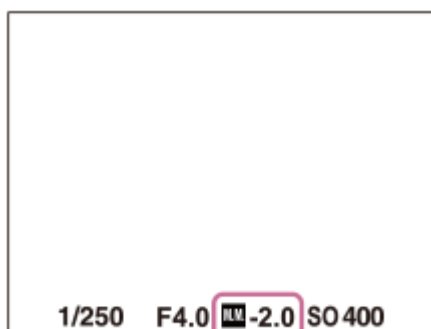
シャッタースピードを調節して、自分の好みの露出で撮影できます。動画撮影中もシャッタースピードを変更できます。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→ [撮影モード] → [マニュアル露出] または [ マニュアル露出] を選ぶ。

2 MENU→ 1（撮影設定1）→ [シャッタースピード] を選ぶ。

3 左/右ボタンで設定値を選び、（決定）ボタンを押す。

[ISO感度] が [ISO AUTO] 以外の場合、「MM」（メータードマニュアル）で露出値を確認する。



+側：明るく写る。

-側：暗めに写る。

0：本機が判断した適正露出。

4 SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。

- 動画の撮影を終了するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押します。

ご注意

- 本機の絞り値はF4.0固定です。
- [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定したときには、設定したシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。設定した値で適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度の表示が点滅します。
- [ISO感度] を [ISO AUTO] にしたときは、メータードマニュアルは表示されません。
- メータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- モニターの画像の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。

関連項目

- [シャッタースピード](#)

登録呼び出し（撮影設定1/撮影設定2）

よく使うモードやカメラの設定の組み合わせを「1/2の登録」であらかじめ登録しておき、呼び出して使うことができます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→〔登録呼び出し〕を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望の番号を選び、（決定）ボタンで決定する。
 - MENU→1（撮影設定1）→〔1/2の呼び出し〕で呼び出すこともできます。

ご注意

- 撮影に関する設定を行ったあとで「1/2の呼び出し」を行うと、呼び出された「1/2の登録」の値が優先され、最初に行った設定が無効になる場合があります。モニターで設定値を確認してから撮影してください。

関連項目

- [登録（撮影設定1/撮影設定2）](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

おまかせオート（動画）

カメラまかせで動画をオート撮影できます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→（おまかせオート）を選ぶ。
- 2 SHUTTER/MOVIEボタンを押して、撮影を開始する。
- 3 もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押して、終了する。

関連項目

- [動画撮影](#)

スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することによって、なめらかなスーパースローモーション映像を記録できます。

- 1 MENU→ 1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→〔ハイフレームレート〕を選び、希望の露出モードを選ぶ。
撮影設定画面が表示される。



- 2 MENU→ 2（撮影設定2）→〔HFR ハイフレームレート設定〕を選び、〔HFR 記録設定〕、〔HFR フレームレート〕、〔HFR 優先設定〕、〔HFR 録画タイミング〕を希望の設定にする。

- 3 被写体にカメラを向け、ピントなどを合わせる。

- フォーカスモード、ISO感度など、そのほかの撮影設定も変更することができます。

- 4 ●（決定）ボタンを押す。

撮影スタンバイ画面が表示される。

- 撮影スタンバイ中は、画面の左下に〔STBY〕が表示されます。〔STBY〕が表示されている間は、露出の調整、マニュアルフォーカスを含むフォーカス設定はできません。変更したい場合は、もう一度●（決定）ボタンを押して撮影設定画面に戻ってください。



- 5 SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

〔HFR 録画タイミング〕が〔スタートトリガー〕のとき：

取り込み（撮影）がスタートする。再度SHUTTER/MOVIEボタンを押すか、録画可能時間を過ぎたときに取り込みが終了し、メモ리카ードへ記録される。

〔HFR 録画タイミング〕が〔エンドトリガー〕のとき：

取り込みが終了し、メモ리카ードへ記録される。

ご注意

- 音声は記録されません。
- 記録される動画はXAVC S HDフォーマットになります。
- SHUTTER/MOVIEボタンを押してから記録が終わるまでに時間がかかる場合があります。撮影スタンバイ画面に切り替わるまで待って、次の撮影を行ってください。

関連項目

- [本機で利用できるメモリーカード](#)
- [スーパースローモーション撮影の設定をする（ハイフレームレート設定）](#)
- [スーパースローモーション撮影の露出モードを選ぶ（露出モード）](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

水中で撮る

本機は水中でも使用できます。水中は、明るさやホワイトバランスが通常の撮影環境とは異なります。本機や本機とハウジング（別売）を使って水中で撮影を行うときは、以下のように設定して撮影することをおすすめします。

シャッタースピードを速くする（静止画）

水中は、屋外であっても通常の撮影環境よりも被写体が暗くなります。水中撮影では、手ブレや被写体ブレが起こりやすくなるため、シャッタースピードを速くしてください。

- [撮影モード] が [プログラムオート] のときは、[ISO AUTO低速限界] を [より高速] に設定するか、[ISO感度] を高くすると、シャッタースピードが速くなります。
- [撮影モード] が [マニュアル露出] のときは、[シャッタースピード] を速い数値に設定してください。

ISO感度が低いと、シャッタースピードが遅くなります。

- シャッタースピードを速くするために、[ISO AUTO] 時は [ISO AUTO 上限] をより高感度に設定してください。

[ホワイトバランス] の設定を変更する（静止画/動画）

水中では、通常の撮影環境とホワイトバランスが異なります。

- [ホワイトバランス] を [水中オート] に設定してください。

ご注意

- 本書に記載された光学に関する数値は、空気中での値です。水中ではピントが合う最短の撮影距離が約1.3倍に伸び、画角が約3割狭くなります。
- 水中ではワイヤレス機能は使えません。

関連項目

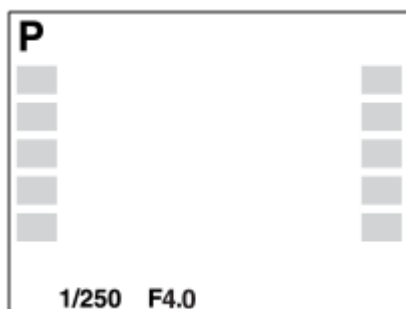
- [ISO感度](#)
- [ISO AUTO低速限界](#)
- [シャッタースピード](#)
- [ホワイトバランス](#)

画面表示を切り換える（撮影）

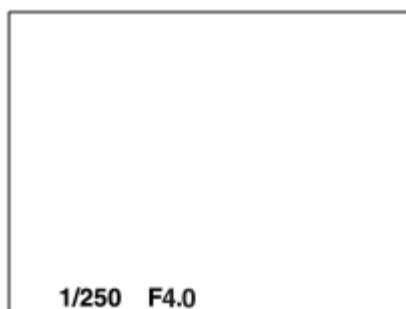
表示される画面表示を切り換えます。

1 DISP（画面表示）を押す。

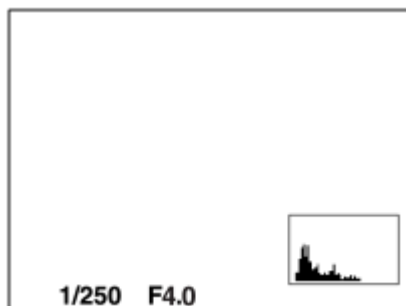
DISPボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。
全情報表示



情報表示 なし



ヒストグラム



ヒント

- グリッドラインはMENU → 2（撮影設定2） → [グリッドライン] を [切] にすると消すことができます。
- 動画撮影時のマーカー表示はMENU → 2（撮影設定2） → [マーカー表示] を [切] にすると消すことができます。

- [グリッドライン](#)
- [マーカー表示（動画）](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

画像サイズ（静止画）

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも精細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

① MENU→1（撮影設定1）→ 画像サイズ →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

【 横縦比】が【3:2】のとき

L: 15M : 4800×3200画素

M: 7.7M : 3408×2272画素

S: 3.8M : 2400×1600画素

【 横縦比】が【4:3】のとき

L: 14M : 4272×3200画素

M: 6.9M : 3024×2272画素

S: 3.4M : 2128×1600画素

VGA : 640×480画素

【 横縦比】が【16:9】のとき

L: 13M : 4800×2704画素

M: 6.5M : 3408×1920画素

S: 3.2M : 2400×1352画素

【 横縦比】が【1:1】のとき

L: 10M : 3200×3200画素

M: 5.2M : 2272×2272画素

S: 2.6M : 1600×1600画素

ご注意

- 【 画質】が【RAW】、【RAW+JPEG】のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。
- 16:9の【 横縦比】で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

関連項目

- [横縦比（静止画）](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

横縦比（静止画）

静止画の横縦比を設定します。

1 MENU→1（撮影設定1）→横縦比→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

3:2 :

通常のプリントを行うのに適したサイズ。

4:3 :

パソコンで表示するのに適したサイズで撮影する。

16:9 :

ハイビジョンテレビでの鑑賞に適したサイズ。

1:1 :

中判カメラのような構図で撮影できる。

画質（静止画）

静止画の画質を設定します。

① MENU→1（撮影設定1）→画質→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

RAW：

ファイル形式：RAW（圧縮Raw形式で記録）

デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。画像サイズは常に最大サイズで固定され、モニターには画像サイズは表示されない。

RAW+JPEG：

ファイル形式：RAW（圧縮Raw形式で記録）+JPEG

RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像を使うなど、両方の画像を記録したい場合に便利。JPEGの画質は「ファイン」になる。

エクストラファイン：

ファイル形式：JPEG

画像がJPEG形式で圧縮され、「ファイン」よりきれいな画質で記録される。

ファイン：

ファイル形式：JPEG

画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。

スタンダード：

ファイル形式：JPEG

画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。「スタンダード」は「ファイン」に比べて圧縮率が高くなるためデータ量が少なくなる。1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

RAWについて

- 本機で撮影したRAW画像を開くにはImaging Edgeが必要です。このソフトウェアを使えば、RAW画像を開いたあと、JPEGやTIFFのような一般的なフォーマットに変換したり、ホワイトバランス、彩度、コントラストなどを再調整することができます。
- RAW形式の画像には、「オートHDR」、「ピクチャーエフェクト」を設定できません。

ご注意

- パソコンでの加工を予定していない場合は、JPEG形式で記録することをおすすめします。
- RAW画像には、DPOF（プリント予約）指定できません。

フォーカスモード

静止画/動画に応じてピント合わせの方法を選べます。

① MENU→1（撮影設定1）→〔フォーカスモード〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AF-S（シングルAF）：

SHUTTER/MOVIEボタンを半押しして、自動でピントを合わせる。SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししている間は、ピントが固定される。静止画撮影時のみ選択できます。

PF（プリセットフォーカス）：

広い範囲で良好な解像度が得られるピント位置で固定される。細かなフォーカス操作をせずに動画を撮影できます。被写体までの距離が近い場合は、NEARモードを使います。動画撮影時のみ選択できます。

MF（マニュアルフォーカス）：

ピント合わせを手動で行う。

ご注意

- 被写体までの距離が短い場合、レンズに付着したごみや指紋が写り込むことがあります。柔らかい布などを使って、レンズを拭いてください。
- 静止画撮影時は〔プリセットフォーカス〕を選択できません。また、動画撮影時は〔シングルAF〕を選択できません。

関連項目

- [プリセットフォーカス](#)
- [マニュアルフォーカス](#)

フォーカスエリア

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

① MENU→1 (撮影設定1) → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ワイド：

モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときには、ピントが合ったエリアに緑色の枠が表示される。

中央：

モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。フォーカスロックと併用して好きな構図で撮影が可能。

フレキシブルスポット：

モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。

拡張フレキシブルスポット：

フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周辺のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。

ヒント

- 「フォーカスエリア」が「フレキシブルスポット」または「拡張フレキシブルスポット」のときに、「フォーカススタンダード」を割り当てた  (決定) ボタンを押すと、上/下/左/右ボタンでフォーカス枠の位置を変更しながら撮影できます。上/下/左/右ボタンを使って撮影設定などを変更する場合は、 (決定) ボタンを押してください。
- 「ワイド」で被写体にピントが合わない場合は、「中央」にしてピントを合わせたい被写体にフォーカス枠を合わせ、SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを固定してください。そのまま撮りたい構図に戻して撮影してください（フォーカスロック）。

ご注意

- フォーカス枠の移動中は、上/下/左/右ボタンに割り当てられた機能を実行できません。

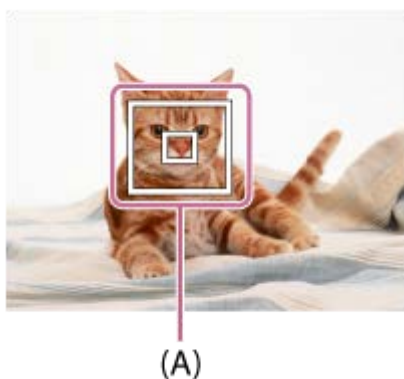
ロックオンAF

●（決定）ボタンを押すことで画面中央にある被写体を検出し、その被写体を追尾し続けます。

1 MENU→1（撮影設定1）→[● ボタン押しロックオンAF]→[入]を選ぶ。

2 ターゲット枠（A）を被写体に合わせて、●（決定）ボタンを押す。
追尾を解除する場合は、もう一度●（決定）ボタンを押す。

- 被写体を見失っても、再度被写体が現れると発見し復帰することができます。



3 SHUTTER/MOVIEボタンを押し込み撮影する。

ご注意

- 以下のときは、[● ボタン押しロックオンAF] 機能がうまく働かないことがあります。
 - 動きが速すぎる被写体
 - 小さすぎる、または大きすぎる被写体
 - 被写体と背景のコントラストが弱い場合
 - 暗いシーン
 - 明るさが変わるシーン
- 以下のときは、ロックオンAF機能は働きません。
 - マニュアルフォーカス時
 - 動画撮影時
- 追尾している被写体を見失って一定時間経過後は復帰できないことがあります。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

フォーカスエリア自動消灯

フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定します。

1 MENU→1（撮影設定1）→〔フォーカスエリア自動消灯〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

ピントが合ったあと一定時間経過後にフォーカスエリア表示を非表示にする。

切：

フォーカスエリア表示を常に表示する。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

フォーカスロック

オートフォーカス時に、希望の被写体にピントを固定して撮影します。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔フォーカスモード〕→〔シングルAF〕を選ぶ。
- 2 ピントを合わせたい被写体にフォーカスエリアを合わせ、SHUTTER/MOVIEボタンを半押しする。
ピントが固定されます。
- 3 SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻す。
- 4 SHUTTER/MOVIEボタンを押し込んで撮影する。

プリセットフォーカス

広い範囲で良好な解像度が得られるピント位置で固定されます。細かなフォーカス操作をせずに動画を撮影できます。

1 MENU→1（撮影設定1）→【フォーカスモード】→【プリセットフォーカス】を選ぶ。

カメラからの距離が約1m以上の被写体にピントが合う。

- カメラからの距離が約50cmから1mの被写体を撮るときは、【PF時のNEARモード】を【入】に設定してください。

ご注意

- 【プリセットフォーカス】は動画撮影時のみ選択できます。

関連項目

- [PF時のNEARモード](#)

PF時のNEARモード

〔プリセットフォーカス〕時のNEARモードを設定します。

① MENU→1（撮影設定1）→〔PF時のNEARモード〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

カメラからの距離が約1m以上の被写体を撮るときに使う。一般的な撮影に適している。

入：

カメラからの距離が約50cmから1mの被写体を撮るときに使う。近くのもの撮影に適している。

ヒント

- [カスタムキー(撮影)] で ● (決定) ボタンに [フォーカススタンダード] が割り当てられているときは、〔プリセットフォーカス〕時に ● (決定) ボタンを押すことでも [入] と [切] を切り換えることができます。

関連項目

- [プリセットフォーカス](#)

マニュアルフォーカス

静止画撮影時にオートフォーカスでピントが合いにくいときに、手動でピントを合わせることができます。
動画撮影時は、4K映像出力時などに使用します。外部モニターで被写体を見ながらより細かくピント合わせができます。

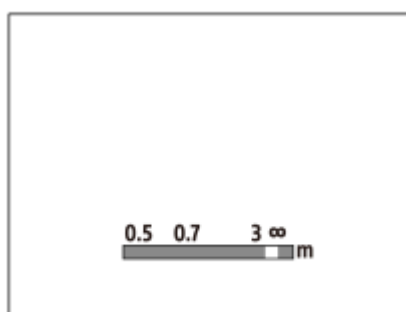
1 MENU→1（撮影設定1）→【フォーカスモード】→【マニュアルフォーカス】を選ぶ。

2 MENU→1（撮影設定1）→【フォーカス設定】を選ぶ。

マニュアルフォーカスの画面になる。

- 【カスタムキー(撮影)】で●（決定）ボタンに【フォーカススタンダード】が割り当てられているときは、●（決定）ボタンを押すことでもマニュアルフォーカスの画面になります。

3 上/下/左/右ボタンを押してピントを調整する。



上/下ボタンを押すと、フォーカスが0.5m ↔ 0.7m ↔ 3m ↔ ∞の位置に移動する。
左/右ボタンで、フォーカスを微調整できる。

- さまざまな条件下で良好なピント合わせが行えるように、フォーカス位置は無限遠を越えて移動できるようになっています。無限遠撮影時でもフォーカス指標の端まで動かさず、上ボタンを押して止まる∞の位置を目安として、モニターなどを見ながらピント合わせを行ってください。
- （決定）ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

ご注意

- 【フォーカスモード】を選び直すと、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。

ヒント

- 【MFアシスト】を使うと、マニュアルフォーカスのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。
- 【ピーキングレベル】を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります。

- MFアシスト
- ピーキングレベル

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

MFアシスト

マニュアルフォーカス撮影でピント合わせをするときに、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔MFアシスト〕→〔入〕を選ぶ。
- 2 MENU→1（撮影設定1）→〔フォーカス設定〕を選び、上/下/左/右ボタンでピントを調整する。

ヒント

- 拡大表示する時間は、MENU→1（撮影設定1）→〔ピント拡大時間〕で設定できます。

ご注意

- 拡大倍率は変更できません。

関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [ピント拡大時間](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ピント拡大時間

〔MFアシスト〕機能で拡大表示する時間を設定します。

1 MENU→1（撮影設定1）→〔ピント拡大時間〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

2秒：

拡大表示を2秒間行う。

5秒：

拡大表示を5秒間行う。

無制限：

拡大時間を無制限にします。SHUTTER/MOVIEボタンの操作で解除されます。

関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [MFアシスト](#)

ピーキングレベル

マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→【ピーキングレベル】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

高：
輪郭を強めに強調する。

中：
輪郭を適度に強調する。

低：
輪郭を弱めに強調する。

切：
輪郭を強調しない。

ヒント

- ピーキング機能は、[MFアシスト] と併用することをおすすめします。

ご注意

- 画像のシャープな部分をピントが合ったと判断するため、被写体によって強調表示効果が異なります。
- HDMI接続時はピーキングが表示されません。

関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [ピーキング色](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ピーキング色

マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を強調するピーキングの色を設定します。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

1 MENU→1（撮影設定1）→【ピーキング色】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

レッド：

ピーキングの色を赤にする。

イエロー：

ピーキングの色を黄色にする。

ホワイト：

ピーキングの色を白にする。

関連項目

- [マニュアルフォーカス](#)
- [ピーキングレベル](#)

AF/MFコントロール

静止画撮影時にオートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- 1 MENU→2（撮影設定2）→[カスタムキー(撮影)]→希望のボタン→[押す間AF/MFコントロール] または [再押しAF/MFコントロール] を選ぶ。
- 2 静止画撮影時に、[押す間AF/MFコントロール] または [再押しAF/MFコントロール] の機能を割り当てたボタンを押す。
オートフォーカス/マニュアルフォーカスが切り替わる。

メニュー項目の詳細

押す間AF/MFコントロール：

ボタンを押し続けている間、フォーカスが切り替わる。

再押しAF/MFコントロール：

ボタンを再度押すまで、フォーカスが切り替わる。

ご注意

- 動画撮影時は使用できません。
- [左ボタン] には、[押す間AF/MFコントロール] を設定できません。

瞳AF

ボタンを押している間、人物の目にピントを合わせます。

- 1 MENU→2（撮影設定2）→[カスタムキー(撮影)]→[ ボタン]→[瞳AF]の機能を設定する。
- 2 人物の顔に本機を向け、（決定）ボタンを押す。
- 3 （決定）ボタンを押したままSHUTTER/MOVIEボタンを押し込み撮影する。

ヒント

- 目にピントが合うと、目に枠が表示されます。目に表示された枠は一定時間後に顔検出枠に変わりますが、[瞳AF]は有効のままです。被写体までの距離が変わらない限り、目にピントが合い続けます。

ご注意

- 状況によっては、目にピントを合わせられない場合があります。目にピントを合わせられないときは、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- 人物の顔を検出できない場合、[瞳AF]は使用できません。
- [フォーカスモード]を[マニュアルフォーカス]に設定しているときなど、状況によっては使用できない場合があります。
- 以下のときは、[瞳AF]がうまく働かないことがあります。
 - － メガネ（サングラス）をかけた状態
 - － 前髪がかかった状態
 - － 低照度、逆光時
 - － 目を閉じた状態
 - － 影がかかった状態
 - － ピントが大きくずれた状態
 - － 被写体の動きが大きいとき
- 被写体の動きが大きいときは、目の枠の表示がずれることがあります。
- [撮影モード]が以下の場合や動画撮影中は、[瞳AF]は使用できません。
 - － [ おまかせオート]
 - － [ プログラムオート]
 - － [ マニュアル露出]
 - － [ハイフレームレート]

関連項目

- [カスタムキー\(撮影\)](#)
- [顔検出](#)

ズームする

画像を拡大して撮影します。

この機能は本体ソフトウェアVer.3.00以降で使用できます。

- 1 MENU→2（撮影設定2）→[ズーム設定]→希望の設定を選ぶ。
- 2 MENU→2（撮影設定2）→[ズーム]を選ぶ。
 - [カスタムキー(撮影)]でお好みのボタンに[ズーム]が割り当てられているときは、そのボタンを押すことでもズームを行う画面になります。
- 3 左/右ボタンまたは上/下ボタンを押して希望の倍率を選び、（決定）ボタンを押す。
 - 左/右ボタンを使うとなめらかにズームし、上/下ボタンを使うと一定の画角で段階的に倍率が変化します。
 - ズームを解除するにはMENUボタンを押します。
- 4 撮影する。

メニュー項目の詳細

スマートズームのみ：

画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大します。[ 画像サイズ]をM、SまたはVGAにするとスマートズームを使用できます。

入:全画素超解像ズーム：

全画素超解像ズーム範囲まで使用する場合はこの設定を選びます。スマートズーム範囲を超えても、画質がほとんど劣化しません。

入:デジタルズーム：

全画素超解像ズーム倍率を超えた場合に、画質は劣化するが、最大倍率が大きいズームを行えます。

本機で利用できるズームについて

本機では、いくつかのズームを組み合わせることで、高倍率のズームができます。ズームの種類によってモニターに表示されるアイコンが変わります。



1. スマートズーム範囲（）
画像を部分的に切り出して、画質を劣化させずに拡大する。（画像サイズがM、S、VGAのときのみ。）
2. 全画素超解像ズーム範囲（）
画質劣化の少ない画像処理により拡大する。[ズーム設定]を[入:全画素超解像ズーム]または[入:デジタルズーム]にすると使用できます。
3. デジタルズーム範囲（）
画像処理により拡大する。[ズーム設定]を[入:デジタルズーム]にすると使用できます。

ヒント

- 別売のシューティンググリップ（VCT-SGR1）のズームボタンを押してズーム操作を開始することもできます。

ご注意

- 以下の場合、ズームは使えません。
 - － [ 画質] が [RAW] または [RAW+JPEG]
 - － [ 記録設定] が [120p]
- 画質が劣化しない範囲でのみズームしたい場合は、[スマートズームのみ] に設定してください。

関連項目

- [ズーム倍率について](#)
- [カスタムキー\(撮影\)](#)
- [バージョン表示](#)

ズーム倍率について

画像サイズによって、ズーム倍率は変わります。

〔 横縦比〕が〔3:2〕の場合

 画像サイズ	ズーム設定		
	スマートズームのみ	入:全画素超解像ズーム	入:デジタルズーム
L : 15M	-	約2倍	約4倍
M : 7.7M	約1.4倍	約2.8倍	約5.6倍
S : 3.8M	約2倍	約4倍	約8倍

関連項目

- [ズームする](#)
- [画像サイズ \(静止画\)](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

シャッタースピード

マニュアル露出時にシャッタースピードを設定します。

1 MENU→1（撮影設定1）→[シャッタースピード]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

1/4～1/32000

- 動画撮影時は、1/4秒～1/12800秒の範囲で設定できます。

関連項目

- [マニュアル露出](#)（静止画/動画）

露出補正

自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると画像全体を明るく、-側に補正すると画像全体を暗くできます（露出補正）。通常は、露出が自動的に設定されます（自動露出）。

1 MENU→1（撮影設定1）→〔露出補正〕→希望の設定を選ぶ。

- 露出は-3.0～+3.0の範囲で設定できます。

ご注意

- 動画撮影時は-2.0EVから+2.0EVの範囲で調整できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いときは、十分な効果が得られないことがあります。
- 〔マニュアル露出〕時は、〔ISO感度〕が〔ISO AUTO〕のときのみ露出補正できます。

測光モード

本機が自動で露出を決めるとき、モニターのどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→〔測光モード〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

 マルチ：

複数に分割したモニターを各エリアごとに測光し、画面全体の最適な露出を決定する（マルチパターン測光）。

 中央重点：

モニターの中央部に重点をおきながら、全体の明るさを測光する（中央重点測光）。

 スポット：

画面中央部だけで測光する（スポット測光）。逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利。

ご注意

- 以下の撮影モードのときは、〔マルチ〕に固定されます。
 - － 〔おまかせオート〕
 - － 〔プレミアムおまかせオート〕

AEロック

逆光や窓際などでの撮影で、背景と被写体に大きな明暗の差がある場合は、被写体が適正な明るさになる箇所で測光し、露出を固定して撮影します。被写体の明るさを抑えたいときは被写体よりも明るい箇所で測光し、被写体をより明るくしたいときは被写体よりも暗い箇所で測光し、画面全体の露出を固定します。

- 1 MENU→2（撮影設定2）→[カスタムキー(撮影)]→希望のボタンに[再押しAEL]を割り当てる。
- 2 露出を合わせる箇所にピントを合わせる。
- 3 [再押しAEL]を割り当てたボタンを押す。
露出が固定され、（AEロックマーク）が表示される。
- 4 撮影したい被写体にピントを合わせ直し、撮影する。
 - 露出固定を解除するときは、もう一度[再押しAEL]を設定したボタンを押す。

ヒント

- 2（撮影設定2）→[カスタムキー(撮影)]で（決定）ボタンに[押す間AEL]を設定すると、ボタンを押している間だけ露出を固定することができます。

ご注意

- [左ボタン]には、[押す間AEL]を設定できません。

シャッター半押しAEL（静止画）

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに露出固定を行うかどうかを設定します。
ピント合わせと露出固定を別々に行いたいときに有効です。

1 MENU→1（撮影設定1）→シャッター半押しAEL→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

［フォーカスモード］を［シングルAF］にしているとき、SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてオートフォーカス後、露出固定を行う。

入：

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに、露出固定を行う。

切：

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに、露出固定を行わない。ピント合わせと露出固定を別々に行いたいときに使う。

［連続撮影］、［速度優先連続撮影］中も露出を合わせ続けます。

ご注意

- ［カスタムキー(撮影)］で［再押しAEL］が割り当てられている場合は、［再押しAEL］を割り当てたボタンによる操作が優先されます。

ゼブラ

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル（IRE）部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。

1 MENU →  **2** （撮影設定2） → **【ゼブラ】** → **希望の設定を選ぶ。**

メニュー項目の詳細

切：
しま模様を表示しない。

70/75/80/85/90/95/100/100+/ カスタム1 /カスタム2：
輝度レベルを設定する。

ヒント

- 【ゼブラ】の設定値には、輝度レベルを表す数値以外に、露出確認用と白とび確認用の設定を登録することができます。お買い上げ時には【カスタム1】には露出確認用、【カスタム2】には白とび確認用の設定が登録されています。
- 露出確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの基準値と、その範囲数値を指定します。指定された範囲の輝度部分がゼブラ表示されます。
- 白とび確認用として使用する場合は、ゼブラ表示する輝度レベルの下限值を指定します。指定した数値以上の輝度部分がゼブラ表示されます。

ご注意

- HDMI接続時はゼブラが表示されません。

ドライブモード

連写やセルフタイマーなど、いろいろな撮影方法を設定できます。

① MENU→ 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

1枚撮影：

1枚撮影する。通常の撮影方法。

連続撮影：

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続撮影する。

速度優先連続撮影：

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、高速で連続撮影する。

セルフタイマー：

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影する。

セルフタイマー（連続）：

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影する。

連続ブラケット：

SHUTTER/MOVIEボタンを押し続けることで、露出を段階的にずらして画像を撮影する。

1枚ブラケット：

露出を段階的にずらして、指定した枚数の画像を1枚ずつ撮影する。

ホワイトバランスブラケット：

選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

DROブラケット：

Dレンジオブティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

ご注意

- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
 - － [ピクチャーエフェクト] が [ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - － [DRO/オートHDR] が [オートHDR]
 - － [ISO感度] が [マルチショットNR]

関連項目

- [連続撮影](#)
- [速度優先連続撮影](#)
- [セルフタイマー](#)
- [セルフタイマー（連続）](#)
- [連続ブラケット](#)
- [1枚ブラケット](#)
- [ホワイトバランスブラケット](#)
- [DROブラケット](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

連続撮影

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続して撮影します。

1 MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔連続撮影〕を選ぶ。

ご注意

- 以下のときは、連続撮影ができません。
 - －〔ピクチャーエフェクト〕が〔ソフトフォーカス〕、〔絵画調HDR〕、〔リッチトーンモノクロ〕、〔ミニチュア〕、〔水彩画調〕、〔イラスト調〕
 - －〔DRO/オートHDR〕が〔オートHDR〕
 - －〔ISO感度〕を〔マルチショットNR〕に設定しているとき

速度優先連続撮影

SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続して撮影します。〔連続撮影〕より高速で連写できます。

1 MENU→1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [速度優先連続撮影] を選ぶ。

ご注意

- 連写のコマ間には、撮影された直後の画像が表示されます。
- 以下のときは、連続撮影ができません。
 - － [ピクチャーエフェクト] が [ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - － [DRO/オートHDR] が [オートHDR]
 - － [ISO感度] を [マルチショットNR] に設定しているとき

ヒント

- 露出は1枚目で固定されます。

セルフタイマー

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで撮影します。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔セルフタイマー〕を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

10 セルフタイマー: 10秒:

10秒後に撮影されるようにセルフタイマーを設定する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、10秒後に撮影される。中止するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

5 セルフタイマー: 5秒:

5秒後に撮影されるようにセルフタイマーを設定する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、5秒後に撮影される。中止するには、もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

2 セルフタイマー: 2秒:

2秒後に撮影されるようにセルフタイマーを設定する。SHUTTER/MOVIEボタンを押したときのブレが軽減できる。

ヒント

- セルフタイマーを解除するには、MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔1枚撮影〕を選びます。
- ブラケットモードでセルフタイマー撮影するには、ドライブモードでブラケットを選択したうえで、MENU→1（撮影設定1）→〔ブラケット設定〕→〔ブラケット時のセルフタイマー〕を選んでください。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

セルフタイマー（連続）

SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後にセルフタイマーで指定枚数を連続撮影します。設定した枚数の中からお気に入りの1枚を選べます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔セルフタイマー（連続）〕を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

セルフタイマー(連続): 10秒後 3枚 :

10秒後に、3枚連写する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、10秒後に撮影が開始される。

セルフタイマー(連続): 10秒後 5枚 :

10秒後に、5枚連写する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、10秒後に撮影が開始される。

セルフタイマー(連続): 5秒後 3枚 :

5秒後に、3枚連写する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、5秒後に撮影が開始される。

セルフタイマー(連続): 5秒後 5枚 :

5秒後に、5枚連写する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、5秒後に撮影が開始される。

セルフタイマー(連続): 2秒後 3枚 :

2秒後に、3枚連写する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

セルフタイマー(連続): 2秒後 5枚 :

2秒後に、5枚連写する。

SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、電子音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

ヒント

- セルフタイマーを解除するには、MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔1枚撮影〕を選びます。

連続ブラケット

露出を自動的に標準/暗い/明るい順でずらして撮影します。撮影が終わるまでSHUTTER/MOVIEボタンを押し続けて撮影します。

撮影した後に、イメージにあった明るさの画像を選ぶことができます。

① MENU→1（撮影設定1）→【ドライブモード】→【連続ブラケット】を選ぶ。

② 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

 **連続ブラケット: 0.3EV 3枚:**

0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 0.3EV 5枚:**

0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして5枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 0.3EV 9枚:**

0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして9枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 0.7EV 3枚:**

0.7EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 0.7EV 5枚:**

0.7EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして5枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 0.7EV 9枚:**

0.7EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして9枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 1.0EV 3枚:**

1.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 1.0EV 5枚:**

1.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして5枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 1.0EV 9枚:**

1.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして9枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 2.0EV 3枚:**

2.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 2.0EV 5枚:**

2.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして5枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 3.0EV 3枚:**

3.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして3枚ブラケット撮影する。

 **連続ブラケット: 3.0EV 5枚:**

3.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして5枚ブラケット撮影する。

ご注意

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。
- [マニュアル露出] で [ISO AUTO] のときはISO感度を変えて露出値をずらします。[ISO AUTO] 以外の設定ではシャッタースピードを変えて露出値をずらします。
- 露出値を補正しているときは、補正された露出値を基準に露出をずらします。
- 以下の場合は、ブラケット撮影できません。
 - 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]

関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)
- [ブラケット撮影時のインジケーター](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

1枚ブラケット

露出を自動的に標準/暗い/明るいの順でずらして撮影します。1枚ずつSHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影します。撮影した後に、イメージにあった明るさの画像を選ぶことができます。

- 1 MENU→ 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [1枚ブラケット] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

-  **1枚ブラケット: 0.3EV 3枚:**
0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 0.3EV 5枚:**
0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ5枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 0.3EV 9枚:**
0.3EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ9枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 0.7EV 3枚:**
0.7EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 0.7EV 5枚:**
0.7EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ5枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 0.7EV 9枚:**
0.7EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ9枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 1.0EV 3枚:**
1.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 1.0EV 5枚:**
1.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ5枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 1.0EV 9枚:**
1.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ9枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 2.0EV 3枚:**
2.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 2.0EV 5枚:**
2.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ5枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 3.0EV 3枚:**
3.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ3枚ブラケット撮影する。
-  **1枚ブラケット: 3.0EV 5枚:**
3.0EVずつ、+側と-側にそれぞれ露出値をずらして1枚ずつ5枚ブラケット撮影する。

ご注意

- [マニュアル露出] で [ISO AUTO] のときはISO感度を変えて露出値をずらしします。[ISO AUTO] 以外の設定ではシャッタースピードを変えて露出値をずらしします。
- 露出値を補正しているときは、補正された露出値を基準に露出をずらしします。
- 以下の場合は、ブラケット撮影できません。
 - 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]

- [ブラケット撮影時の設定](#)
- [ブラケット撮影時のインジケーター](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

ホワイトバランスブラケット

選択されているホワイトバランス・色温度/カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔ホワイトバランスブラケット〕を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

 ホワイトバランスブラケット: Lo :
ホワイトバランスの変化が小さい3枚の画像を記録する。

 ホワイトバランスブラケット: Hi :
ホワイトバランスの変化が大きい3枚の画像を記録する。

ご注意

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。

関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)

DROブラケット

Dレンジオブティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→〔DROブラケット〕を選ぶ。
- 2 左/右ボタンで希望のモードを選ぶ。

メニュー項目の詳細

 **DROブラケット: Lo :**

Dレンジオブティマイザーの値の変化が小さい3枚の画像を記録する。

 **DROブラケット: Hi :**

Dレンジオブティマイザーの値の変化が大きい3枚の画像を記録する。

ご注意

- オートレビューには最後の1枚が表示されます。

関連項目

- [ブラケット撮影時の設定](#)

ブラケット撮影時の設定

ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。

① MENU→1（撮影設定1）→〔ドライブモード〕→ブラケットを選ぶ。

② MENU→1（撮影設定1）→〔ブラケット設定〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ブラケット時のセルフタイマー：

ブラケット撮影時にセルフタイマー撮影を行うかどうか設定する。撮影を行う場合、撮影までの秒数を設定する。
(OFF/2秒/5秒/10秒)

ブラケット順序：

露出ブラケット、ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。
(0→-→+/-→0→+)

関連項目

- [連続ブラケット](#)
- [1枚ブラケット](#)
- [ホワイトバランスブラケット](#)
- [DROブラケット](#)

ブラケット撮影時のインジケータ

ブラケット撮影時は、モニターにブラケットインジケータが表示されます。

ブラケットインジケータの表示例

定常光*ブラケットでブラケット幅が0.3EV、ブラケット枚数が3枚のとき、ブラケットインジケータは以下のように表示されます。

* 定常光：自然光や電球・蛍光灯など、フラッシュ光以外の総称。フラッシュ光が一瞬だけ光るのに対し、常に一定して存在する光なのでこう呼ばれます。

露出補正が±0.0EVの場合



MM（メータードマニュアル）が－1.0EVの場合



- ブラケット撮影時には、ブラケット撮影枚数分の指標がブラケットインジケータに表示されます。
- ブラケット撮影を開始すると、撮影済みの指標が順に消えていきます。

ご注意

- MM（メータードマニュアル）はM（マニュアル露出）モードで、[ISO感度]が[ISO AUTO]以外のときのみ表示されます。

ISO感度

光に対する感度は、ISO感度（推奨露光指数）で表します。数値が大きいほど高感度になります。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→[ISO感度]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マルチショットNR：

連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

ISO AUTO、ISO 200～ISO 25600の中から希望の数値を選ぶ。

ISO AUTO：

カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。

ISO 80～ISO 12800：

好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きいほど高感度になる。

ご注意

- 以下のときは、[ISO AUTO] に設定されます。
 - － [おまかせオート]
 - － [プレミアムおまかせオート]
- ISO125未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲（ダイナミックレンジ）が少し狭くなります。
- ISO感度が高くなるほど、ノイズが増えます。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはHFR撮影時で、選べる設定が異なります。
- 動画撮影時はISO125～ISO12800の範囲で選べます。ISO125よりも小さい設定値の状態では動画撮影を始めると、ISO125に切り替わります。動画撮影を終えると元の設定値に戻ります。
- [マルチショットNR] を使用すると、重ね合わせ処理のため、記録処理に時間がかかります。

ヒント

- [ISO AUTO] 時に自動設定されるISO感度の範囲を変更できます。[ISO AUTO] を選択したときに、右ボタンを押して、[ISO AUTO 上限] / [ISO AUTO 下限] を選んで希望の数値を設定してください。この設定は [マルチショットNR] の [ISO AUTO] 時にも反映されます。

関連項目

- [マルチショットNR](#)
- [ISO AUTO低速限界](#)

ISO AUTO低速限界

撮影モードがP（プログラムオート）で [ISO AUTO] または [マルチショットNR] の [ISO AUTO] を選択したときに、ISO感度が変わり始めるシャッタースピードを設定できます。

この機能は、動いている被写体を撮影するときに効果的です。手ブレを抑えながら、被写体ブレも軽減することができます。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→ [ISO AUTO低速限界] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

FASTER（より高速）/FAST（高速）：

[標準] よりも速いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、手ブレや被写体ブレを抑えることができる。

STD（標準）：

カメラが自動で設定する。

SLOW（低速）/SLOWER（より低速）：

[標準] よりも遅いシャッタースピードでISO感度が変わり始めるため、ノイズの少ない写真を撮影できる。

1/32000 ～ 1/4：

設定したシャッタースピードでISO感度が変わり始める。

ヒント

- [より高速]、[高速]、[標準]、[低速]、[より低速] でISO感度が変わり始めるシャッタースピードの差は、それぞれ1段分です。

ご注意

- ISO感度を、[ISO AUTO] 時に設定した [ISO AUTO 上限] まで上げても露出不足になる場合は、適正露出で撮影するために [ISO AUTO低速限界] で設定したシャッタースピードよりも低速になります。

関連項目

- [プログラムオート（静止画/動画）](#)
- [ISO感度](#)
- [マルチショットNR](#)

マルチショットNR

自動的に複数枚の連写を行い、画像を合成し、ノイズを軽減して記録します。記録される画像は合成された1枚のみです。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔ISO感度〕→〔マルチショットNR〕を選ぶ。
- 2 右ボタンを押して設定画面を表示させ、上/下ボタンで希望の数値を選ぶ。

ご注意

- 〔画質〕が〔RAW〕、〔RAW+JPEG〕のときは設定できません。
- 〔Dレンジオブティマイザー〕、〔オートHDR〕は使用できません。
- 〔ピクチャープロファイル〕が〔切〕以外るとき、〔マルチショットNR〕は設定できません。
- 〔ピクチャーエフェクト〕が〔切〕以外るとき、〔マルチショットNR〕は設定できません。

ヒント

- 〔マルチショットNR〕の〔ISO AUTO〕時に自動設定されるISO感度の範囲を変更できます。〔ISO感度〕の〔ISO AUTO〕を選択したときに、右ボタンを押して、〔ISO AUTO 上限〕〔ISO AUTO 下限〕を選んで希望の数値を設定してください。この設定が〔マルチショットNR〕の〔ISO AUTO〕時にも反映されます。

Dレンジオプティマイザー（DRO）

被写体や背景の明暗の差を細かな領域に分けて分析し、最適な明るさと階調の画像にします。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→ [DRO/オートHDR] → [Dレンジオプティマイザー] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンを押して、希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

 **Dレンジオプティマイザー：オート：**

本機が自動で調整する。

 **Dレンジオプティマイザー：Lv1 ～ Dレンジオプティマイザー：Lv5：**

撮影画像の階調を画像の領域ごとに最適化する。Lv1（弱）～Lv5（強）で最適化レベルを選ぶ。

ご注意

- [マルチショットNR]、または [ピクチャーエフェクト] が [切] 以外のときは [DRO/オートHDR] は [切] に固定されます。
- [ピクチャープロフィール] が [切] 以外のとき、[DRO/オートHDR] は [切] に固定されます。
- [Dレンジオプティマイザー] 動作時は、ノイズが目立つ場合があります。特に補正効果を強めるときは、撮影後の画像を確認しながらレベルを選んでください。

オートHDR

明るい部分から暗い部分までを表現する範囲（階調）が広がり、適切な明るさで撮ることができます（HDR：High Dynamic Range）。適正露出画像と合成された画像の2枚が記録されます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→ [DRO/オートHDR] → [オートHDR] を選ぶ。
- 2 左/右ボタンを押して、希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

 オートHDR: 露出差オート：
本機が自動で調整する。

 オートHDR: 露出差1.0EV ～ オートHDR: 露出差6.0EV：
被写体の明暗差に応じて露出差を設定する。1.0EV（弱）～6.0EV（強）で最適化レベルを選ぶ。
例：2.0EVでは、－1.0EVの画像、適正露出の画像、+1.0EVの画像の3枚が合成される。

ご注意

- [ 画質] が、[RAW] または [RAW+JPEG] のときは設定できません。
- 撮影モードが以下のときは、[オートHDR] を設定できません。
 - － [おまかせオート]
 - － [プレミアムおまかせオート]
- [マルチショットNR] 時は設定できません。
- [ピクチャーエフェクト] が [切] 以外のときは設定できません。
- [ピクチャープロフィール] が [切] 以外のとき、[オートHDR] は設定できません。
- 撮影後、処理が終わるまで次の撮影はできません。
- 被写体の輝度差の状況や撮影環境によっては思い通りの効果を得られないことがあります。
- コントラストが低いシーンや、大きな手ブレ、被写体ブレが発生した場合は、良好なHDR画像が撮影できていないことがあります。カメラがブレを検出した場合は、再生画像に   を表示してお知らせします。必要に応じて、構図を変えたり、ブレに注意して撮影し直してください。

ホワイトバランス

撮影場所の光の状況に合わせて、色合いを調整します。画像の色合いが思った通りにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに使います。

1 MENU→1（撮影設定1）→【ホワイトバランス】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

AWB オート：

本機が光源を自動判別し、適した色合いに調整する。

太陽光：

晴天の屋外に合わせる。

日陰：

日陰に合わせる。

曇天：

曇り空に合わせる。

電球：

白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。

-1 蛍光灯：温白色：

温白色蛍光灯の光に合わせる。

0 蛍光灯：白色：

白色蛍光灯の光に合わせる。

+1 蛍光灯：昼白色：

昼白色蛍光灯の光に合わせる。

+2 蛍光灯：昼光色：

昼光色蛍光灯の光に合わせる。

水中オート：

水中の色合いに合わせる。

色温度・カラーフィルター：

光源の色に合わせて設定する（色温度）。写真用のCC（色補正）フィルターと同等の効果が得られる（カラーフィルター）。

カスタム 1/カスタム 2/カスタム 3：

「カスタムセット」で取得した設定を使用する。

SET カスタムセット：

撮影する光源下で基準になる白色を取得する。

登録先の番号を選び決定する。

ヒント

- 右ボタンで、微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。
- 「色温度・カラーフィルター」のときは、右ボタンで色温度の設定画面が表示され、設定できます。もう一度右ボタンを押すと微調整画面が表示され、必要に応じて色合いを微調整できます。

ご注意

- 以下のときは、【ホワイトバランス】は【オート】に固定されます。
 - － 【おまかせオート】
 - － 【プレミアムおまかせオート】

関連項目

- [「カスタムセット」で基準の白を取り込む](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

【カスタムセット】で基準の白を取り込む

複数の種類の光源で被写体が照らされている場合などに、より正確な色合いを表現したいときは、カスタムホワイトバランスの使用をおすすめします。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→【ホワイトバランス】→【カスタムセット】を選ぶ。
- 2 白く写したいものが画面中央のサークルを覆うようにカメラを構えて、（決定）ボタンを押す。
取り込んだ値（色温度とカラーフィルター）が表示される。
- 3 左/右ボタンで登録番号を選び、決定する。
登録したカスタムホワイトバランス値が設定された状態で、撮影情報画面に戻る。

ご注意

- 【カスタムWB設定エラー】というメッセージが表示されたときは、値が想定外であることを表しています（鮮やかな色の被写体に向けた場合など）。値は登録され、撮影情報画面の表示がオレンジ色になります。撮影はできますが、設定し直すことをおすすめします。

ピクチャーエフェクト

好みの効果を選んで、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できます。

① MENU→1 (撮影設定1) → [ピクチャーエフェクト] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

 切：

[ピクチャーエフェクト] を使わない。

 ポップカラー：

色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。

 ポスタリゼーション：

原色のみまたは白黒で再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。

 レトロフォト：

古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。

 ソフトハイキー：

明るく、透明感や軽さ、優しさ、柔らかさを持ったような仕上がりになる。

 パートカラー：

1色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。

 ハイコントラストモノクロ：

明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。

 ソフトフォーカス：

柔らかな光につつまれたような雰囲気仕上がりになる。

 絵画調HDR：

絵画のように色彩やディテールが強調された仕上がりになる。

 リッチトーンモノクロ：

階調が豊かでディテールも再現されたモノクロに仕上がる。

 ミニチュア：

ミニチュア模型を撮影したように鮮やかでボケの大きな仕上がりになる。

 水彩画調：

にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。

 イラスト調：

輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。

ヒント

- 以下の設定は左/右ボタンで詳細な設定ができます。
 - － [ポスタリゼーション]
 - － [パートカラー]
 - － [ソフトフォーカス]
 - － [絵画調HDR]
 - － [ミニチュア]
 - － [イラスト調]

ご注意

- [パートカラー] のとき、被写体や撮影条件によっては設定した色が残らないことがあります。
- 以下のときは撮影後に画像処理を行うため、撮影画面で効果を確認できません。撮影後、処理が終わるまで次の撮影はできません。また、動画には適用されません。
 - － [ソフトフォーカス]

- [絵画調HDR]
- [リッチトーンモノクロ]
- [ミニチュア]
- [水彩画調]
- [イラスト調]

- [絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ] のときは、1度の撮影で3回シャッターが切られるため、以下に注意してください。

- 動きや点滅発光などがない被写体のときに設定する
- 構図が変わらないように撮影する

またコントラストが低いシーンや、大きな手ブレ、被写体ブレが発生した場合は、良好な結果が得られない場合があります。カメラがブレを検出した場合は、再生画像に  /  を表示してお知らせします。必要に応じて、構図を変えたり、ブレに注意して撮影し直してください。

- 撮影モードが [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート] のときは設定できません。
- [ 画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のときは設定できません。

クリエイティブスタイル

お好みの画像仕上がりを選べます。露出（シャッタースピード）などを好みに応じて調整できます。

① MENU→1（撮影設定1）→[クリエイティブスタイル]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スタンダード：

さまざまなシーンを豊かな階調と美しい色彩で表現する。

ビビッド：

彩度とコントラストが高めになり、花、新緑、青空、海など色彩豊かなシーンをより印象的に表現する。

ニュートラル：

彩度・シャープネスが低くなり、落ち着いた雰囲気表現する。パソコンでの画像加工を目的とした撮影にも適している。

クリア：

ハイライト部分の抜けがよく、透明感のある雰囲気表現する。光の煌めき感などの表現に適している。

ディープ：

濃く深みのある色再現にする。重厚感、存在感など、重みのある表現に適している。

ライト：

明るく、すっきりとした色再現にする。爽快感、軽快感など明るい雰囲気の表現に適している。

ポートレート：

肌をより柔らかくに再現する。人物の撮影に適している。

風景：

彩度、コントラスト、シャープネスがより高くなり、鮮やかでメリハリのある風景に再現する。遠くの風景もよりくっきりする。

夕景：

夕焼けの赤さを美しく表現する。

夜景：

コントラストがやや低くなり、見た目の印象により近い夜景に再現する。

紅葉：

紅葉の赤、黄をより鮮やかに表現する。

白黒：

白黒のモノトーンで表現する。

セピア：

セピア色のモノトーンで表現する。

お好みの設定を登録する（スタイルボックス）：

任意の内容を登録できる6つのスタイルボックス（のように左側に数字が入っているもの）を選んで、右ボタンで、希望の設定を選んで登録できる。

スタイルボックスを使えば、同じスタイルでも微妙に設定を変えて呼び出せる。

【コントラスト】、【彩度】、【シャープネス】の設定

【コントラスト】、【彩度】、【シャープネス】は、【スタンダード】や【風景】などのプリセットの画像スタイルや、お好みの設定を登録できる【スタイルボックス】ごとに調整できます。

左/右ボタンを押して項目を選び、上/下ボタンで値を設定します。

コントラスト：

+側に設定するほど明暗差が強調され、インパクトのある仕上がりになる。

彩度：

+側にするほど色が鮮やかになる。－側に設定すれば控えめで落ち着いた色に再現される。

シャープネス：

解像感を調整できる。+側に設定すれば輪郭がよりくっきりし、－側に設定すれば柔らかな表現になる。

ご注意

- 以下のときは、[クリエイティブスタイル] は [スタンダード] に固定されます。
 - － [おまかせオート]
 - － [プレミアムおまかせオート]
 - － [ピクチャーエフェクト] が [切] 以外
 - － [ピクチャープロフィール] が [切] 以外
- [白黒]、[セピア] を選択しているときは、[彩度] の調整はできません。

動画の記録フォーマットについて

本機で選べる動画の記録フォーマットについて説明します。

XAVC Sとは

高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質化することができます。

XAVC S/AVCHD記録フォーマットとその特長

XAVC S HD :

ビットレート：約50 Mbps

AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。

AVCHD :

ビットレート：約28 Mbps（最大）、約24 Mbps（最大）、または約17 Mbps（平均）
パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。

- ビットレートとは、一定時間あたりの記録データ量です。

関連項目

- [記録方式（動画）](#)
- [記録設定（動画）](#)
- [AVCHD規格について](#)

記録方式（動画）

動画を記録するときの記録方式を設定します。

1 MENU→ **2**（撮影設定2）→ 記録方式 →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

XAVC S HD：

XAVC S規格のHD動画を記録する。高ビットレートに対応した記録方式。

音声：LPCM

-  記録方式 を [XAVC S HD] にして撮影する場合は、下記が必要です。
 - microSDHCカード（SDスピードクラス10、またはUHSスピードクラス1以上）
 - microSDXCカード（SDスピードクラス10、またはUHSスピードクラス1以上）

AVCHD：

AVCHD規格のHD動画を記録する。ハイビジョンテレビに適した記録方式。

音声：Dolby Digital

MP4：

MP4（AVC）動画を記録する。スマートフォンやタブレットで見る、またはWEBアップロードやメールに適した記録方式。

音声：AAC

ヒント

- ソフトウェアPlayMemories Homeを使って、画像をパソコンに保存、またはお使いの再生機器に合わせたディスクを作成できます。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

記録設定（動画）

動画撮影時の画像サイズとフレームレート、画質を設定します。ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。

1 MENU →  **2**（撮影設定2） → [ 記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

記録方式：XAVC S HDのとき

MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮し、MP4形式で記録される。

60p 50M：

1920×1080（60p）で撮影する。

ビットレート：約50Mbps

30p 50M：

1920×1080（30p）で撮影する。

ビットレート：約50Mbps

24p 50M：

1920×1080（24p）で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。

ビットレート：約50Mbps

120p 50M：

1280×720（120p）のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画が記録できる。

対応する編集機器を使って滑らかなスローモーション動画を作ることができる。

ビットレート：約50Mbps

記録方式：AVCHDのとき

60iは、約60フィールド/秒、インターレース、Dolby Digital音声、AVCHD方式で記録される。

24pは、約24フレーム/秒、プログレッシブ、Dolby Digital音声、AVCHD方式で記録される。

60pは、約60フレーム/秒、プログレッシブ、Dolby Digital音声、AVCHD方式で記録される。

60i 24M(FX)：

1920×1080（60i）で撮影する。

ビットレート：最大24Mbps

60i 17M(FH)：

1920×1080（60i）で撮影する。

ビットレート：平均約17Mbps

60p 28M(PS)：

1920×1080（60p）で撮影する。

ビットレート：最大28Mbps

24p 24M(FX)：

1920×1080（24p）で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。

ビットレート：最大24Mbps

24p 17M(FH)：

1920×1080（24p）で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。

ビットレート：平均約17Mbps

記録方式：MP4のとき

MPEG-4、約60フレーム/秒または約30フレーム/秒、プログレッシブ、AAC音声、MP4形式で記録される。

1920x1080 60p 28M：

1920×1080（60p）で撮影する。

ビットレート：平均約28Mbps

1920x1080 30p 16M：

1920×1080（30p）で撮影する。

ビットレート：平均約16Mbps

1280x720 30p 6M：

1280×720（30p）の小さいファイルサイズで撮影する。

ビットレート：平均約6Mbps

ご注意

- 60pの動画は対応機器以外では再生できません。
- [ 記録設定] を [60p 28M(PS)] / [60i 24M(FX)] / [24p 24M(FX)] にして撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときはブルーレイディスクに保存してください。
- 60p、24p動画をTVで再生するには、60p、24pに対応したTVが必要です。もし、TVが60p、24pに対応していない場合は60iとして出力されます。
- 以下のとき、[120p] は選べません。
 - － [おまかせオート]
 - － [プレミアムおまかせオート]

関連項目

- [スーパースローモーション撮影の設定をする（ハイフレームレート設定）](#)

同時ビデオ記録

XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画が同時に記録できます。

1 MENU→2（撮影設定2）→〔同時ビデオ記録〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画を同時に記録する。

切：

同時ビデオ記録機能を使わない。

ご注意

- XAVC S動画の〔記録設定〕を〔60p〕〔120p〕に設定しているとき、AVCHD動画の〔記録設定〕を〔60p〕に設定しているとき、または〔記録方式〕が〔MP4〕のときは、〔同時ビデオ記録〕は〔切〕になります。
- 動画再生時、〔ビューモード〕で〔日付ビュー〕を選択すると、XAVC S動画とMP4動画、AVCHD動画とMP4動画が並んで表示されます。

関連項目

- [記録設定（動画）](#)
- [ビューモード](#)

マーカー表示（動画）

動画撮影時に、 マーカー設定 で設定したマーカーをモニターに表示するかを設定します。

① MENU →  2（撮影設定2） →  マーカー表示 → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
マーカーを表示する。マーカーは記録されない。

切：
マーカーを表示しない。

ご注意

- マーカー表示は、動画モード時または動画記録中に表示されます。
- マーカー表示は、モニターのみに表示されます。（外部に出力することはできません。）

関連項目

- [マーカー設定（動画）](#)

マーカー設定（動画）

動画撮影時に表示されるマーカーを設定します。

① MENU →  ②（撮影設定2） → [ マーカー設定] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

センター：

撮影画面の中心にセンターマーカーを表示するかどうかを設定する。

[切] / [入]

アスペクト：

アスペクトマーカー表示の設定をする。

[切] / [4:3] / [13:9] / [14:9] / [15:9] / [1.66:1] / [1.85:1] / [2.35:1]

セーフティゾーン：

セーフティゾーン表示の設定をする。一般的な家庭用テレビで受像できる範囲の目安になる。

[切] / [80%] / [90%]

ガイドフレーム：

ガイドフレームを表示するかどうかを設定する。被写体が水平/垂直になっているかを確認できる。

[切] / [入]

ヒント

- 複数のマーカーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム] の交点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

関連項目

- [マーカー表示（動画）](#)

記録中モニター消灯（動画）

動画の撮影中、何も操作せずに約1分経過したときに自動的に画面を消灯するかどうかを設定します。

1 MENU→2（撮影設定2）→記録中モニター消灯→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
自動的に画面を消灯する。

切：
画面を消灯しない。モニターを常に点灯したい場合は〔切〕に設定する。

ヒント

- 消灯中にMENUボタン、上/下/左/右ボタン、（決定）ボタンのいずれかを押すと再度モニターを点灯できます。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

録画ランプ

録画時、被写体に録画ランプの光が映りこむことを防ぐために、録画ランプを消灯させることができます。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [録画ランプ] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

全て点灯：

すべての録画ランプを点灯する。

背面のランプのみ点灯：

背面の録画ランプのみ点灯する。

全て消灯：

すべての録画ランプを点灯しない。

ヒント

- カメラの撮影方向に、ガラスなど光が反射するものがある場合は、点灯するランプの設定を変更してください。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

音声記録

動画撮影時に音声を記録するかどうかを設定します。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [音声記録] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
撮影時に音声を記録する（ステレオ）。

切：
撮影時に音声を記録しない。

ご注意

- 設定を [入] にすると、撮影中のカメラの動作音なども記録されます。

録音レベル

レベルメーターを見ながら録音レベルを調整できます。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [録音レベル] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

+側：
録音レベルが上がる。

-側：
録音レベルが下がる。

リセット：
録音レベルを初期値に戻す。

ヒント

- 大きな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を低めに設定すると臨場感のある音声記録できます。小さな音の動画を録画する場合は、[録音レベル] を高めに設定することで聞きやすい音声で記録できます。

ご注意

- [録音レベル] の設定値にかかわらず、リミッターは常に作動しています。
- [録音レベル] は撮影モードが動画のときのみ選べます。
- [録音レベル] の調整は、内蔵マイクと (マイク) 端子入力に対して有効です。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

音声レベル表示

音声レベルを画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [音声レベル表示] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
音声レベルを表示する。

切：
音声レベルを表示しない。

ご注意

- 以下の場合は音声レベルが表示されません。
 - － [音声記録] が [切] のとき
 - － 画面表示が [情報表示 なし] になっているとき
- 動画モード時のみ、記録前にも音声レベルの表示ができます。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

風音低減

内蔵マイクからの入力音声の低域音をカットして、風音を低減できます。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [風音低減] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
風音低減する。

切：
風音低減しない。

ご注意

- 風が強く吹いていない場所で [入] にすると、風以外の音も小さく記録される場合があります。
- 別売のマイク使用時は、[入] にしていても風音低減は行われません。

オートスローシャッター（動画）

動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定します。

① MENU→ 2（撮影設定2）→ オートスローシャッター→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
オートスローシャッターを使う。暗い場所での撮影時、自動的にシャッタースピードが遅くなる。シャッタースピードを遅くすることで、暗い場所を撮影する際に発生する映像のノイズ感を改善することができる。

切：
オートスローシャッターを使わない。〔入〕のときよりも画像が暗くなるが、被写体のブレが少なく、動きがよりなめらかに撮影できる。

ご注意

- 以下のときは、 オートスローシャッターは働きません。
 - －  マニュアル露出
 - － [ISO感度] が [ISO AUTO] 以外のとき

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

MOVIE(動画)ボタン

〔カスタムキー(撮影)〕で  (決定) ボタンまたは左ボタンに〔MOVIE(動画)〕を割り当てているときに、MOVIEボタンとして有効になるモードを設定します。

1 MENU →  **2** (撮影設定2) → **〔MOVIE(動画)ボタン〕** → **希望の設定を選ぶ。**

メニュー項目の詳細

常に有効：

どの状態からでも、ボタンを押すと動画撮影が開始される。

動画モードのみ有効：

動画モード時のみ、ボタンを押すと動画撮影が開始される。

関連項目

- [カスタムキー\(撮影\)](#)

ピクチャープロフィール

撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。[ピクチャープロフィール]の各項目についてさらに詳しい使いかたは、以下のURLをご覧ください。

<http://helpguide.sony.net/di/pp/v1/ja/index.html>

ピクチャープロフィールの内容を変更する

[ガンマ]や[ディテール]などを調節して好みの画質設定を作れます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→[ピクチャープロフィール]→変更したいプロフィールを選ぶ。
- 2 右ボタンを押して、項目一覧に移動する。
- 3 上/下ボタンで、変更したい項目を選ぶ。
- 4 上/下ボタンで希望の設定値を選び、（決定）ボタンを押す。

ピクチャープロフィールのプリセットを使う

本機は[PP1]～[PP7]に撮影条件に合わせた動画用設定値をあらかじめ登録しています。MENU→1（撮影設定1）→[ピクチャープロフィール]→希望の設定を選ぶ。

PP1：

[Movie] ガンマを用いた設定例

PP2：

[Still] ガンマを用いた設定例

PP3：

[ITU709] ガンマを用いた自然な色合いの設定例

PP4：

ITU709規格に忠実な色合いの設定例

PP5：

[Cine1] ガンマを用いた設定例

PP6：

[Cine2] ガンマを用いた設定例

PP7：

[S-Log2] ガンマを用いた設定例

ピクチャープロフィールの項目について

ブラックレベル

黒レベルを設定する。（-15 ～ +15）

ガンマ

ガンマカーブを選ぶ。

Movie: 動画用の標準ガンマカーブ

Still: 静止画用の標準ガンマカーブ

Cine1: 暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の階調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする（HG4609G33相当）。

Cine2: [Cine1] とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する（HG4600G30相当）。

ITU709: ITU709相当のガンマカーブ。

ITU709(800%): [S-Log2] 撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ。

S-Log2: [S-Log2] のガンマカーブ。撮影後の映像処理を前提とした設定。

ブラックガンマ

低輝度ガンマ補正をする。

範囲: 補正範囲を選ぶ。（広 / 中 / 狭）

レベル: 補正の強さを設定する。（-7（ブラックコンプレス最大）～ +7（ブラックストレッチ最大））

ニー

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白飛びを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[ガンマ] で [Still]、[Cine1]、[Cine2]、[ITU709(800%)]、[S-Log2] を選択しているときは、[モード] を [オート] にしていると [ニー] は [切] になる。[モード] を [マニュアル] にすると [ニー] の機能を使用できる。

モード: 自動/手動設定を選ぶ。

- オート: ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。
- マニュアル: ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。

オート設定: [モード] で [オート] を選択した場合の設定。

- マックスポイント: ニーポイントの最大値を設定する。（90% ～ 100%）
- 感度: 感度を設定する。（高 / 中 / 低）

マニュアル設定: [モード] で [マニュアル] を選択した場合の設定。

- ポイント: ニーポイントを設定する。（75% ～ 105%）
- スロープ: ニースロープの傾きを設定する。（-5（傾きが小さい）～ +5（傾きが大きい））

カラーモード

色の特性を変更する。

Movie: [ガンマ] が [Movie] のときに適した色合い。

Still: [ガンマ] が [Still] のときに適した色合い。

Cinema: [ガンマ] が [Cine1] または [Cine2] のときに適した色合い。

Pro: ソニーの業務用カメラの標準画質に近い色合い（ITU709ガンマと組み合わせた場合）。

ITU709マトリックス: ITU709規格に忠実な色合い（ITU709ガンマと組み合わせた場合）。

白黒: 彩度を0にし、白黒で撮影する。

S-Gamut: [ガンマ] が [S-Log2] のときに使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。

彩度

色の鮮やかさを設定する。（-32 ～ +32）

色相

色相を設定する。（-7 ～ +7）

色の深さ

色相別に輝度を変更する。濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。[カラーモード] を [白黒] にしたときにも有効です。

R（赤）: -7 ～ +7

G（緑）: -7 ～ +7

B（青）: -7 ～ +7

C（シアン）: -7 ～ +7

M（マゼンタ）: -7 ～ +7

Y（黄）: -7 ～ +7

ディテール

〔ディテール〕を設定する。

レベル: 〔ディテール〕の強さを設定する。（-7 ～ +7）

調整: 以下の設定値を手動で選ぶ。

- モード: 自動/手動設定を選ぶ。（オート（自動最適化を行う）/ マニュアル（手動詳細設定を行う））
- V/Hバランス: 垂直（V）DETAIL/水平（H）DETAILのバランスを設定する。（-2（垂直（V）が強い）～+2（水平（H）が強い））
- B/Wバランス: 下側（B）DETAIL/上側（W）DETAILのバランスを選ぶ。（タイプ1（下側（B）が強い）～タイプ5（上側（W）が強い））
- リミット: 〔ディテール〕のリミットレベルを設定する。（0（リミットレベルが低い（リミットされやすい））～7（リミットレベルが高い（リミットされにくい）））
- クリस्पニング: クリस्पニングレベルを設定する。（0（クリस्पニングレベルが浅い）～7（クリस्पニングレベルが深い））
- 高輝度ディテール: 高輝度部分の〔ディテール〕レベルを設定する。（0 ～ 4）

コピー

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

MENU→1（撮影設定1）→〔ピクチャープロファイル〕→〔コピー〕を選ぶ。

リセット

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENU→1（撮影設定1）→〔ピクチャープロファイル〕→〔リセット〕を選ぶ。

ご注意

- 動画と静止画で設定値が共通のため、撮影モードを変更した場合は設定値を調節してください。
- RAW画像を「撮影時の設定」で現像した場合、下記の設定は反映されません。
 - ブラックレベル
 - ブラックガンマ
 - ニー
 - 色の深さ
- 〔ガンマ〕を変えると、設定できるISOの範囲が変わります。
- S-Log2ガンマ使用時は他のガンマに比べてノイズが目立ちやすくなります。撮影後映像処理の後でも気になる場合は、明るめに撮影することでノイズを軽減できる場合があります。ただし、明るく撮影した場合にはその分だけダイナミックレンジは狭くなります。S-Log2を使用する場合は事前のテストで画質を確認することを強くおすすめします。
- 〔ITU709(800%)〕または〔S-Log2〕に設定すると、ホワイトバランスのカスタムセットがエラーになることがあります。このようなときは、一度〔ITU709(800%)〕または〔S-Log2〕以外のガンマでカスタムセットしてください。そのあと、〔ITU709(800%)〕または〔S-Log2〕ガンマに戻してください。
- 〔ITU709(800%)〕または〔S-Log2〕に設定すると、〔ブラックレベル〕の設定が無効になります。
- 〔マニュアル設定〕で〔スロープ〕を+5に設定すると、〔ニー〕は〔切〕になります。
- S-Gamutはフィルムカメラに匹敵する広色域を持ったソニー独自のカラースペースですが、本機のS-Gamut設定はS-Gamutの全色域に対応しているわけではなく、S-Gamut相当の色再現を実現するための設定です。

関連項目

- [ガンマ表示アシスト](#)

スーパースローモーション撮影の設定をする（ハイフレームレート設定）

ハイフレームレート撮影の設定をします。

① MENU→ 2（撮影設定2）→[**HFR** ハイフレームレート設定]→希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

HFR 記録設定：

記録する動画のフレームレートを [60p 50M]、[30p 50M]、[24p 50M] から選ぶ。

HFR フレームレート：

撮影時のフレームレートを [240fps]、[480fps]、[960fps] から選ぶ。

- この設定で、1コマあたりのシャッタースピードの下限が決まります。

HFR 優先設定：

画質を優先する [画質優先] か、撮影時間が長くなる [撮影時間優先] かを選ぶ。

HFR 録画タイミング：

SHUTTER/MOVIEボタンを押してからある一定の時間を記録するか（[スタートトリガー]）、SHUTTER/MOVIEボタンを押すまでのある一定の時間を記録するか（[エンドトリガー]）を選ぶ。

フレームレートについて

スーパースローモーション撮影では、1秒間の撮影コマ数以上のシャッタースピードで撮影します。例えば、[**HFR** フレームレート] を [960fps] に設定した場合、1秒間で960コマ撮影するため、1コマのシャッタースピードは約 1/1000秒より高速になります。このシャッタースピードを確保するために撮影時には十分な明るさが必要になります。明るさが不足する場合はISO感度が上がるため、ノイズが目立ちやすくなります。

録画のタイミングについて

[**HFR** 録画タイミング] の設定により、SHUTTER/MOVIEボタンを押すタイミングと録画される動画の時間の関係は以下ようになります。



：SHUTTER/MOVIEボタンを押すタイミング



：録画される部分



：メモリーカードに記録中（メモリーカードに記録中は、次の撮影は行えません）



：バッファリング中

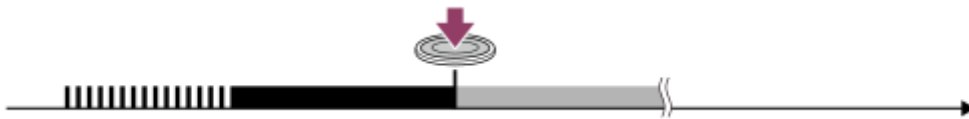
【スタートトリガー】

SHUTTER/MOVIEボタンを押したタイミングで取り込み（撮影）を開始します。SHUTTER/MOVIEボタンをもう一度押すか最大録画可能時間が経過すると、取り込みが終了しメモリーカードへの記録が開始されます。



【エンドトリガー】

撮影スタンバイ画面になった時点からバッファリング（動画を一時的にカメラ内部に撮りためておくこと）を開始します。撮影データがバッファリング容量いっぱいになると、古いデータから順に上書きされます。SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、その時点から遡って最大録画可能時間分の動画がメモリーカードに記録されます。



撮影をやり直したいときは

記録中の画面で「キャンセル」を選ぶと、記録を中止できます。ただし、中止したところまでの動画は保存されます。

再生速度について

「HFR フレームレート」と「HFR 記録設定」の設定によって、再生速度は以下のようになります。

HFR フレームレート	HFR 記録設定		
	24p 50M	30p 50M	60p 50M
240fps	10倍スロー	8倍スロー	4倍スロー
480fps	20倍スロー	16倍スロー	8倍スロー
960fps	40倍スロー	32倍スロー	16倍スロー

「HFR 優先設定」と撮影時間について

HFR 優先設定	HFR フレームレート	イメージセンサー読み出し有効画素数	撮影時間
画質優先	240fps	1676×942	約2秒
	480fps	1676×566	
	960fps	1136×384	
撮影時間優先	240fps	1676×566	約4秒
	480fps	1136×384	
	960fps	800×270	

再生時間について

例えば、「HFR 記録設定」を「24p 50M」、「HFR フレームレート」を「960fps」、「HFR 優先設定」を「撮影時間優先」に設定し、約4秒間撮影した場合、再生速度は40倍スローとなることから、再生時間は約160秒（約2分40秒）になります。

関連項目

- [スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）](#)
- [動画の記録フォーマットについて](#)
- [本機で利用できるメモリーカード](#)
- [スーパースローモーション撮影の露出モードを選ぶ（露出モード）](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

スーパースローモーション撮影の露出モードを選ぶ（露出モード）

撮りたい被写体や効果に合わせて、HFR撮影時の露出モードを選んで撮影します。

1 MENU→ **2**（撮影設定2）→ [**HFR** 露出モード] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

HFR プログラムオート/ **HFR** マニュアル露出

関連項目

- [スーパースローモーション撮影をする（ハイフレームレート）](#)
- [スーパースローモーション撮影の設定をする（ハイフレームレート設定）](#)

登録（撮影設定1/撮影設定2）

よく使うモードやカメラの設定を、本機に3つまで、メモリーカードには4つ（M1～M4）まで登録でき、[撮影モード] の[登録呼び出し] から呼び出せます。

- 1 本機を登録したい設定にする。
- 2 MENU→1（撮影設定1）→ [1/ 2の登録] →希望の番号を選ぶ。

登録できる項目

- 撮影に関する様々な機能を登録できます。登録可能な項目は、手順2で確認できます。
- マニュアルフォーカスの設定は登録できません。

登録した内容を変更するには

希望する設定に変更し、同じ番号に再登録してください。

ご注意

- M1～M4は本機にメモリーカードが挿入されている場合のみ選択できます。

関連項目

- [登録呼び出し（撮影設定1/撮影設定2）](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ファンクションメニュー設定

Fn（ファンクション）ボタンを押したときに設定できる機能を選びます。

1 MENU→ **2**（撮影設定2）→〔ファンクションメニュー設定〕→希望の場所に機能を設定する。

設定できる機能は、本機の設定項目選択画面でご確認ください。

関連項目

- [Fn（ファンクション）ボタンの使いかた](#)

カスタムキー(撮影)

あらかじめキーに機能を設定しておく、撮影画面でキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できます。

1 MENU→ 2 (撮影設定2) → [カスタムキー(撮影)] → 希望のキーに機能を設定する。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。

[カスタムキー(撮影)] で割り当てられる機能

 画質	 画像サイズ	 横縦比
撮影モード	ドライブモード	ブラケット時のセルフタイマー
 1/  2の登録	フォーカスモード	押す間AF/MFコントロール *1
再押しAF/MFコントロール	フォーカススタンダード *1 *2	フォーカスエリア
● ボタン押しロックオンAF	瞳AF *1	PF時のNEARモード
フォーカス設定	シャッタースピード	露出補正
ISO感度	ISO AUTO低速限界	測光モード
押す間AEL *1	再押しAEL	押す間スポットAEL *1
再押しスポットAEL	ホワイトバランス	DRO/オートHDR
クリエイティブスタイル	ピクチャーエフェクト	ピクチャープロファイル
ピーキングレベル	ピーキング色	顔検出
MOVIE(動画)	 フレームレート	録音レベル
音声レベル表示	 マーカー表示切換	ズーム
ゼブラ	グリッドライン	ライブビュー表示
電子音	スマートフォン転送	モニター明るさ
ガンマ表示アシスト	未設定	

*1 左ボタンには設定できません。

*2 [フォーカスモード] や [フォーカスエリア] などの設定によって、ボタンを押したときにできることが変わります。

【フォーカスモード】が【シングルAF】のとき（静止画撮影時のみ）：

【フォーカスエリア】が【フレキシブルスポット】 / 【拡張フレキシブルスポット】のときは、ボタンを押すとフォーカス枠の位置を変更できます。フォーカス枠の位置を変更しながら、静止画を撮影できます。

【フォーカスエリア】が【ワイド】または【中央】で、[● ボタン押しロックオンAF] が【入】のときにボタンを押すと、[● ボタン押しロックオンAF] が起動します。

【フォーカスモード】が【プリセットフォーカス】のとき（動画撮影時のみ）：

ボタンを押すと、【PF時のNEARモード】の【入】 / 【切】を変更できます。

【フォーカスモード】が【マニュアルフォーカス】のとき：

ボタンを押すとマニュアルフォーカス画面になります。

関連項目

- [決定ボタンの機能](#)
- [左ボタンの機能](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

決定ボタンの機能

あらかじめキーに機能を設定しておくと、撮影画面でキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できます。

1 MENU →  2 (撮影設定2) → [カスタムキー(撮影)] → [ ボタン] → 希望の機能を設定する。

設定できる機能は、本機の設定項目選択画面でご確認ください。

関連項目

- [カスタムキー\(撮影\)](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

左ボタンの機能

あらかじめキーに機能を設定しておくと、撮影画面でキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できます。

① MENU →  2（撮影設定2） → [カスタムキー(撮影)] → [左ボタン] → 希望の機能を設定する。

設定できる機能は、本機の設定項目選択画面でご確認ください。

関連項目

- [カスタムキー\(撮影\)](#)

顔検出

カメラが人物の顔を判別し、人物にあわせて、ピントや露出、画像処理の調整をします。

1 MENU→ 1 (撮影設定1) → [顔検出] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

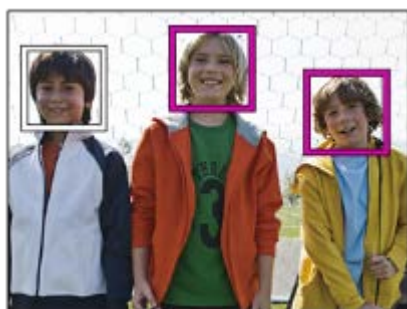
 OFF 切 :
顔検出機能を使わない。

 入(登録顔優先) :
[個人顔登録] で登録した顔を優先して顔検出を行う。

 ON 入 :
登録した顔を優先せずに顔検出を行う。

顔検出枠について

- 顔を検出すると、灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカス可能と判断されると枠が白色になり、シャッターボタンを半押しすると緑色になります。
- [個人顔登録] で優先順位を設定している場合、被写体の中で一番優先順位が高い顔が自動で選択され顔検出枠が白色になります。それ以外の登録されている顔の検出枠は赤紫色になります。



ご注意

- 以下のときは、顔検出機能は使えません。
 - － [ピクチャーエフェクト] が [ポストリゼーション]
 - － [ 記録設定] が [120p]
- 最大8人の顔を検出できます。
- 状況によっては、顔が検出できなかったり、顔以外を誤検出することがあります。

個人顔登録（新規登録）

あらかじめ顔情報を登録しておくと、[顔検出]が[入(登録顔優先)]のときに、登録された顔を優先して顔検出を行います。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→[個人顔登録]→[新規登録]を選ぶ。
- 2 登録したい顔をガイド枠内に合わせて、SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。
- 3 確認メッセージが表示されるので、[実行]を選ぶ。

ご注意

- 最大8人の顔を登録できます。
- 明るい場所で、正面を向いて撮影してください。帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れると、正しく登録できない場合があります。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

個人顔登録（優先順序変更）

複数の顔を登録したときは、登録した順で優先順位が設定されます。優先順を変更することができます。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔個人顔登録〕→〔優先順序変更〕を選ぶ。
- 2 優先度を変更したい顔を選ぶ。
- 3 移動先を選ぶ。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

個人顔登録（削除）

登録した顔を削除できます。

1 MENU→1（撮影設定1）→〔個人顔登録〕→〔削除〕を選ぶ。

〔全て削除〕を選ぶと、すべての顔をまとめて削除できます。

ご注意

- 〔削除〕を行ってもカメラ内には登録した顔のデータが残っています。カメラ内からも削除したい場合は、〔全て削除〕を行ってください。

高感度NR（静止画）

ISO感度を高感度に設定して撮影した場合のノイズ軽減処理を設定します。処理中はメッセージが表示される場合があります、その間は撮影できません。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→ 高感度NR →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

高感度ノイズリダクションの処理を標準的に行う。

弱：

高感度ノイズリダクションの処理を弱めに行う。

切：

高感度ノイズリダクションの処理を行わない。撮影タイミングを優先するときを選ぶ。

ご注意

- 以下の場合、 高感度NR は設定できません。
 - ＝ 撮影モードが「おまかせオート」、
「プレミアムおまかせオート」
-  画質 が「RAW」のときは設定できません。
-  画質 が「RAW+JPEG」のとき、RAW画像には  高感度NR は働きません。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

電子音

本機の電子音を鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [電子音] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントが合ったときなどに操作音が鳴る。

シャッター：

シャッター音のみ鳴る。

切：

操作音/シャッター音は鳴らない。

日付書き込み（静止画）

撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定します。

① MENU→2（撮影設定2）→日付書き込み→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
日付を記録する。

切：
日付を記録しない。

ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- パソコンやプリンターで印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- 時刻は記録できません。
- RAW画像には、日付書き込みできません。

色空間（静止画）

色を数値の組み合わせによって表現するための方法、あるいは表現できる色の範囲のことを色空間といいます。画像の用途によって色空間を変更できます。

1 MENU→ 1（撮影設定1）→ 色空間 →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

sRGB：

デジタルカメラの標準となっている色空間。画像調整を行わずに印刷する場合など、一般的な撮影では[sRGB]を使う。

AdobeRGB：

より広い色再現範囲を持っている色空間。鮮やかな緑色や赤色の多い被写体をプリントする場合に効果がある。撮影した画像のファイル名は、“_”（アンダーバー）で始まる。

ご注意

- [AdobeRGB] は、カラーマネジメントおよびDCF2.0オプション色空間に対応したアプリケーションソフトやプリンター用です。非対応のソフトやプリンターでは、正しい色での表示、印刷ができないことがあります。
- [AdobeRGB] で撮影した画像は、Adobe RGB非対応機器で表示すると、低彩度になります。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

グリッドライン

構図合わせのための補助線であるグリッドライン表示の設定をします。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [グリッドライン] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

3分割：

3分割の線の近くに主要な被写体を配置すると、バランスのよい構図になる。

方眼：

方眼線により構図の傾きが確認しやすく、風景写真や接写、複写などの構図決定に適している。

対角+方眼：

対角線上に被写体を配置することで、躍動感や力強さなどを表現できる。

切：

グリッドラインを表示しない。

オートレビュー

撮影直後に、撮影した画像を確認することができます。オートレビューの表示時間を設定します。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) → [オートレビュー] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

10秒/5秒/2秒：

設定した秒数だけ表示する。

オートレビュー中に  (決定) ボタンを押すと、撮影した画像を拡大再生して確認することができる。

切：

オートレビューしない。

ご注意

- 画像処理をする機能を使用している場合、画像処理をする前の画像を一時的に表示してから、画像処理が適用された画像を表示することがあります。
- オートレビューは、DISP (画面表示切換) で設定した方法で表示されます。

関連項目

- [画面表示を切り換える \(再生\)](#)
- [再生ズーム](#)

ライブビュー表示

モニターの表示に、露出補正やホワイトバランス、〔クリエイティブスタイル〕、〔ピクチャーエフェクト〕の設定値を反映させるかどうかを設定します。

1 MENU→ **2** (撮影設定2) →〔ライブビュー表示〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

設定効果反映On :

すべての設定を反映させ、撮影結果に近い状態でライブビュー表示をする。撮影結果をライブビュー画面で確認しながら撮影する場合に有効。

設定効果反映Off :

露出やホワイトバランス、〔クリエイティブスタイル〕、〔ピクチャーエフェクト〕などの設定を反映させずにライブビュー表示をする。エフェクトをかけて撮影する場合などにも、見やすい状態でライブビューが表示され、構図確認が容易になる。

〔マニュアル露出〕時のライブビュー画像も常に適正な明るさで表示される。

〔設定効果反映Off〕が選ばれているとき、ライブビュー画面上には **VIEW** アイコンが表示される。

ご注意

- 撮影モードが〔おまかせオート〕、〔プレミアムおまかせオート〕、 おまかせオート〕、 プログラムオート〕、 マニュアル露出〕、〔ハイフレームレート〕時は〔設定効果反映Off〕に設定できません。
- 〔設定効果反映Off〕設定時は、表示されるライブビューと撮影した画像の明るさなどが一致しません。

メモリーカードなしリリース

メモリーカードが入っていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定します。

1 MENU→2（撮影設定2）→[メモリーカードなしリリース]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

許可：

メモリーカードが入っていてもシャッターが切れる。

禁止：

メモリーカードが入っていないとシャッターが切れない。

ご注意

- メモリーカードを入れていない状態では、撮影した画像は保存されません。
- お買い上げ時の設定は[許可]になっていますので、実際の撮影のときは[禁止]にしておくことをおすすめします。

静止画再生

撮影した静止画を再生します。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 左/右ボタンで画像を選ぶ。

撮影に戻るには

MENU→ (再生) → [撮影/再生切換] で撮影モードに戻る。

- SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししても撮影モードに戻ります。

ヒント

- 本機はメモリーカードに管理ファイルを作成して、画像を記録し再生します。管理ファイルに未登録の画像は正しく表示されないことがあります。他機で撮影した画像を見るときは、MENU→ (セットアップ) → [管理ファイル修復] で管理ファイルに画像を登録してください。

ご注意

- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコンが表示されることがあります。書き込み中は、一部の機能を使用できません。

関連項目

- [管理ファイル修復](#)

再生ズーム

再生した画像を拡大します。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 拡大したい画像を表示して、MENU → （再生）→ [ 拡大] を選ぶ。
 - 1枚再生画面では、（決定）ボタンを押すことでも拡大できます。
- 3 上/下/左/右ボタンで表示する場所を移動する。
- 4 MENUボタンまたは （決定）ボタンを押して、拡大再生を終了する。

ヒント

- MENU → （再生）→ [ 拡大の初期位置] で、拡大初期位置を変更できます。

ご注意

- 動画は拡大できません。
- 拡大倍率は変更できません。

関連項目

- [拡大の初期位置](#)

一覧表示

再生時、複数の画像を同時に表示できます。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU→（再生）→〔一覧表示〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

9枚 / 25枚

1枚再生画面に戻すには

表示したい画像を選んでいる状態で、（決定）ボタンを押す。

希望の画像をすばやく表示するには

左側のバーを選び、上/下ボタンでページを送ることができます。バーを選んでいる状態で、（決定）ボタンを押すと、カレンダー画面、またはフォルダー選択画面が表示されます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます。

関連項目

- [ビューモード](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

画面表示を切り換える（再生）

表示される画面表示を切り換えます。

1  （再生）ボタンを押して、再生モードにする。

2 DISP（画面表示）ボタンを押す。

- DISPボタンを押す度に、「情報表示 あり→ヒストグラム→情報表示 なし→情報表示 あり」と繰り返し切り替わります。
- オートレビュー時も、再生時のDISP設定が反映されます。

ご注意

- 以下のときは、ヒストグラム表示できません。
 - 動画再生
 - スライドショー
 - フォルダービュー（MP4）
 - AVCHDビュー
 - XAVC S HDビュー

動画再生

撮影した動画を再生します。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 左/右ボタンで再生したい動画を選ぶ。
- 3  (決定) ボタンを押して再生する。

撮影に戻るには

MENU→ (再生) → [撮影/再生切換] で撮影モードに戻る。

- SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししても撮影モードに戻ります。

動画再生中にできること

下ボタンを押すと、スロー再生、音量調整などの操作を行えます。

-  : 再生
-  : 一時停止
-  : 早送り
-  : 早戻し
-  : スロー再生
-  : スロー逆再生
-  : 次の動画
-  : 前の動画
-  : コマ送り
-  : コマ戻し
-  : 音量設定
-  : 操作パネルを閉じる

ヒント

- スロー再生、スロー逆再生、コマ送り、コマ戻しは、一時停止中に選ぶことができます。

関連項目

- [ビューモード](#)

削除

不要な画像を選んで削除できます。

- 1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  (再生) → [削除] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

画像選択：

画像を何枚か選んで削除する。

- (1) 削除したい画像を選び、 (決定) ボタンを押す。チェックボックスに  マークが付く。解除したいときはもう一度  (決定) ボタンを押して  マークを消す。
- (2) ほかの画像も削除するときは、手順 (1) を繰り返す。
- (3) MENU → [確認] →  (決定) ボタンを押す。

このフォルダーの全画像：

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめて削除する。

この日付の全画像：

選択している日付内すべての画像をまとめて削除する。

ヒント

- プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータを消去するには [フォーマット] を行ってください。

ご注意

- [ビューモード] の設定によって、選べる項目が異なります。

関連項目

- [フォーマット](#)

プリント指定

どの画像をプリントするかを、あらかじめメモリーカード上に指定できます。指定した画像には**DPOF**（プリント予約）マークが表示されます。DPOFとは「Digital Print Order Format」の略です。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU→（再生）→【プリント指定】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

画像選択：

画像を何枚か選んでプリント指定する。

- （1）プリントしたい画像を選び、（決定）ボタンを押す。チェックボックスにマークが付く。解除したいときはもう一度（決定）ボタンを押してマークを消す。
- （2）他の画像もプリントするときは、手順（1）を繰り返す。
- （3）MENU→【確認】→（決定）ボタンを押す。

全画像解除：

すべてのプリント指定を解除する。

印刷設定：

プリント指定した画像に日付を入れて印刷するか設定する。

ご注意

- 以下の画像にはプリント予約指定できません。
 - 動画
 - RAW画像

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ビューモード

再生する画像の表示方法（ビューモード）を設定します。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU→（再生）→[ビューモード]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

-  **日付ビュー：**
日付ごとに表示する。
-  **フォルダービュー（静止画）：**
静止画のみを表示する。
-  **フォルダービュー（MP4）：**
MP4動画のみを表示する。
-  **AVCHDビュー：**
AVCHD動画のみを表示する。
-  **XAVC S HDビュー：**
XAVC S HD動画のみを表示する。

スライドショー

画像を自動的に連続再生します。

- 1 （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU→（再生）→[スライドショー]→希望の設定を選ぶ。
- 3 [実行]を選ぶ。

メニュー項目の詳細

リピート：

繰り返し再生する（[入]）か、すべての画像を再生したら停止する（[切]）か選ぶ。

間隔設定：

画像が切り替わる間隔を、[1秒] / [3秒] / [5秒] / [10秒] / [30秒] から選ぶ。

途中で終了するには

MENUボタンを押して終了します。一時停止はできません。

ヒント

- [スライドショー] が実行できるのは、[ビューモード] が [日付ビュー] と [フォルダービュー（静止画）] のときのみです。

回転

撮影した画像を回転して表示します。

1  (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

2 MENU→ (再生) → [回転] を選ぶ。

3 ● (決定) ボタンを押す。

画像が左に回転します。● (決定) ボタンを押すたびに、回転が繰り返されます。
回転した画像は、本機の電源を切った後も回転した状態のまま保持されます。

ご注意

- 本機で縦位置で撮影した画像も、横向きの画像として記録されます。
- 動画は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見ると、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

拡大の初期位置

画像を再生し拡大表示する（再生ズーム）ときの、拡大の初期位置を選びます。

1 MENU→（再生）→ [ 拡大の初期位置] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

ピント位置：

撮影時にピントを合わせた位置から拡大する。

画面中央：

画面の中央から拡大する。

関連項目

- [再生ズーム](#)

プロテクト

撮影した画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。プロテクトされた画像には  マークが表示されます。

- 1  （再生）ボタンを押して、再生モードにする。
- 2 MENU →  （再生） → [プロテクト] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

画像選択：

画像を何枚か選んでプロテクトする。

1. 画像を選び、  （決定）ボタンを押す。チェックボックスに  マークが付く。解除したいときはもう一度  （決定）ボタンを押して  マークを消す。
2. ほかの画像もプロテクトするときは、手順1を繰り返す。
3. MENU → [確認] →  （決定）ボタンを押す。

このフォルダーの全画像：

選択しているフォルダー内すべての画像をまとめてプロテクトする。

この日付の全画像：

選択している日付内すべての画像をまとめてプロテクトする。

このフォルダーを全て解除：

選択しているフォルダー内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

この日付を全て解除：

選択している日付内すべての画像のプロテクトをまとめて解除する。

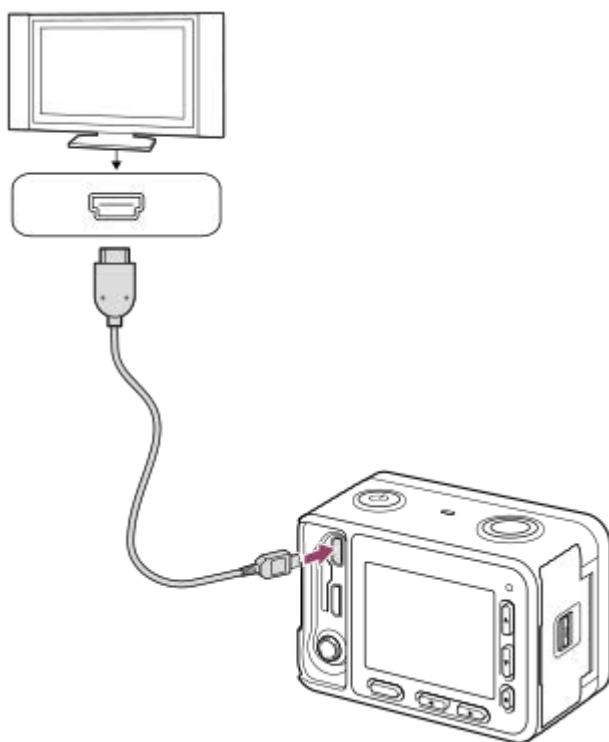
ご注意

- [ビューモード] の設定によって、選べる項目が異なります。

4K静止画再生

HDMI接続した4K対応テレビに4K解像度で静止画を出力します。

- 1 本機とテレビの電源を切る。
- 2 本機のHDMIマイクロ端子とテレビのHDMI端子をHDMIケーブル（別売）で接続する。



- 3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。
- 4 本機の電源を入れる。
- 5 MENU → （再生）→ [4K静止画再生] → [確認] を選ぶ。

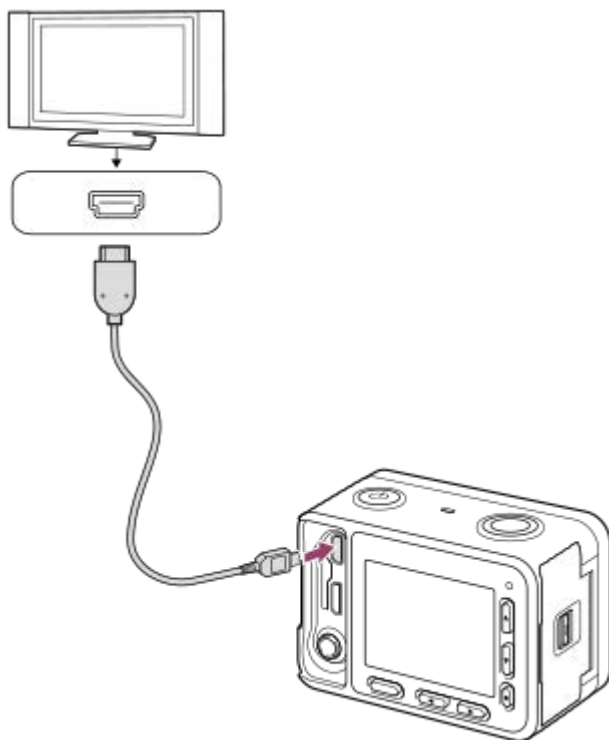
ご注意

- 4K対応テレビのみで使用できます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン画質（HD）のテレビで見る

本機の画像をテレビで見るには、HDMIケーブル（別売）とHDMI端子のあるハイビジョンテレビが必要です。

- 1 本機とテレビの電源を切る。
- 2 本機のHDMIマイクロ端子とテレビのHDMI端子をHDMIケーブル（別売）で接続する。



- 3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。
- 4 本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示されます。

ヒント

- 本機はブラビア プレミアムフォトに対応しています。ブラビア プレミアムフォトに対応したソニー製テレビにHDMIケーブル（別売）で接続すると、写真を今までになかった感動の高画質で快適にお楽しみいただけます。
- ブラビア プレミアムフォト対応のUSB端子つきソニー製テレビでは、付属のマイクロUSBケーブルでも接続できます。
- ブラビア プレミアムフォトとは、写真らしい高精細で微妙な質感や色合いの表現を可能にする機能です。
- 詳しくは、対応テレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

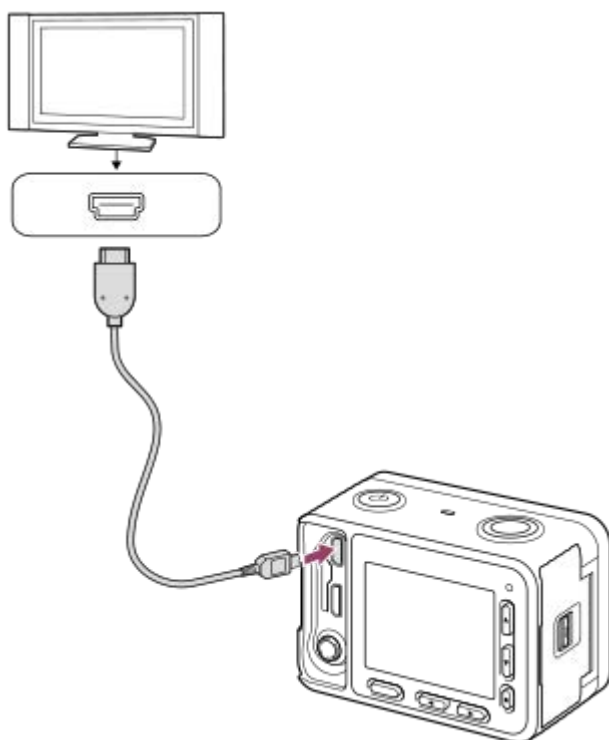
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 本機側はHDMIマイクロ端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- [ TC出力] が [入] のときに、テレビや録画機器に正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、[ TC出力] を [切] にしてください。
- テレビに正しく画面が表示されない場合は、 (セットアップ) の [HDMI設定] → [HDMI解像度] を接続するテレビに合わせて、[1080p] または [1080i] にしてください。

ブラビアリンク対応のテレビで見る

ブラビアリンク（リンクメニュー対応）のテレビをご利用の場合、HDMIケーブル（別売）で接続すると、テレビに付属のリモコンで再生操作ができます。

- 1 本機とテレビの電源を切る。
- 2 本機のHDMIマイクロ端子とテレビのHDMI端子をHDMIケーブル（別売）で接続する。



- 3 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。
- 4 本機の電源を入れる。
- 5 MENU→ （セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI機器制御] → [入] を選ぶ。
- 6 テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押し、好みのモードを選ぶ。

ご注意

- 本機が再生モードになっていない場合は、（再生）ボタンを押してください。
- 2008年以降に発売されたブラビアリンク対応テレビで使用できます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 他社のテレビとHDMI接続する際、テレビのリモコン操作でカメラが不要な動きをする場合は、MENU→ （セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI機器制御] を [切] にしてください。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

モニター明るさ

モニターの明るさを調整します。

- ① MENU**→  (セットアップ) → **［モニター明るさ］** → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マニュアル：

−2 〜 +2の範囲で明るさを選ぶ。

屋外晴天：

屋外の使用に適した明るさに設定する。

ご注意

- 室内で「屋外晴天」にすると明るすぎるため、室内での使用時は「マニュアル」に設定してください。
- 下記の場合は、モニターの明るさは調整できません。最大で「±0」の明るさとなります。
 - －  HDMI 4K映像出力 が「切」以外のとき
- Wi-Fi機能使用時はモニターの明るさは「−2」に固定されます。

ガンマ表示アシスト

S-Logを適用した動画は、広いダイナミックレンジを活用するために、撮影後の編集を前提としています。このため、撮影時の画像は低コントラストとなりモニタリングがしにくくなりますが、[ガンマ表示アシスト]機能を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストを再現することができます。また再生時にも、[ガンマ表示アシスト]を適用した動画をモニターで見ることができます。

① MENU→ (セットアップ) → [ガンマ表示アシスト] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Assist  OFF 切 :

[ガンマ表示アシスト] を適用しない。

Assist  AUTO オート :

[ピクチャープロファイル] で設定されたガンマが [S-Log2] の場合は [S-Log2→709(800%)] に変換して表示し、[S-Log2] 以外の場合は [ガンマ表示アシスト] を適用しない。

Assist  S-Log2 S-Log2→709(800%) :

S-Log2をITU709 (800%) 相当に変換して表示する。

ご注意

- 再生時に [オート] を選択している場合も、再生する動画のガンマ値を自動判別するのではなく、[ピクチャープロファイル] で現在設定しているガンマ設定によって画像が表示されます。
- 本機に接続されたテレビやモニターでは、[ガンマ表示アシスト] は適用されません。

関連項目

- [ピクチャープロファイル](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

音量設定

動画再生時の音量を設定します。

① MENU→（セットアップ）→【音量設定】→希望の設定を選ぶ。

再生中に音量を変えるには

動画再生中に、下ボタンを押して、操作パネルから音量設定できます。実際に音量を聞きながら調整できます。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

タイルメニュー

MENUボタンを押したときに、タイルメニューを表示するかを設定します。

1 MENU→（セットアップ）→[タイルメニュー]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
タイルメニュー表示を有効にする。

切：
タイルメニュー表示を無効にする。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

パワーセーブ開始時間

自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

1 MENU→ (セットアップ) → [パワーセーブ開始時間] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

30分/5分/2分/1分

ご注意

- USB給電時、スライドショー中、動画撮影中、パソコンやテレビと接続しているときなどは、パワーセーブ機能は働きません。

自動電源OFF温度

撮影時に本機の電源が自動で切れる温度を設定します。

〔高〕に設定すると、本機の温度が高くなっても撮影することができます。

1 MENU→ (セットアップ) →〔自動電源OFF温度〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準：

本機の電源が切れる温度を標準に設定する。

高：

本機の電源が切れる温度を標準より高めに設定する。

〔自動電源OFF温度〕が〔高〕のときのご注意

- 手持ちで撮影せずに三脚などをご使用ください。
- 手持ちで長時間ご使用になると低温やけどの原因となる可能性があります。

〔自動電源OFF温度〕が〔高〕のときの連続動画撮影時間

しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

環境温度	連続動画撮影時間
20℃	約60分
30℃	約60分
40℃	約25分

XAVC S HD (60p 50M) 時

ご注意

- 〔自動電源OFF温度〕を〔高〕にしても、環境やカメラの温度によっては撮影可能時間が変わらないことがあります。

関連項目

- [動画の記録可能時間](#)

上下反転

画像の上下を反転して記録します。本機を上下逆さに取り付けたときに便利です。

1 MENU→ (セットアップ) → [上下反転] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

画像を上下反転して記録する。記録される音声も左右反転する。

切：

画像を上下反転しない。通常通りに画像と音声を記録する。

ご注意

- [上下反転] を [入] にすると、本機の上/下ボタン、左/右ボタンの役割が逆転します。
例：通常は上ボタンにDISP（画面表示切換）機能が割り当てられていますが、[上下反転] を [入] にすると、下ボタンにDISP機能が移動します。
- 外部マイクで記録される音声も左右反転します。

関連項目

- [上下左右ボタン/決定ボタンの使いかた](#)

デモモード

本機の「デモモード」とは、一定時間以上の操作をしないと、自動的にメモリーカード内に記録されている動画のスライドショー（デモンストレーション）が始まる機能です。通常は、[切] に設定します。

1 MENU→（セットアップ）→[デモモード]→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
約1分間操作をしないと、自動的に動画でデモンストレーションが始まる。対象はプロテクトがかかっているAVCHD動画のみ。

[AVCHDビュー] で撮影日時が一番古い動画にプロテクトをかけてください。

切：
デモンストレーションを表示しない。

ご注意

- 付属のACアダプターで接続しているときのみ、設定できます。
- メモリーカード内にプロテクトがかけられたAVCHD動画がないときは、[入] にしていてもデモンストレーションは始まりません。

TC/UB設定

本機には、映像に付随するデータとしてタイムコード（TC）とユーザービット（UB）を記録できます。

- ① MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → 変更したい設定値を選ぶ。

メニュー項目の詳細

TC Preset :

タイムコードを設定する。

TC Reset :

タイムコードをリセットする。

UB Preset :

ユーザービットを設定する。

UB Reset :

ユーザービットをリセットする。

TC Format :

タイムコードの記録方式を選ぶ。

TC Run :

タイムコードの歩進方法を選ぶ。

TC Make :

タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶ。

UB Time Rec :

時刻をユーザービットコードとして記録する/しないを選ぶ。

タイムコードを設定するには（TC Preset）

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [TC Preset] を選び、（決定）ボタンを押す。
2. 上/下ボタンで最初の2桁の数値を選ぶ。
 - タイムコードは以下の範囲で設定できます。
[60i] 選択時 : 00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
 - *24p設定時は末尾2桁を0 ~ 23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。

3. 手順2と同様に、他の桁の数値を選び、（決定）ボタンを押す。

タイムコードをリセットするには

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [TC Reset] を選び、（決定）ボタンを押す。
- 別売のリモコン（RMT-VP1K）でも、タイムコードリセット(00:00:00:00)を行うことができます。

ユーザービットを設定するには（UB Preset）

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [UB Preset] を選び、（決定）ボタンを押す。
2. 上/下ボタンで最初の2桁の数値を選ぶ。
3. 手順2と同様に、他の桁の数値を選び、（決定）ボタンを押す。

ユーザービットをリセットするには

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [UB Reset] を選び、（決定）ボタンを押す。

タイムコードの記録方式を選ぶには（TC Format）

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [TC Format] を選び、●（決定）ボタンを押す。

DF：

タイムコードをドロップフレーム*方式で記録する。

NDF：

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

* タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

- 1080/24pで記録するとき、または [ HDMI 4K映像出力] が [24p] のときは、[NDF] に固定されます。

タイムコードの歩進を選ぶには（TC Run）

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [TC Run] を選び、●（決定）ボタンを押す。

Rec Run：

記録中のみタイムコードが歩進する。最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

Free Run：

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

- [Rec Run] モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - － 記録方式を切り換えたとき
 - － 記録メディアを取りはずしたとき

タイムコードを記録メディアに記録する方法を選ぶには（TC Make）

1. MENU→（セットアップ）→ [TC/UB設定] → [TC Make] を選び、●（決定）ボタンを押す。

Preset：

新たに設定したタイムコードを記録メディアに記録する。

Regenerate：

記録メディアに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。[TC Run] の設定に関係なく、タイムコードは [Rec Run] モードで歩進する。

ご注意

- 本機のモニターにはタイムコード/ユーザービットは表示されません。外部録画再生機器で確認してください。

HDMI設定 : HDMI解像度

本機とHDMI端子のあるハイビジョンテレビをHDMIケーブル（別売）で接続して見る場合に、HDMI端子からテレビに出力する解像度を選びます。

1 MENU→（セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI解像度] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート :

本機がハイビジョンテレビを自動認識し、出力する解像度を決定する。

1080p :

HD画質（1080p）で出力する。

1080i :

HD画質（1080i）で出力する。

ご注意

- [オート] で正しく画面が表示されない場合は、接続するテレビに合わせて、[1080i] または [1080p] を選んでください。

HDMI設定 : 24p/60p出力切換（動画）

〔 記録設定〕で〔24p 24M(FX)〕、〔24p 17M(FH)〕、〔24p 50M〕を選んでいるとき、または、〔 HFR〕ハイフレームレート設定〕の〔 HFR 記録設定〕で〔24p 50M〕を選んでいるときに、HDMIで1080/24p、1080/60pのどちらで出力するかを設定します。

- 1 MENU→（セットアップ）→〔HDMI設定〕→〔HDMI解像度〕→〔1080p〕を選ぶ。
- 2 MENU→（セットアップ）→〔HDMI設定〕→〔 24p/60p出力切換〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

60p :

60pで出力する。

24p :

24pで出力する。

ご注意

- 手順1、2は順不同で設定可能です。
- 〔 記録設定〕が、〔24p 24M(FX)〕、〔24p 17M(FH)〕または〔24p 50M〕以外のときは本設定は無効となり、〔HDMI解像度〕に従い出力します。

関連項目

- [記録設定（動画）](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

HDMI設定 : HDMI情報表示

HDMIケーブル（別売）で本機とテレビを接続したとき、画像情報をテレビに表示するかどうかを切り換えます。

① MENU→（セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI情報表示] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

あり：

テレビに画像情報が表示される。

テレビにはカメラ映像および画像情報が表示されるが、本体のモニターには何も表示されない。

なし：

テレビに画像情報が表示されない。

テレビにはカメラ映像のみ表示され、本体のモニターにはカメラ映像および画像情報が表示される。

HDMI設定 : TC出力（動画）

HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定します。
タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せます。画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先の機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができます。

1 MENU→（セットアップ）→ [HDMI設定] → [ TC出力] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：
タイムコード情報を他の機器に出力する。

切：
タイムコード情報を他の機器に出力しない。

ご注意

- [ TC出力] が [入] のときに、テレビや録画機器に正常に映像が出力されない場合があります。その場合は、 [ TC出力] を [切] にしてご使用ください。

HDMI設定：レックコントロール（動画）

本機と外部録画再生機器をつなぐと、本機の操作で外部録画再生機器へ録画の開始/停止を行えます。

① MENU→（セットアップ）→ [HDMI設定] → [レックコントロール] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

 STBY 外部録画再生機器へ記録指示を出せる状態

 REC 外部録画再生機器へ記録指示を出している状態

切：

本機の操作で外部録画再生機器の録画開始/停止を行わない。

ご注意

- [レックコントロール] 機能に対応している外部録画再生機器で使用できます。
- [TC出力] が [切] のときは、 [レックコントロール] は [切] になります。
-  REC が表示されている場合でも、外部録画再生機器側の設定・状態により、外部録画再生機器が正しく動作しない場合がありますので、事前に動作確認をしてご使用ください。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

HDMI設定 : HDMI機器制御

HDMIケーブル（別売）を使ってブラビアリンク対応テレビをつないだ場合に、テレビのリモコンをテレビに向けて、本機を操作できます。

1 MENU→（セットアップ）→ [HDMI設定] → [HDMI機器制御] → 希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

テレビのリモコンで操作する。

切：

テレビのリモコンで操作しない。

ご注意

- 2008年以降に発売されたブラビアリンク対応テレビで使用できます。

HDMI 4K映像出力（動画）

4K対応のレコーダーなどと接続するときのHDMI出力を設定します。

- 1 MENU→1（撮影設定1）→〔撮影モード〕→希望の動画モードを選ぶ。
- 2 本機と接続したい機器をHDMIケーブル（別売）で接続する。
- 3 MENU→（セットアップ）→〔 HDMI 4K映像出力〕→希望の設定を選ぶ。
- 4 本機から出力された映像を外部録画再生機器で撮影する。

メニュー項目の詳細

切：
4K映像を出力しない。

30p：
4K映像を30pで出力する。

24p：
4K映像を24pで出力する。

ご注意

- 4K映像を本機のメモリーカードに記録することはできません。
- 4K映像を出力しているときは、本機のモニターにライブビュー映像は表示されず、アイコンのみ表示されます。
- 4K対応機器に接続中のみメニューが有効となります。
- 動画撮影モードのときのみ使えます。

関連項目

- [HDMI設定：レックコントロール（動画）](#)

USB接続

USB接続の方法を接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定します。

1 MENU→ (セットアップ) → [USB接続] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

オート：

接続するパソコンやその他USB機器に応じて、マストレージとMTPを自動で切り換える。Windows 7、Windows 8.1またはWindows 10の場合にはMTPで接続され、特有の機能が使用できる。

マストレージ：

本機とパソコン、その他USB機器と接続するときに使う。

MTP：

本機とパソコン、その他USB機器をMTP接続する。Windows 7、Windows 8.1またはWindows 10の場合はMTP接続され、特有の機能が使用できる。

PCリモート：

「Imaging Edge」を使って、パソコンから撮影したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする。

ご注意

- [USB接続] を [オート] に設定しているときは、接続に時間がかかる場合があります。

関連項目

- [PCリモート設定：静止画の保存先](#)
- [PCリモート設定：RAW+J時のPC保存画像](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

USB LUN設定

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

① MENU→ (セッティング) → **[USB LUN設定]** →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

マルチ：

通常は「マルチ」のまま使う。

シングル：

どうしても接続できない場合のみ、「シングル」にする。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

USB給電

本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定します。

1 MENU→ (セットアップ) → [USB給電] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

入：

マイクロUSB ケーブルでパソコンなどと接続したときに給電する。

切：

マイクロUSBケーブルでパソコンなどと接続したときに給電しない。付属のACアダプターをお使いの場合、[切] にしていても給電されます。

PCリモート設定：静止画の保存先

PCリモート撮影中にカメラ本体側にも静止画を保存するかどうか設定します。カメラから離れることなく、カメラ本体で画像を確認したい場合に便利です。

* PCリモートとは：「Imaging Edge」を使って、パソコンから撮影指示を出したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする機能。

1 MENU→（セットアップ）→【PCリモート設定】→【静止画の保存先】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

PCのみ：

パソコンのみに静止画を保存する。

PC+カメラ本体：

パソコンとカメラの両方に静止画を保存する。

ご注意

- PCリモート撮影中は、【静止画の保存先】の設定値変更はできません。撮影開始前に設定を行ってください。
- 記録できないメモリーカードをカメラに挿入しているときは、【PC+カメラ本体】を選んでも静止画を撮影できません。
- 【PC+カメラ本体】選択時、カメラにメモリーカードが挿入されていない場合は、【メモリーカードなしリリース】が【許可】になっていてもシャッターは切れません。
- カメラ側で静止画を再生している間は、PCリモートによる撮影はできません。

関連項目

- [USB接続](#)
- [メモリーカードなしリリース](#)
- [PCリモート設定：RAW+J時のPC保存画像](#)

PCリモート設定 : RAW+J時のPC保存画像

PCリモート撮影中に、パソコンに転送する画像ファイルを設定します。

PCリモートで静止画を撮影したとき、パソコン側のアプリケーションは、撮影した画像の転送が終了するまで画像を表示しません。RAW+JPEG撮影を行うとき、RAWとJPEG両方をパソコンへ転送するのではなく、JPEGのみを転送することでパソコン側での表示スピードを上げることができます。

* PCリモートとは : 「Imaging Edge」を使って、パソコンから撮影指示を出したり、撮影した画像をパソコン内に保存したりする機能。

1 MENU→ (セットアップ) → [PCリモート設定] → [RAW+J時のPC保存画像] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

RAW+JPEG :

RAWとJPEGをパソコンに転送する。

JPEGのみ :

JPEGのみパソコンに転送する。

RAWのみ :

RAWのみパソコンに転送する。

ご注意

- [RAW+J時のPC保存画像] は [ 画質] の設定が [RAW+JPEG] のときのみ設定できます。

関連項目

- [USB接続](#)
- [画質 \(静止画\)](#)
- [PCリモート設定 : 静止画の保存先](#)

日時設定

日時を再設定します。

1 MENU→ (セッティング) → [日時設定] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

サマータイム：

サマータイムの [入] / [切] を選ぶ。日本国内で使用するときは、[切] を選ぶ。

日時：

日時を設定する。

表示形式：

日付表示順を選ぶ。

ヒント

- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時刻より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機でサマータイムを [入] にすると、時計が1時間進みます。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

エリア設定

本機を使用するエリアを設定します。

- 1 MENU→ (セットアップ) → [エリア設定] →希望のエリアを選ぶ。

著作権情報

静止画を撮影したとき、ファイルに著作権情報を書き込むことができます。

- 1 MENU→（セットアップ）→〔著作権情報〕→希望の設定項目を選ぶ。
- 2 〔撮影者名設定〕、〔著作権者名設定〕を選ぶと、画面にキーボードが表示されるので、希望の名前を入力する。

メニュー項目の詳細

著作権情報書き込み：

静止画に著作権情報を書き込むかどうか設定する。（〔入〕 / 〔切〕）

- 〔入〕を選ぶと、撮影画面に  が表示されます。

撮影者名設定：

撮影者名を設定する。

著作権者名設定：

著作権者名を設定する。

著作権情報表示：

現在設定されている著作権情報を表示する。

キーボードの使いかた

手動で文字入力が必要な場合は、キーボード画面が表示されます。



1. 入力ボックス

入力した文字が表示されます。

2. 文字種切り換え

- （決定）ボタンを押すたびに、アルファベット/数字/記号に切り換えられます。

3. キーボード

- （決定）ボタンを押すたびに、表示されている文字が順番に表示されます。

例：「abd」と入力したい場合

「abc」のキーを選び、●（決定）ボタンを1回押して「a」を表示→カーソル移動（5）の「」を選び、●（決定）ボタンを押す→「abc」のキーを選び、●（決定）ボタンを2回押して「b」を表示→「def」のキーを選び、●（決定）ボタンを1回押して「d」を表示

4. 確定

入力内容を確定します。

5. カーソル移動

入力ボックス内のカーソルを左右に移動します。

6. 削除

カーソルの直前の文字を削除します。

7.

アルファベットの大文字/小文字を切り換えます。

8.

空白をあけます。

- 途中で入力をやめる場合は、[キャンセル] を選択してください。

ご注意

- [撮影者名設定]、[著作権者名設定] に入力できるのは、アルファベット、数字、記号のみです。最大46文字入力できます。
- 再生時、著作権情報が書き込まれた画像は、画面に  アイコンが表示されます。
- [著作権情報] の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときは、[撮影者名設定] と [著作権者名設定] 欄は必ず空欄にしてください。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

1 MENU→（セットアップ）→【フォーマット】を選ぶ。

ご注意

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報（M1～M4）も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ファイル番号

静止画と動画（MP4）のファイル番号の付けかたを設定します。

1 MENU→（セットアップ）→【ファイル番号】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

連番：

ファイル番号をリセットせず、9000まで続けてファイル番号を付ける。

リセット：

フォルダーごとにファイル番号を0001から付ける。

（記録フォルダー内にファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。）

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ファイル名設定

撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更します。

- 1 MENU→（セットアップ）→【ファイル名設定】を選ぶ。
- 2 ファイル名の入力欄を選ぶと、画面にキーボードが表示されるので、希望の3文字を入力する。

ご注意

- 入力できるのは、大文字のアルファベット、数字、アンダーバーのみです。ただし、1文字目にアンダーバーは使用できません。
- 【ファイル名設定】で設定したファイル名3文字は、設定後に撮影した画像にのみ適用されます。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

記録フォルダー選択

メモリーカードの中の、静止画と動画（MP4）を記録するフォルダーを変更します。

- 1 MENU→（セットアップ）→〔記録フォルダー選択〕→希望のフォルダーを選ぶ。

ご注意

- 〔フォルダー形式〕が〔日付形式〕に設定されているときは、記録フォルダーの選択はできません。

フォルダー新規作成

メモリーカードの中に、静止画と動画（MP4）を記録するための新しいフォルダーを作成します。既存番号+1のフォルダーが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダーに記録されます。静止画用のフォルダーとMP4動画用のフォルダーが同時に作成されます。

1 MENU→（セットアップ）→【フォルダー新規作成】を選ぶ。

ご注意

- 他機で使用していたメモリーカードを本機に入れて撮影すると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。
- 1つのフォルダー番号に記録できる画像は最大3000枚です。容量を超えると、自動的に新しいフォルダーが作成される場合があります。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

フォルダー形式

撮影した静止画は、メモリーカードの中のDCIMフォルダーの下に自動生成されたフォルダーに保存されます。そのフォルダー名の付けかたを変更します。

1 MENU→ (セットアップ) → [フォルダー形式] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

標準形式：

フォルダー名が、フォルダー番号+MSDCFになる。

例：100MSDCF

日付形式：

フォルダー名が、フォルダー番号+年月日（西暦下1桁月日4桁）になる。

例：10070405（100フォルダー、2017年4月5日）

ご注意

- 動画のフォルダー形式は変更できません。

管理ファイル修復

パソコンでファイルを操作したなどの原因で、画像を管理しているファイルに何らかの異常が発生すると、メモリーカード内の画像が再生できなくなります。そのような場合に管理ファイルの修復を行います。

1 MENU→（セットアップ）→〔管理ファイル修復〕→〔実行〕を選ぶ。

ご注意

- 十分に充電したバッテリーをお使いください。残量の少ないバッテリーを使用して行くと、データを破損するおそれがあります。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

メディア残量表示

現在撮影できる動画の撮影可能時間を表示します。静止画の枚数も表示されます。

1 MENU→（セットアップ）→【メディア残量表示】を選ぶ。

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

バージョン表示

本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

- 1 MENU →  (セットアップ) → [バージョン表示] を選ぶ。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

認証マーク表示

本機が対応している認証表示の一部を確認できます。

- 1 MENU→（セットアップ）→【認証マーク表示】を選ぶ。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。〔設定リセット〕を実行しても、画像は削除されません。

1 MENU→（セットアップ）→〔設定リセット〕→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

撮影設定リセット：

主な撮影モードの設定のみを初期値に戻す。

初期化：

カメラのすべての設定を初期化する。

ご注意

- 設定リセット中はバッテリーを抜かないでください。

PlayMemories Mobileについて

スマートフォン用アプリケーションPlayMemories Mobileを使って、スマートフォンから本機を操作して画像を撮影したり、本機で撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。PlayMemories Mobileは、お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

PlayMemories Mobileの詳細は、PlayMemories Mobileのサポートページ（<http://www.sony.net/pmm/>）をご覧ください。

ご注意

- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（Android）

スマートフォンとカメラをWi-Fiで接続して、構図やカメラの設定をスマートフォンの画面で確認しながら撮影できます。



- 1 お使いのスマートフォンに、PlayMemories Mobileをインストールする。
 - インストール済みの場合は、最新版にアップデートします。
- 2 MENU→（ネットワーク）→［スマートフォン操作設定］を選び、以下のように設定する。
 - ［スマートフォン操作］：［入］
 - [ 接続方式］：［シングル］
- 3 ［スマートフォン操作設定］の[ 接続情報］を選ぶ。
シングル接続専用のQRコードとSSIDが表示される。
- 4 スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動して、［カメラのQRコード読み取り］を選ぶ。



- 5 スマートフォンの画面で［OK］を選ぶ。
 - メッセージが表示されたら、再度［OK］を選んでください。



6 カメラに表示されたQRコードをスマートフォンで読み取る。

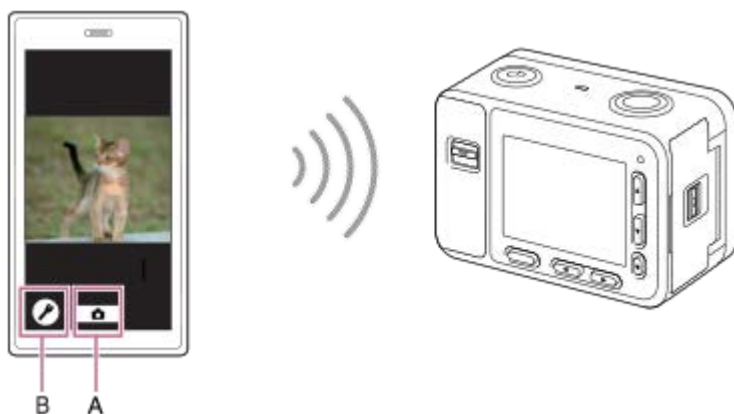
QRコードが読み取られると、スマートフォンの画面に「カメラと接続しますか?」と表示される。

7 スマートフォンの画面で「OK」を選ぶ。

スマートフォンが本機に接続される。

8 スマートフォンの画面で構図を確認して、スマートフォンのシャッターボタン（A）を押して撮影する。

- 「セルフタイマー」やスマートフォンへの画像保存の設定ができます（B）。



QRコードで接続できない場合

SSIDとパスワードを使ってAndroidスマートフォンと本機を接続します。

1. 上記の手順1～3のあと、本機の上ボタンを押す。
本機の画面に本機のSSIDとパスワードが表示される。
2. スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動する。
3. 本機（DIRECT-xxxx : xxxx）を選ぶ。



4. 本機に表示されているパスワードを入力する。



スマートフォンが本機に接続される。

ヒント

- QRコードを読み込むと、本機のSSID（DIRECT-xxxx）とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけで本機とスマートフォンを接続できるようになります。

ご注意

- 本機は［スマートフォン操作］の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU→（ネットワーク）→［Wi-Fi設定］→［SSID・PWリセット］で接続情報をリセットしてください。リセット後は、スマートフォンの再設定が必要です。
- 本機で［SSID・PWリセット］や［機器名称変更］を行った後は、以前読み取ったQRコードの情報ではWi-Fi接続ができなくなります。このときは、 接続情報で新しいQRコードを表示させてから再度読み取ってください。
- 〔飛行機モード〕が〔入〕のときは接続できません。〔飛行機モード〕を〔切〕にしてください。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（iPhone/iPad）

iPhoneまたはiPadとカメラをWi-Fiで接続して、構図やカメラの設定をiPhoneまたはiPadの画面で確認しながら撮影できます。



- 1 お使いのiPhoneまたはiPadに、PlayMemories Mobileをインストールする。
 - インストール済みの場合は、最新版にアップデートします。
- 2 MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]を選び、以下のように設定する。
 - [スマートフォン操作]：[入]
 - [ 接続方式]：[シングル]
- 3 [スマートフォン操作設定]の[ 接続情報]を選ぶ。
シングル接続専用のQRコードとSSIDが表示される。
- 4 iPhoneまたはiPadでPlayMemories Mobileを起動して、[カメラのQRコード読み取り]を選ぶ。



- 5 iPhoneまたはiPadの画面で[OK]を選ぶ。
 - メッセージが表示されたら、再度[OK]を選んでください。



6 カメラに表示されたQRコードをiPhoneまたはiPadで読み取る。

7 iPhoneまたはiPadの画面の指示に従ってプロファイル（設定情報）をインストールし、[OK]を選ぶ。

プロファイルがiPhoneまたはiPadにインストールされる。

- iPhone/iPadにパスコードロックを設定している場合、パスコードの入力が必要になります。ご自身で設定したiPhone/iPadのパスコードを入力してください。



8 カメラに表示されたSSIDを確認する。

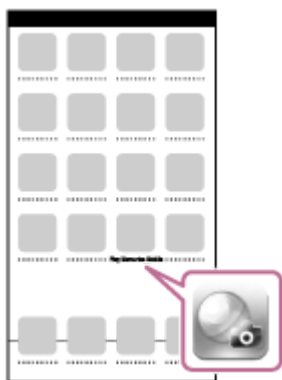
9 iPhoneまたはiPadで、ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]→手順8のSSIDを選ぶ。

iPhoneまたはiPadが本機に接続される。



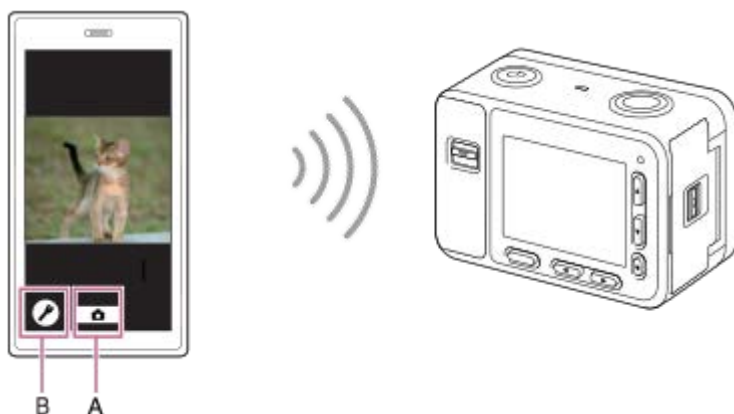
10 カメラを撮影画面にする。

11 iPhoneまたはiPadのホーム画面に戻ってPlayMemories Mobileを起動する。



12 iPhoneまたはiPadの画面で構図を確認して、iPhoneまたはiPadのシャッターボタン（A）を押して撮影する。

- 「セルフタイマー」やiPhoneまたはiPadへの画像保存の設定ができます（B）。



QRコードで接続できない場合

SSIDとパスワードを使ってiPhoneまたはiPadと本機を接続します。

1. 上記の手順1～3のあと、本機の上ボタンを押す。
本機の画面に本機のSSIDとパスワードが表示される。
2. iPhoneまたはiPadのWi-Fi設定画面で本機（DIRECT-xxxx:xxxx）を選ぶ。



3. 本機に表示されているパスワードを入力する。

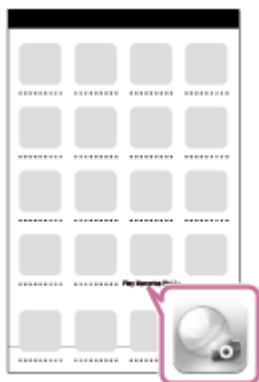


iPhoneまたはiPadが本機に接続される。

4. 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。



5. カメラを撮影画面にする。
6. iPhoneまたはiPadのホーム画面に戻ってPlayMemories Mobileを起動する。



ヒント

- QRコードを読み込むと、本機のSSID（DIRECT-xxxx）とパスワードがiPhoneまたはiPadに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけで本機とiPhoneまたはiPadを接続できるようになります。

ご注意

- 本機は［スマートフォン操作］の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU→（ネットワーク）→［Wi-Fi設定］→［SSID・PWリセット］で接続情報をリセットしてください。リセット後は、iPhoneまたはiPadの再設定が必要です。
- 本機で［SSID・PWリセット］や［機器名称変更］を行った後は、以前読み取ったQRコードの情報ではWi-Fi接続ができなくなります。このときは、接続情報で新しいQRコードを表示させてから再度読み取ってください。
- 〔飛行機モード〕が〔入〕のときは接続できません。〔飛行機モード〕を〔切〕にしてください。
- 電波環境やiPhoneまたはiPadの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

関連項目

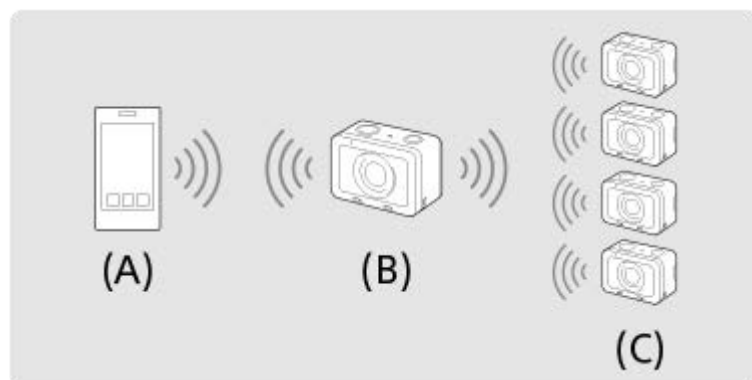
- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）

PlayMemories Mobileを使って、スマートフォンから複数のカメラを操作することができます。最大で5台のカメラを同時に操作できます。

マルチ接続では、1台のカメラを「グループオーナー」に設定してスマートフォンにWi-Fiで接続します。そのほかのカメラは「クライアント」としてグループオーナーにWi-Fiで接続します。クライアントは、グループオーナーを通してスマートフォンと通信します。



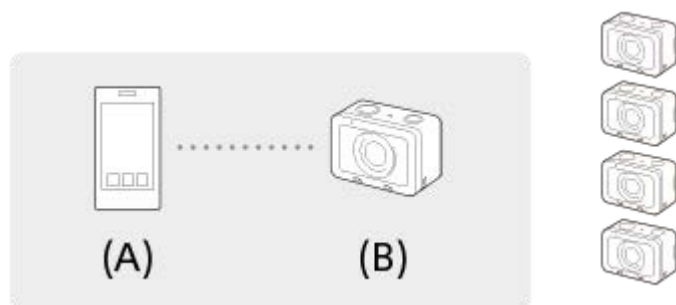
- (A) : スマートフォン
(B) : グループオーナー
(C) : クライアント

- グループオーナーまたはクライアントとして接続できるカメラは、「DSC-RX0」のみです。

1 グループオーナーとして接続するカメラで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作] : [入]
- [接続方式] : [マルチ(グループオーナー)]

2 スマートフォンとグループオーナーを接続する。



- (A) : スマートフォン
(B) : グループオーナー

以下の手順でスマートフォンに接続してください。

1. **グループオーナーで、[スマートフォン操作設定]の[接続情報]を選ぶ。**
マルチ接続専用のQRコードとSSIDが表示される。
2. **スマートフォンにインストールしたPlayMemories Mobileで、グループオーナーに表示されたQRコードを読み取る。**
シングル接続時と同様の方法でQRコードを読み取ってください。

- カメラがグループオーナーとしてスマートフォンに接続されると、グループオーナーの撮影画面に  が白で表示されます。

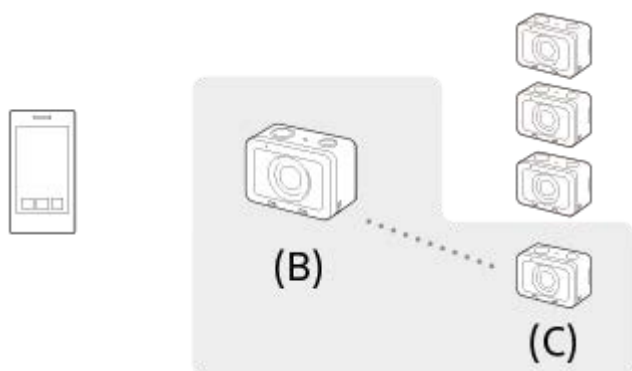
3 クライアントとして接続するカメラで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作] : [入]
- [ 接続方式] : [マルチ(クライアント)]

一度クライアントとして接続されたことがある場合は、前回接続したグループオーナーに自動的に接続されます。初めてクライアントとして接続する場合や前回接続したグループオーナーと接続できない場合は、アクセスポイントの設定が必要です。

以下の手順に進んでください。

4 グループオーナーとクライアントを接続する。（初回のみ）



- (B) : グループオーナー
(C) : クライアント

以下の手順でグループオーナーに接続してください。

1. クライアントで[クライアント時のアクセスポイント]の[WPSプッシュ]を実行する。

- クライアントの[ WPSプッシュ]は、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]→[クライアント時のアクセスポイント]→[確認]を選ぶことでも実行できます。

2. グループオーナーで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]→[WPSプッシュ]を選ぶ。

- MENUを開くと、一時的にスマートフォンとグループオーナー、クライアントの接続が切断されます。撮影画面に戻ると、自動的に再接続されます。

3. クライアントがグループオーナーのSSIDを検出したら、[確認]を選ぶ。

- カメラがクライアントとしてグループオーナーに接続されると、クライアントの撮影画面に  が白で表示されます。
- さらにクライアントを追加する場合は、手順 3 と 4 を繰り返し行ってください。
- すべてのクライアントの接続が終わったら、グループオーナーを撮影画面に戻してください。

ヒント

- マルチ接続を2回目以降行うときは、前回グループオーナーとして接続したカメラをグループオーナーにすると、前回の設定のまま接続することができます。グループオーナーのカメラを変更する場合は、スマートフォンとグループオーナーの接続とグループオーナーとクライアントの接続を再度行う必要があります。
- クライアントで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]→[クライアント時のアクセスポイント]を選ぶと、マルチ接続のグループオーナーを確認、変更できます。
- 6台以上のカメラをスマートフォンから操作するには、アクセスポイントを使ったマルチ接続を行ってください。

ご注意

- 通信環境や相手機器によって通信距離は変わります。
- 水中ではWi-Fi接続はできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- 「スマートフォン操作」が「入」のとき、カメラのバッテリー消費は早くなります。「スマートフォン操作」を使わないときは、「切」に設定してください。
- グループオーナーで「SSID・PWリセット」や「機器名称変更」を行った後は、以前マルチ接続を行ったスマートフォンやクライアントからグループオーナーへのWi-Fi接続ができなくなります。このときは、手順 ② ～ ④ を再度行って、スマートフォンとグループオーナー、グループオーナーとクライアントを接続し直してください。
- MENU操作中はWi-Fi機能が一時的に無効になります。そのため、グループオーナーでMENU操作を行うと、すべてのクライアントとの接続またはスマートフォンとの接続が切断されます。一定時間内にMENUを閉じると、自動的に再接続されます。
- カメラを設置するときは、グループオーナーと最も遠くにあるクライアントとの距離がなるべく短くなるように設置してください。

関連項目

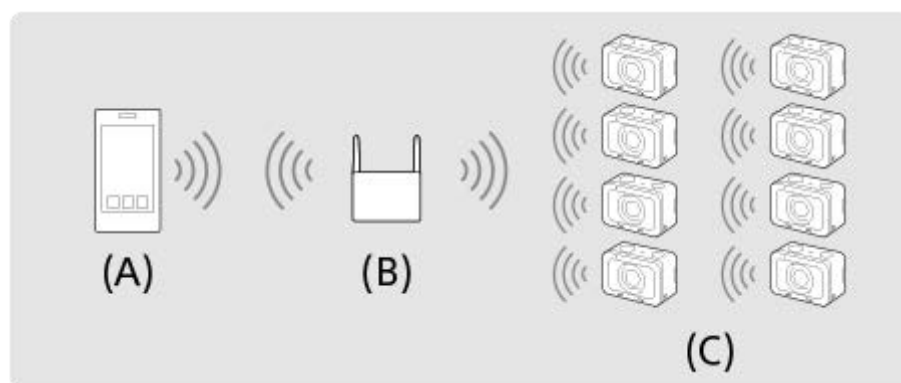
- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（Android）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（iPhone/iPad）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）

PlayMemories Mobileを使って、スマートフォンから複数のカメラを操作することができます。6台以上のカメラでも同時に操作できます。最大50台のカメラを操作することができます。

アクセスポイントを使用したマルチ接続では、すべてのカメラを「クライアント」としてアクセスポイントにWi-Fiで接続します。スマートフォンもアクセスポイントにWi-Fiで接続することで、アクセスポイントを経由してカメラと通信します。

この機能は本体ソフトウェアVer.2.00以降で使用できます。



- (A) : スマートフォン
(B) : アクセスポイント
(C) : カメラ（クライアント）

- クライアントとして接続できるカメラは、「DSC-RX0」のみです。

1 接続するすべてのカメラで、MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン操作設定]を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作] : [入]
- [ 接続方式] : [マルチ(クライアント)]

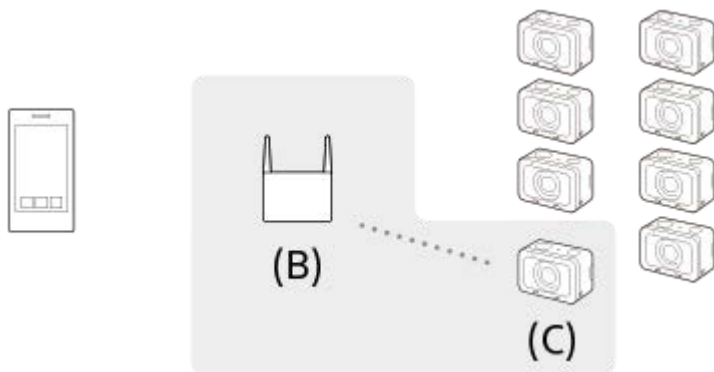
一度クライアントとしてアクセスポイントに接続されたことがある場合は、前回接続したアクセスポイントに自動的に接続されます。

初めてクライアントとして接続する場合や前回接続したアクセスポイントと接続できない場合は、アクセスポイントの設定が必要です。

以下の手順に進んでください。

2 カメラをアクセスポイントに接続する。（初回のみ）

- [パソコン保存] や [テレビ鑑賞] を行うためのアクセスポイント設定とは別に、スマートフォン操作を行うためのアクセスポイント設定が必要です。



(B) : アクセスポイント
(C) : カメラ（クライアント）

以下の手順でアクセスポイントに接続してください。

接続するアクセスポイントにWi-Fi Protected Setup (WPS) ボタンがある場合

1. カメラで【クライアント時のアクセスポイント】の【☐ WPSプッシュ】を実行する。

- 【☐ WPSプッシュ】は、MENU→（ネットワーク）→【スマートフォン操作設定】→【クライアント時のアクセスポイント】→【確認】を選ぶことでも実行できます。

2. アクセスポイントのWPSボタンを押す。

接続するアクセスポイントにWi-Fi Protected Setup (WPS) ボタンがない場合

1. カメラで【クライアント時のアクセスポイント】の【☐ アクセスポイント手動登録】を実行する。

- 【☐ アクセスポイント手動登録】は、MENU→（ネットワーク）→【スマートフォン操作設定】→【クライアント時のアクセスポイント】→【確認】を選ぶことでも実行できます。

2. 接続したいアクセスポイントを選ぶ。

- 接続したいアクセスポイントが表示されない場合は【手動設定】を選び、アクセスポイントのSSIDを入力し、セキュリティ方法を選んでください。

3. パスワードを入力して、【OK】を選ぶ。

- がないアクセスポイントは、パスワード入力が不要です。

4. 【IPアドレス設定】を【オート】または【マニュアル】から選んで、【OK】を選ぶ。

- 【マニュアル】を選んだ場合は、ネットワーク環境に合わせて【IPアドレス】 / 【サブネットマスク】 / 【デフォルトゲートウェイ】を入力してください。

3 スマートフォンでアクセスポイントに接続し、PlayMemories Mobileを起動する。

ヒント

- MENU→（ネットワーク）→【スマートフォン操作設定】→【クライアント時のアクセスポイント】を選ぶと、接続先のアクセスポイントを確認、変更できます。
- MENU→（ネットワーク）→【機器名称変更】を選ぶと、スマートフォンに表示されるカメラ名を変更できます。カメラを区別したいときに行ってください。

ご注意

- 通信環境や相手機器によって通信距離/接続可能台数は変わります。
- 水中ではWi-Fi接続はできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

- 「スマートフォン操作」が「入」のとき、カメラのバッテリー消費は早くなります。「スマートフォン操作」を使わないときは、「切」に設定してください。
- [ WPSプッシュ] は、お使いのアクセスポイントのセキュリティがWPAもしくはWPA2に設定されていて、Wi-Fi Protected Setup (WPS) プッシュボタン方式に対応している必要があります。セキュリティがWEPに設定されている場合やWi-Fi Protected Setup (WPS) プッシュボタン方式に未対応の場合は、[ アクセスポイント手動登録] を行ってください。
- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの取扱説明書をご参照いただくか、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかったり通信可能な距離が短くなることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 無線アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS) の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。

関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（Android）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（iPhone/iPad）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [機器名称変更](#)
- [バージョン表示](#)

Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する

本機とスマートフォンをBluetooth通信で接続して、本機の電源の入/切をスマートフォンから操作できます。複数のカメラを同時に接続できます。Wi-Fiのマルチ接続とは異なり、複数のカメラが直接スマートフォンに接続されます。

対応するスマートフォン

- Android端末：Android 5.0以降でBluetooth 4.0以降対応*
- iPhone/iPad：iPhone 4S以降/iPad（第3世代）以降

* 2017年9月時点の情報です。最新の情報はサポートページでご確認ください。

* Bluetooth規格のバージョンは、お使いのスマートフォンの製品サイトでご確認ください。

事前に準備すること

事前に、以下の手順を行ってください。

1. スマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする。
2. PlayMemories Mobileに「カメラのリモート電源ON/OFF」機能を追加する。
スマートフォンとカメラをWi-Fiで接続してください。
一度Wi-Fiで接続すると、PlayMemories Mobileに「カメラのリモート電源ON/OFF」機能が追加されます。次回以降はWi-Fiでの接続は必要ありません。

Bluetooth接続（ペアリング）

カメラとスマートフォンをBluetooth通信で接続（ペアリング）します。初回のみ必要な操作です。

1. スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
 - ここでは、Bluetooth機能のペアリング操作は不要です。
2. カメラで、MENU→（ネットワーク）→「Bluetooth設定」→「Bluetooth機能」→「入」を選ぶ。
 - このとき、カメラの「 リモート電源設定」も「入」になっていることを確認してください。
3. カメラで、MENU→（ネットワーク）→「Bluetooth設定」→「ペアリング」を選ぶ。
 - 本機の機器名称「DSC-RX0」がカメラのモニターに表示されます。
 - すでにBluetooth接続が完了している場合は、接続済みのスマートフォンの機種名が表示されます。
4. スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動して、「カメラのリモート電源ON/OFF」を選ぶ。
 - 「スキャン中」と表示され、接続できる機器のリストが表示されます。
 - 「カメラのリモート電源ON/OFF」が表示されていない場合は、「事前に準備すること」を行ってください。
5. スマートフォンに表示されたリストで、「DSC-RX0」の右側の「ペアリング」を選ぶ。
6. カメラに表示されたペアリングの確認画面で「確認」を選ぶ。
7. スマートフォンに表示されたペアリングの確認画面で「ペアリング」を選ぶ。
8. カメラに表示されたBluetooth接続の完了画面で「確認」を選ぶ。

- [Bluetooth設定] の画面に戻ります。

スマートフォンからカメラの電源を入/切する

「Bluetooth接続（ペアリング）」の手順8まで完了していれば、次回からは以下の手順のみでスマートフォンからカメラの電源を入/切することができます。

1. スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動して、[カメラのリモート電源ON/OFF] を選ぶ。
2. スマートフォンに表示されたリストで、「DSC-RX0」の右側の「」（電源マーク）を選ぶ。
 - カメラの電源が入っていない場合は電源が入り、「」（電源マーク）が緑色に変わります。
 - カメラの電源が入っている場合は電源が切れ、「」（電源マーク）が白色に変わります。

ヒント

- スマートフォンには、Bluetooth接続されたカメラの台数分の機器名称が表示されます。電源の入/切を操作したいカメラを選択してください。

ご注意

- カメラを初期化すると、ペアリング情報も削除されます。再度ペアリングするには、スマートフォン側のペアリング情報を削除し、「Bluetooth接続（ペアリング）」を行ってください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 水中ではBluetooth機能は使えません。
- [Bluetooth機能] を [入] に設定しているときは、カメラの電源が入っていても少しずつバッテリーを消耗します。Bluetooth機能を使わないときは [切] に設定してください。
- 使用する環境によっては、Bluetooth機能とWi-Fi機能の通信距離が異なることがあります。

関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [Bluetooth設定](#)
- [リモート電源設定](#)
- [機器名称変更](#)

スマートフォン転送

スマートフォンに静止画/動画を表示、転送します。お使いのスマートフォンにスマートフォン対応アプリ PlayMemories Mobileをインストールする必要があります。

- 1 MENU→（ネットワーク）→[スマートフォン転送]→希望の設定を選ぶ。
- 2 本機の画面に表示されるSSIDとパスワードを使って、スマートフォンから本機に接続する。
 - 接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。



本機の画像がスマートフォンに転送され、Androidの場合ギャラリー/アルバムに、iPhone/iPadの場合アルバムに保存される。

メニュー項目の詳細

カメラから選ぶ：

スマートフォンに転送する画像を本機で選択する。

- (1) [この画像]、[この日の画像全て] または [画像選択] から選択する。
 - カメラで選択しているビューモードによって、表示される選択肢が変わることがあります。
- (2) [画像選択] の場合は、（決定）ボタンで画像を選択後、MENU→[実行] を選ぶ。

スマートフォンから選ぶ：

本機のメモリーカードに保存されているすべての画像を、まとめてスマートフォンに表示する。

ご注意

- 本機のメモリーカードに保存されていない画像は、スマートフォン転送できません。
- スマートフォンに転送する画像サイズは、[オリジナル]、[2M] または [VGA] から選べます。以下の手順で変更してください。
 - Android搭載のスマートフォンの場合
PlayMemories Mobileを起動し、[設定] → [コピー画サイズ] で変更する。
 - iPhoneまたはiPadの場合
設定内のPlayMemories Mobileを選び、[コピー画サイズ] から変更する。
- 画像の形式によってはスマートフォンで再生できないことがあります。
- RAW画像は、JPEG画像に変換して転送します。
- XAVC S動画、AVCHD動画は転送できません。
- 本機は[スマートフォン転送]の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、MENU→（ネットワーク）→[Wi-Fi設定]→[SSID・PWリセット]で接続情報をリセットしてください。リセット後は、スマートフォンの再設定が必要です。

- 「飛行機モード」が「入」のときは接続できません。「飛行機モード」を「切」にしてください。

関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [飛行機モード](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

パソコン保存

本機の画像を無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターにつないだパソコンに転送し、簡単にバックアップを取ることができます。事前にPlayMemories Homeのインストールと、無線アクセスポイントの登録を行ってください。

- 1 パソコンを起動する。
- 2 MENU→（ネットワーク）→【パソコン保存】を選ぶ。

ご注意

- パソコンのアプリケーションの設定によっては、画像の保存が終わった後にカメラの電源が自動で切れます。
- 同時に画像を転送できるパソコンは、1台までです。
- 別のパソコンに転送したい場合は、お使いになりたいパソコンに本機をUSB接続して、PlayMemories Homeに従って操作してください。

関連項目

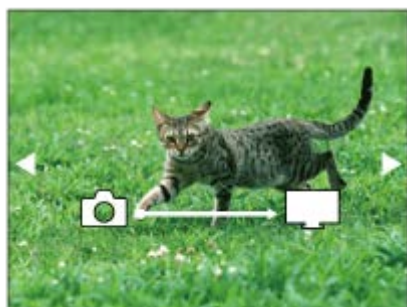
- [PlayMemories Homeをインストールする](#)
- [Wi-Fi設定：アクセスポイント簡単登録](#)
- [Wi-Fi設定：アクセスポイント手動登録](#)

テレビ鑑賞

本機とテレビをケーブルでつながなくても、本機から画像を転送して、Network対応のテレビで画像を見ることができます。お使いのテレビによってはあらかじめテレビ側の操作も必要になります。詳しくはテレビの取扱説明書をご参照ください。

① MENU→（ネットワーク）→[テレビ鑑賞]→接続したい機器を選択する。

② スライドショー形式で再生したい場合は、（決定）ボタンを押す。



- 手動で画像を送る場合は左/右ボタンを押す。
- 接続する機器を変更する場合は下ボタンを押して、[機器リスト]を選ぶ。

スライドショーの設定項目

下ボタンを押してスライドショーの設定を変更できます。

再生対象：

再生する画像のグループを設定する。

フォルダービュー（静止画）：

[全て] または [フォルダー内全て] から選択

日付ビュー：

[全て] または [日付内全て] から選択

間隔設定：

[短い] または [長い] から選択

エフェクト*：

[入] または [切] から選択

再生画像サイズ：

[HD] または [4K] から選択

* 対応しているブラビアでのみ設定が有効です。

ご注意

- DLNAレンダラーに対応しているテレビで使えます。
- Wi-Fi Direct対応、またはネットワーク機能（有線含む）に対応しているテレビで見ることができます。
- Wi-Fi Direct以外で接続する場合は、アクセスポイントの登録が必要です。
- 画像をテレビに映すまでに時間がかかることがあります。
- 動画はWi-Fi経由でテレビに転送できません。HDMIケーブル（別売）をお使いください。

関連項目

- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント簡単登録](#)
- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント手動登録](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

スマートフォン操作設定

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続して、スマートフォンから本機を操作して画像を撮影したり、本機で撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。

1 MENU→（ネットワーク）→【スマートフォン操作設定】→希望の設定項目を選ぶ。

メニュー項目の詳細

スマートフォン操作：

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続するかどうかを設定する。（〔入〕 / 〔切〕）

接続方式：

本機とスマートフォンをWi-Fiで接続するときの接続方式を設定する。（〔シングル〕 / 〔マルチ(グループオーナー)〕 / 〔マルチ(クライアント)〕）

接続情報：

本機とスマートフォンを接続するためのSSIDとパスワードを表示する。

WPSプッシュ：

マルチ接続で、本機がグループオーナーのときにクライアントと接続する。

クライアント時のアクセスポイント：

マルチ接続で、本機がクライアントのときのグループオーナーまたはアクセスポイントを確認・変更する。

関連項目

- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（Android）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する（シングル接続）（iPhone/iPad）](#)
- [Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)
- [スマートフォン転送](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

飛行機モード

飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fiなど無線に関する機能の設定を一時的にすべて無効にできます。

1 MENU→（ネットワーク）→【飛行機モード】→希望の設定を選ぶ。

設定を「入」にすると、モニターに飛行機マークが表示されます。

Wi-Fi設定 : アクセスポイント簡単登録

Wi-Fi Protected Setup (WPS)ボタンがあるアクセスポイントの場合は、簡単にアクセスポイントを登録できます。

- 1 MENU→（ネットワーク）→ [Wi-Fi設定] → [アクセスポイント簡単登録] を選ぶ。
- 2 登録したいアクセスポイントのWPSボタンを押す。

ご注意

- [アクセスポイント簡単登録] は、お使いのアクセスポイントのセキュリティがWPAもしくはWPA2に設定されていて、Wi-Fi Protected Setup (WPS)プッシュボタン方式に対応している必要があります。セキュリティがWEPに設定されている場合やWi-Fi Protected Setup (WPS)プッシュボタン方式に未対応の場合は、[アクセスポイント手動登録]を行ってください。
- お使いのアクセスポイントの対応機能や設定に関しては、アクセスポイントの取扱説明書をご参照いただくか、アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。
- 本機とアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、接続できなかつたり通信可能な距離が短くなることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 無線アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS)の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。
- アクセスポイントを使ったマルチ接続でスマートフォンからカメラを操作するときに接続するアクセスポイントは、MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] で設定してください。

関連項目

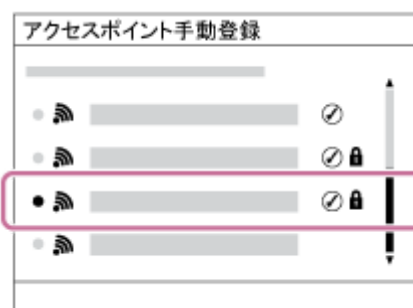
- [Wi-Fi設定 : アクセスポイント手動登録](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

Wi-Fi設定：アクセスポイント手動登録

手動でアクセスポイントを登録できます。お手持ちのアクセスポイントのSSIDとセキュリティ方式、パスワードをあらかじめご確認ください。機器によってはあらかじめパスワードが設定されている場合があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。アクセスポイントの管理者にお問い合わせください。

1 MENU→（ネットワーク）→[Wi-Fi設定]→[アクセスポイント手動登録]を選ぶ。

2 登録したいアクセスポイントを選ぶ。



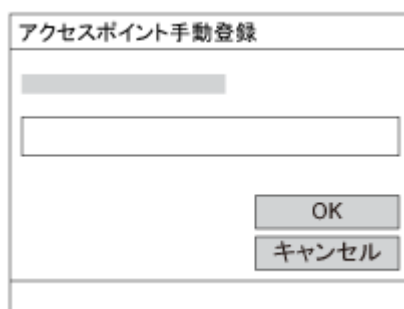
登録したいアクセスポイントが表示される場合：アクセスポイント名を選ぶ。

登録したいアクセスポイントが表示されない場合：[手動設定]を選び、アクセスポイントを設定する。

* 入力方法については、「[キーボードの使いかた](#)」をご覧ください。

- [手動設定]を選択した場合は、アクセスポイントのSSID名を入力→セキュリティ方式を選択する。

3 パスワードを入力して、[OK]を選ぶ。



-  がないアクセスポイントは、パスワード入力が必要です。

4 [OK]を選ぶ。

キーボードの使いかた

手動で文字入力が必要な場合は、キーボード画面が表示されます。



1. 入力ボックス

入力した文字が表示されます。

2. 文字種切り換え

●（決定）ボタンを押すたびに、アルファベット/数字/記号に切り換えられます。

3. キーボード

●（決定）ボタンを押すたびに、表示されている文字が順番に表示されます。

例：「abd」と入力したい場合

「abc」のキーを選び、●（決定）ボタンを1回押して「a」を表示→カーソル移動（5）の「➡」を選び、●（決定）ボタンを押す→「abc」のキーを選び、●（決定）ボタンを2回押して「b」を表示→「def」のキーを選び、●（決定）ボタンを1回押して「d」を表示

4. 確定

入力内容を確定します。

5. カーソル移動

入力ボックス内のカーソルを左右に移動します。

6. 削除

カーソルの直前の文字を削除します。

7. ⬆

アルファベットの大文字/小文字を切り換えます。

8. ⏏

空白をあけます。

- 途中で入力をやめる場合は、[キャンセル] を選択してください。

その他の設定項目

アクセスポイントの状態や設定方法によっては、設定を決める項目が増えることがあります。

WPS PIN方式：

接続機器側に入力するPINコードを表示する。

優先接続：

[入] または [切] を選ぶ。

IPアドレス設定：

[オート] または [マニュアル] を選ぶ。

IPアドレス：

手動で入力する場合は、固定アドレスを入力する。

サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ：

[IPアドレス設定] を [マニュアル] とした場合、ネットワークの環境に合わせて入力する。

ご注意

- 登録したアクセスポイントに今後も優先的に接続したい場合は、[優先接続] を [入] に設定してください。
- アクセスポイントを使ったマルチ接続でスマートフォンからカメラを操作するときに接続するアクセスポイントは、MENU→（ネットワーク）→ [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] で設定してください。

- [Wi-Fi設定：アクセスポイント簡単登録](#)
- [アクセスポイントを使ってWi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する（マルチ接続）](#)

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

Wi-Fi設定 : MACアドレス表示

本機のMACアドレスを表示します。

- 1 MENU→（ネットワーク）→ [Wi-Fi設定] → [MACアドレス表示] を選ぶ。

Wi-Fi設定 : SSID・PWリセット

本機は〔スマートフォン転送〕、〔スマートフォン操作〕の接続情報を、接続許可した機器と共有します。接続許可した機器を変更したい場合は、接続情報をリセットしてください。

- 1 MENU→（ネットワーク）→〔Wi-Fi設定〕→〔SSID・PWリセット〕→〔確認〕を選ぶ。

ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。

関連項目

- [スマートフォン転送](#)
- [スマートフォン操作設定](#)

Bluetooth設定

カメラとスマートフォンをBluetooth接続するための設定をします。スマートフォンからカメラの電源を入/切する機能を使うためには、あらかじめカメラとスマートフォンをペアリングする必要があります。
ペアリングする方法は、「Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する」をご覧ください。

1 MENU→（ネットワーク）→【Bluetooth設定】→希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

Bluetooth機能（入/切）：

カメラのBluetooth機能を有効にするかどうかを設定する。

ペアリング：

PlayMemories Mobileアプリを使ってカメラとスマートフォンをペアリングする画面になる。

機器アドレス表示：

カメラのBDアドレスを表示する。

関連項目

- [Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)
- [リモート電源設定](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

リモート電源設定

Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を設定します。

1 MENU→（ネットワーク）→ [ リモート電源設定] →希望の設定を選ぶ。

メニュー項目の詳細

切：

Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を使用しない。

入：

Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を有効にする。

関連項目

- [Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する](#)
- [Bluetooth設定](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

機器名称変更

Wi-Fi Directなどの機器名称を変更します。

- ① MENU→（ネットワーク）→[機器名称変更]を選ぶ。
- ② 入力ボックスを選択して、機器名称を入力→[OK]を選ぶ。
 - 入力方法については、「[キーボードの使いかた](#)」をご覧ください。

関連項目

- [Wi-Fi設定：アクセスポイント簡単登録](#)
- [Wi-Fi設定：アクセスポイント手動登録](#)

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ネットワーク設定リセット

ネットワークに関する設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- 1 **MENU**→（ネットワーク）→**[ネットワーク設定リセット]**→**[実行]**を選ぶ。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

パソコンの推奨環境

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認ください。

<http://www.sony.net/pcenv/>

PlayMemories Homeについて

PlayMemories Homeをご利用になると、次のことなどができます。

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込みます。
- パソコンに取り込んだ画像を再生できます。
- PlayMemories Onlineを使って画像をシェアできます。
- 動画のカットや結合などの編集ができます。
- 動画にBGMやテキストの効果を加えることができます。
- 動画やスローモーション動画に変速効果を加えることができます。

Windowsでは次のこともできます。

- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上で表示できます。
- 静止画の切り抜き（トリミング）、サイズ変更（リサイズ）などの編集や補正ができます。
- パソコンに取り込んだ動画から、ディスクを作成できます。
XAVC S動画からは、ブルーレイディスクまたはAVCHDディスクを作成できます。
- 画像をネットワークサービスにアップロードできます（インターネット接続環境が必要です）。
- その他詳しくは、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

PlayMemories Homeをインストールする

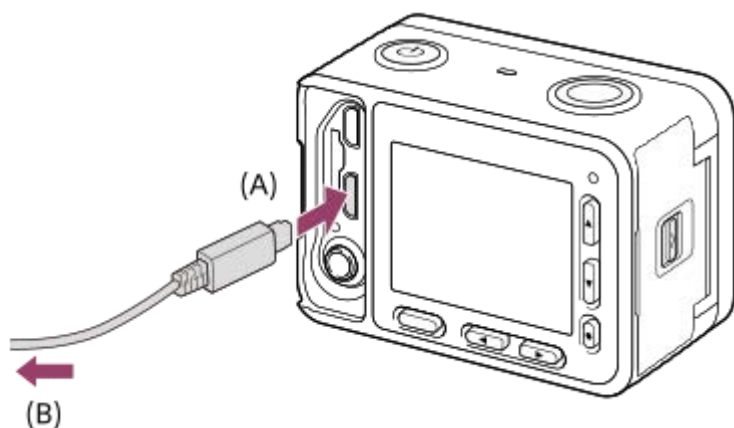
1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

<http://www.sony.net/pm/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、PlayMemories Homeのサポートページをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>

2 本機とパソコンを付属のマイクロUSBケーブルで接続し、本機の電源を入れる。

- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル（付属）をはずさないでください。データが壊れることがあります。



A : マルチ/マイクロUSB端子へ
B : パソコンのUSB端子へ

ご注意

- パソコンにはコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- パソコンの再起動が必要な場合があります。再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 使用環境によっては、DirectXが引き続きインストールされることがあります。

ヒント

- PlayMemories Homeについて詳しくはPlayMemories Homeのヘルプ、またはPlayMemories Homeサポートページ (<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>) をご覧ください。

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

Mac用ソフトウェアについて

Mac用ソフトウェアの詳細は以下のURLをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

ご注意

- 地域によって使用できるソフトウェアが異なります。

関連項目

- [パソコン保存](#)

Imaging Edgeについて

Imaging Edgeは、パソコンから本機を操作するリモート撮影や、本機で撮影したRAW画像の調整・現像などの機能を含む、ソフトウェアシリーズです。

Viewer :

画像の閲覧や検索を行います。

Edit :

画像をトーンカーブやシャープネスなど多彩な補正機能で編集したり、RAW画像を現像したりすることができます。

Remote :

USBケーブルで本機と接続したパソコンから本機の設定をしたり撮影するなどのコントロールができます。パソコンから本機をコントロールするときは、USBケーブルで本機をパソコンに接続する前に、MENU →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート] を選んでください。

詳しい使いかたは、Imaging Edgeのサポートページをご覧ください。

<http://www.sony.net/disoft/help/>

Imaging Edgeをパソコンにインストールするには

以下のURLからソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

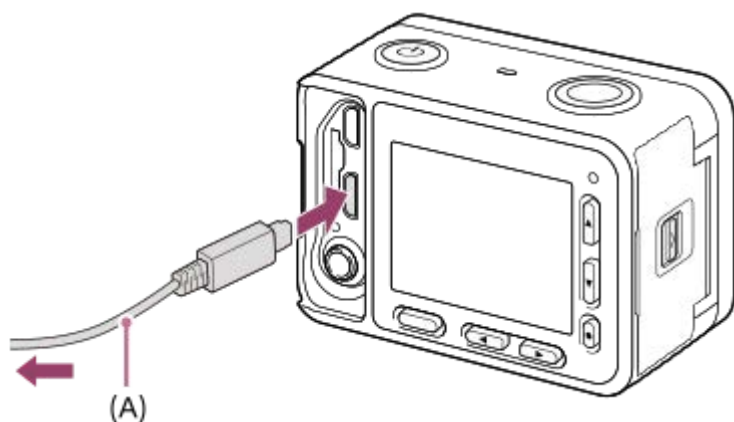
<http://www.sony.net/disoft/d/>

関連項目

- [USB接続](#)

本機とパソコンを接続する

- 1 十分に充電したバッテリーを本機に入れる。
- 2 本機とパソコンの電源を入れる。
- 3  (セットアップ) の [USB接続] が [マスメストレージ] になっていることを確認する。
- 4 本機をマイクロUSBケーブル (付属) (A) で接続する。



- [USB給電] が [入] になっているとき、パソコンと本機をマイクロUSBケーブルでつなぐとパソコンから給電が始まります。(初期設定は [入] です。)

関連項目

- [USB接続](#)
- [USB LUN設定](#)

画像をパソコンに取り込んで見る

PlayMemories Homeを使うと、簡単に画像を取り込めます。PlayMemories Homeの機能について詳しくは、PlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

PlayMemories Homeを使わずに、Windowsに画像を取り込むには

本機とパソコンを接続して自動再生ウィザードが起動したら、[フォルダを開いてファイルを表示] → [OK] → [DCIM] または [MP_ROOT] をクリックして、取り込みたい画像をパソコン内にコピーしてください。

PlayMemories Homeを使わずに、Macに画像を取り込むには

本機とMacを接続したら、デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン→取り込みたい画像の入ったフォルダーの順にダブルクリックして、画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップしてください。

ご注意

- XAVC S動画やAVCHD動画を取り込むなどの操作はPlayMemories Homeを使用してください。
- 本機とパソコンを接続した状態で、パソコンから本機のAVCHD動画ファイルやフォルダーを操作した場合、動画ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。パソコンから本機のメモリーカード上のAVCHD動画を削除したりコピーしたりしないでください。このような操作をした結果に対し、当社は責任を負いかねます。

パソコンとの接続を切断する

USB接続された本機とパソコンの接続を切断します。

以下の操作を行いたいときは、1～2の手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- メモリーカードを取り出す
- 本機の電源を切る

1 タスクトレイの （ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をクリックする。

2 表示されたメッセージをクリックする。

ご注意

- Mac使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。
- Windows 7、Windows 8使用時は、切断アイコンが出ない場合があります。その場合は上の手順は行わずに切断できます。
- アクセスランプが点灯しているときは、マイクロUSBケーブルを抜かないでください。データが壊れることがあります。

作成するディスクを決める

本機で記録した動画から、他の機器で再生できるディスクを作成することができます。
ディスクの種類によって、再生可能な機器が異なります。お使いの再生機器に合わせて、作成するディスクの種類を選択してください。
動画の種類によって、ディスク作成時にフォーマットが変換されます。



ハイビジョン画質（HD）（ブルーレイディスク）

ハイビジョン画質（HD）の動画をブルーレイディスクに記録して、ディスクを作成します。
ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質（HD）の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。
記録できる動画フォーマット： XAVC S、AVCHD、MP4 (AVC)
再生機器： ブルーレイディスク再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、「プレイステーション3」など）



ハイビジョン画質（HD）（AVCHD記録ディスク）

ハイビジョン画質（HD）の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。
記録できる動画フォーマット： XAVC S、AVCHD、MP4 (AVC)
再生機器： AVCHD規格対応再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、「プレイステーション3」など）。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。



標準画質（STD）

ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（STD）に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。
記録できる動画フォーマット： AVCHD
再生機器： 一般的なDVD再生機器（DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）

ヒント

- PlayMemories Homeでは以下の12cmのディスクが使えます。
BD-R/DVD-R/DVD+R/DVD+R DL：書き換えできません。
BD-RE/DVD-RW/DVD+RW：書き換えて再利用できます。
追加記録はできません。
- 「プレイステーション3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jp.playstation.com/ps3/update/>

関連項目

- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)
- [ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する](#)
- [標準画質でDVDを作成する](#)

ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する

ブルーレイディスク再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）で再生できるブルーレイディスクを作ります。

A. パソコンで作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってブルーレイディスクを作成できます（Windowsのみ）。

お使いのパソコンがブルーレイディスク作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルでカメラを接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます。（インターネット接続が必要です。）

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

B. パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイディスクレコーダーなどでもブルーレイディスクを作成できます。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- [ 記録方式] をXAVC SまたはMP4にして撮影した動画はPlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換されます。そのままの画質でディスクを作成することはできません。
そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。
- [ 記録方式] をAVCHD、[ 記録設定] を[60p 28M(PS)] にして撮影した動画からブルーレイディスクを作成するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。また作成したブルーレイディスクはAVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

関連項目

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する](#)
- [標準画質でDVDを作成する](#)

ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する

AVCHD規格対応再生機器（ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）で再生できるDVD（AVCHD記録ディスク）を作ります。

A. パソコンで作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってDVD（AVCHD記録ディスク）を作成できます（Windowsのみ）。

お使いのパソコンがDVD（AVCHD記録ディスク）作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルでカメラを接続してください。必要なソフトウェアが自動で追加されます。（インターネット接続が必要です。）

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

B. パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイディスクレコーダーなどでもDVD（AVCHD記録ディスク）を作成できます。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- [ 記録方式] をXAVC SまたはMP4にして撮影した動画はPlayMemories Homeでのディスク作成時、1920×1080/60iに変換されます。そのままの画質でディスクを作成することはできません。
そのままの画質で保存したいときは、パソコンまたは外付けメディアに保存してください。
- [ 記録方式] をAVCHD、[ 記録設定] を [60p 28M(PS)]、[60i 24M(FX)]、または [24p 24M(FX)] にして撮影した動画は、PlayMemories HomeでのAVCHD記録ディスク作成時に変換され、そのままの画質でディスクを作成することはできません。
変換には時間がかかります。そのままの画質で保存したいときは、ブルーレイディスクに保存してください。

関連項目

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)
- [標準画質でDVDを作成する](#)

標準画質でDVDを作成する

一般的なDVD再生機器（DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）で再生できるDVDを作ります。

A. パソコンで作成する

パソコンに取り込んだ動画から、PlayMemories Homeを使ってDVDを作成できます（Windowsのみ）。

お使いのパソコンがDVD作成に対応している必要があります。

初めてご使用になる際は、パソコンにUSBケーブルでカメラを接続し、画面の指示に従って専用のアドオンソフトウェアをインストールしてください。（インターネット接続が必要です。）

PlayMemories Homeを使ったディスクの作りかたについての詳細はPlayMemories Homeのヘルプをご覧ください。

B. パソコン以外の機器で作成する

ブルーレイレコーダーやHDDレコーダーなどでもDVDを作成できます。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [作成するディスクを決める](#)
- [ハイビジョン画質でブルーレイディスクを作成する](#)
- [ハイビジョン画質でDVD（AVCHD記録ディスク）を作成する](#)

カメラコントロールボックスについて

カメラコントロールボックスCCB-WD1（別売）を使うと、パソコンのウェブブラウザから次のことができます。

- 複数のカメラを使って同時に撮影
- 複数のカメラの設定を一括で変更

カメラコントロールボックスを使った撮影について詳しくは、カメラコントロールボックスの取扱説明書をご覧ください。

この機能は本体ソフトウェアVer.2.00以降で使用できます。

ヒント

- カメラコントロールボックスを使った撮影で、設置したカメラを長時間使用する場合は、MENU→（セットアップ）→[自動電源OFF温度]を[高]に設定することをおすすめします。

ご注意

- カメラコントロールボックスをお使いになるときは、MENU→（セットアップ）→[USB接続]を[PCリモート]に設定してください。

関連項目

- [バージョン表示](#)

使用上のご注意

メモリーカードのバックアップについて

以下の場合、データが破壊されることがあります。データ保護のために必ずバックアップをお取りください。

- 読み込み中または書き込み中にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切った場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Homeですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

持ち運び時のご注意

本機に三脚を取り付けたまま、持ち運ばないでください。三脚取り付け部が破損するおそれがあります。

動作温度についてのご注意

本機の動作温度は0℃～40℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

長時間撮影についてのご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態していると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などをご使用になる場合
- [自動電源OFF温度]を[高]に設定してご使用になる場合

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露を起こりにくくするために本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

本機搭載の機能について

- 本機は、1080 60p記録対応機です。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。

飛行機に搭乗中のご注意

- 飛行機の中では[飛行機モード]を[入]にしてください。

画像の互換性について

本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。

- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機で記録した動画は本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また他機で記録した動画は本機で再生できない場合があります。
- 本機で記録したAVCHD動画から作成したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、AVCHD動画から作成したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。
- XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

モニターおよびレンズについてのご注意

- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターやレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- モニターを強く押さないでください。モニターにムラが出たり、モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。カメラの内部が故障することがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。

本機の廃棄/譲渡についてのご注意

個人情報保護のため、本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- [設定リセット] →すべての設定をリセットする。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による［フォーマット］や［削除］では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

Wi-Fi機能利用時のご注意

セキュリティ対策が施されていないWi-Fiアクセスポイントへの接続は、権限外の操作をされるリスクが高まりますのでご注意ください。本製品は、セキュリティ対策が施されたWi-Fi接続でのみご利用ください。

他社のサービス／ソフトウェアについて

本製品に搭載され、又は本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。

予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切や電池の有無に関係なく保持するために充電式バックアップ電池を内蔵しています。充電式バックアップ電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式バックアップ電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。バッテリー充電のたびにリセットされる場合は、内蔵充電式バックアップ電池が消耗している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れるか、ACアダプター（付属）を使ってコンセントにつないで、電源を切ったまま24時間以上放置する。

バッテリーについてのご注意

バッテリーの充電について

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーやUSBケーブルを取りはずし、再度装着してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、正常に充電できないことがあります。
- 電源に接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

充電にかかる時間（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約 135分です。これはバッテリーを使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くなります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。ポケットの中に鍵などの金属物が入っている場合は、ショートしないようにご注意ください。
- 連続撮影、電源の入り切りなどを頻繁にしたり、モニターを明るく設定すると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの残量について

- モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。



A : 残量多い
B : 残量なし

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- 電源を入れたまま一定時間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。

- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP（画面表示切換）を押して表示してください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショーを再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

充電についてのご注意

- 付属のACアダプターは本機専用です。故障のおそれがあるため、他の電子機器に接続して使用しないでください。
- 必ずソニー製純正のACアダプターを使用してください。
- 充電中に本機の充電ランプが点滅した場合はバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。再びランプが点滅した場合はバッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入されている可能性があります。指定のバッテリーかどうか確認してください。
指定のバッテリーを入れている場合は、バッテリーを取りはずし、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入して充電が正常に行われるか確認してください。充電が正常に行われる場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- ACアダプターを本機とコンセントに接続しても充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開しランプも点灯します。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。
- 充電中に本機の電源を入れると、給電状態に変わります。給電中でも撮影/再生はできますが、バッテリーは充電されません。

メモリーカードについてのご注意

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット]を行ってください。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 長時間使用した直後のメモリーカードは熱くなっています。ご注意ください。
- アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切らないでください。データが壊れることがあります。
- 強い磁気のそばにメモリーカードを近づけたり、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが壊れることがあります。
- メモリーカードのスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 以下のような場所での使用や保管は避けてください。
 - － 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
 - － 直射日光のあたる場所
 - － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- 使用可能なメモリーカードについての最新情報は、以下のページをご確認ください。
 - メモリースティック対応表
<http://www.sony.jp/rec-media/memorystick/compatibility/>
 - SDカード対応表
<http://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

メモリーカード/端子カバーについてのご注意

本機から取りはずしたメモリーカード/端子カバーは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

お手入れについて

レンズ前面のガラスをきれいにする

レンズ前面のガラスに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手に付いたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターをきれいにする

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングがはがれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

静止画の記録可能枚数

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。記録枚数は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

[ 画像サイズ] : [L: 15M]
[ 横縦比] が [3:2] のとき*

 画質	8GB	32GB	128GB
スタンダード	1450枚	6000枚	24000枚
ファイン	880枚	3550枚	14000枚
エクストラファイン	660枚	2650枚	10500枚
RAW+JPEG	300枚	1200枚	4900枚
RAW	460枚	1850枚	7400枚

* [ 横縦比] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます（RAW設定時は除く）。

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときでも、「9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。
- 記載の枚数は、当社製メモリーカード使用時の枚数です。

動画の記録可能時間

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。[ 記録方式] が [XAVC S HD] と [AVCHD] の数値は、[同時ビデオ記録] を [切] にして使用したときの数値です。

	8GB	32GB	128GB
XAVC S HD 120p 50M	15分	1時間15分	5時間10分
XAVC S HD 60p 50M	15分	1時間15分	5時間10分
XAVC S HD 30p 50M	15分	1時間15分	5時間10分
XAVC S HD 24p 50M	15分	1時間15分	5時間10分
AVCHD 60i 24M(FX)	40分	3時間	12時間5分
AVCHD 60i 17M(FH)	55分	4時間5分	16時間35分
AVCHD 60p 28M(PS)	35分	2時間30分	10時間15分
AVCHD 24p 24M(FX)	40分	3時間	12時間5分
AVCHD 24p 17M(FH)	55分	4時間5分	16時間35分
MP4 1920x1080 60p 28M	35分	2時間35分	10時間40分
MP4 1920x1080 30p 16M	1時間	4時間10分	16時間55分
MP4 1280x720 30p 6M	2時間35分	10時間55分	44時間10分

ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は、最大約13時間です。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit-Rate）方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。

動画の連続撮影についてのご注意

- 高精彩な動画や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

XAVC S HD（60p 50M）時
[自動電源OFF温度]：[標準]

環境温度	[スマートフォン操作]：[切]	[スマートフォン操作]：[入]
20℃	約45分	約20分

環境温度	【スマートフォン操作】：【切】	【スマートフォン操作】：【入】
30℃	約25分	約15分
40℃	約25分	約15分

XAVC S HD (60p 50M) 時
 [自動電源OFF温度]：[高]

環境温度	【スマートフォン操作】：【切】	【スマートフォン操作】：【入】
20℃	約60分	約50分
30℃	約60分	約50分
40℃	約25分	約20分

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、上記の動画撮影時間より短くなります。
-  が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
 - － できるだけ直射日光を避ける
 - － 使用しないときはこまめに電源を切る

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

海外でACアダプター/バッテリーチャージャーを使う

バッテリーチャージャー（別売）やACアダプター（付属）は全世界（AC100V～240V・50Hz/60Hz）で使えます。
ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- 主に北米のコンセント形状例：

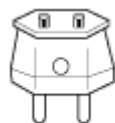


変換プラグアダプターは不要です。

- 主にヨーロッパのコンセント形状例：



変換プラグアダプターが必要です。



ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。

カラーテレビ出力方式

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じカラーテレビ方式（NTSC）が必要です。使用する国、または地域のカラーテレビ方式をご確認ください。

- **NTSC方式：**
日本、アメリカ、エクアドル、カナダ、韓国、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、台湾、中央アメリカ、チリ、バハマ、フィリピン、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコ、など
- **PAL方式：**
イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、ルーマニア、など
- **PAL-M方式：**
ブラジル
- **PAL-N方式：**
アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ
- **SECAM方式：**
イラク、イラン、ウクライナ、ギリシャ、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、モナコ、ロシア、など

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

ZEISSレンズについて

本機はZEISSレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機のレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

4-698-613-03(1) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタルスチルカメラ
DSC-RX0

AVCHD規格について

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラ用に開発された規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」 - 「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。

お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

商標について

- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- IOSは、シスコの登録商標または商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1 バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

モニターに「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、自己診断表示をご覧ください。

2 設定リセットをする。

3 サイバーショットの最新サポート情報を確認する。

(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)

<https://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

メモリーカード対応表

使用可能なメモリーカードを確認できます。

また、その他のメモリーカードに関する情報も確認できます。

“メモリースティック”対応表

<http://www.sony.jp/rec-media/memorystick/compatibility/>

SDカード対応表

<http://www.sony.jp/rec-media/sd/compatibility/>

ソフトウェアのサポート情報

<https://www.sony.jp/support/r/disoft/>

4 相談窓口にお問い合わせる。

- 指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。

https://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/repair_service/

関連項目

- [自己診断表示](#)
- [設定リセット](#)

自己診断表示

モニターにアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるので相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常です。電源を入れ直してください。

C:13:□□

- データが読めない/書けない状態です。電源を入れ直すかメモリーカードを数回抜き差ししてください。
- フォーマットしていないメモリーカードが入っています。フォーマットしてください。
- 本機では使えないメモリーカードが入っています。またはデータが壊れています。メモリーカードを交換してください。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きています。設定リセットしてから、電源を入れてください。

E:94:□□

- データの書き込み、消去動作不良です。修理が必要です。相談窓口にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

関連項目

- [フォーマット](#)
- [設定リセット](#)

警告表示

エリア/日付/時刻を設定してください

- エリアと日付、時刻を設定してください。長時間使用していない場合は内蔵の充電式バックアップ電池を充電してください。

このメモリーカードは使えません フォーマットしますか？

- パソコンでフォーマットを行ったため、ファイルシステムが変更されています。[実行]を選んでフォーマットを行ってください。本機で使用できるようになりますが、カード内のデータはすべて削除されます。また、フォーマットに多少時間がかかることがあります。それでもメッセージが出る場合は、カードを交換してください。

メモリーカードエラー

- 本機では使えないカードが入っています。
- フォーマットに失敗しています。再度フォーマットを実行してください。

メモリーカードが正しく読めません メモリーカードを入れ直してください

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。
- メモリーカードが壊れています。
- メモリーカード端子が汚れています。
- メモリーカードが正しい向きで挿入されていません。メモリーカードの向きを確認してください。

メモリーカードが入っていないので シャッターが切れません

- メモリーカードが入っていません。
- 本機にメモリーカードを入れずにシャッターを切る場合は、[メモリーカードなしリリース]を[許可]にしてください。その際、画像は保存されません。

このメモリーカードは 正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機では使えないメモリーカードが入っています。

ノイズリダクション実行中

- ノイズリダクションが機能した場合、ノイズ軽減処理を行います。この間は次の撮影はできません。

表示できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像や、パソコンで画像を加工した場合は表示できないことがあります。
- パソコンで画像の削除などを行うと、管理ファイルに不整合が発生する場合があります。管理ファイルの修復を行ってください。

DPOF指定できません

- RAW画像をDPOF指定しようとしています。

しばらく使用できません カメラの温度が下がるまで お待ちください

- 連続撮影したため、本機の温度が上がっています。本機の電源を切って、本機の温度が下がり再び撮影可能になるのを待ってから撮影してください。



- 長時間撮影したため、本機の温度が上がっています。

この動画記録方式では 撮影できません

-  記録方式] を [MP4] にしてください。



- 本機で日付を管理できる枚数を超えています。



- 本機の管理ファイルへの記録ができません。すべての画像をパソコンに取り込み、メモリーカードを修復してください。

管理ファイルエラー

- 管理ファイルに何らかの異常が発生しています。[セットアップ] から [管理ファイル修復] を行ってください。

システムエラー

カメラエラー 電源を入れなおしてください

- バッテリーを一度取り出し、入れ直してください。何度も繰り返す場合は相談窓口にお問い合わせください。

拡大できません

回転できない画像です

- 他のカメラで撮影した画像は、拡大/回転できないことがあります。

これ以上フォルダー作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダーがメモリーカード内にあります。本機でこれ以上のフォルダーを作成できません。

関連項目

- [内蔵の充電式バックアップ電池について](#)
- [メモリーカードについてのご注意](#)
- [フォーマット](#)